右報告ス

年　月　日

遞信課長宛

様式第二號

電話加入者除名(取消)(通話停止)上申

電話番號	加入者	職業	住所氏名	事由

右上申ス

年　月　日

何局長

長官宛

備考

事由欄ニハ處分ヲ要スル事由ヲ詳記スヘシ

●電話取扱時間ニ關スル件

大正十一年十二月六日
遞監第三五三七號

近來通話取扱局ニ於テ事務取扱時間經過後市外通話ヲ取扱フ向有之候處右ハ違則ノ扱ニ付左記了知ノ

各電話事務取扱局長

何局長

〔樺通〕

上取扱ノ矯正ヲ期セラレ度

記

一、通話局ニ於テ市外通話ノ請求ヲ爲スモノアルトキハ關係局ノ取扱時間内ニ通話ヲ開始シ得ルヤ否ヲ確メタル上之ヲ受付クルコト

二、取扱時間内ニ受付ケタル通話請求ト雖通話ノ開始カ取扱時間外トナリタルトキハ之カ取扱ヲ爲ス ヲ得サルニ付受付ノ際請求者ニ相當注意スルコト

(備考通話券又ハ前納通話券ニ貼付シタル郵便切手ハ通話終了後之ニ消印スルコト)

三、電話通話取扱規程第二十九條ニ依リ取扱時間外ニ亙リ通話ヲ繼續セシメ得ルモノハ取扱時間内ニ始點ヲ有スル一通話時ニ限リ他ニ通話ノ請求ノ有無ニ拘ラス取扱時間外ニ始點ヲ有スル通話ヲ繼續セシムルコトヲ得ス

四、前項ニ依リ取扱時間外ニ亙リ通話ヲ繼續セシメタル場合ノ通話料ハ普通々話料ヲ課スルコト

五、夜間通話區域ト雖關係通話局ノ取扱時間外ナルトキハ之カ取扱ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

〔樺通〕

●電話通話事務取扱局トノ通話ニ關スル件

大正十三年四月二十六日
遞監第一六九二號

電話取扱局長

電話通話事務取扱局トノ有料通話ニ對シ呼出料ノ徴否ニ關シ往々誤解之向アルヤニ認メラレ候處左記

了知ノ上錯誤ヲ生セシメサル様注意アレ

記

一、加入者非加入者ヲ問ハス對話者ヲ特定セスシテ通話事務取扱局ト通話スルモノナルトキハ呼出料ヲ要セス即呼出ノ手續ヲ爲サス直ニ對話スルモノトス

二、通話事務取扱局ト通話スルニアラスシテ對話者ヲ特定スルモノナルトキハ其ノ被呼者カ局所屬員又ハ局舍内居住者ト雖モ一般ノ例ニ依リ呼出ノ手續ヲ爲シ呼出料ヲ課スルモノトス

●電話通話規則改正ニ關スル件

大正十三年四月九日
遞監第一五一六號

各電話取扱局長

三月十九日遞信省令第十二號ヲ以テ電話通話規則中改正ノ處右一通話時三分制ノ件等ハ非加入者ノ請求ニ係ル市内通話ニモ適用アル義ニ付公衆電話室及通話所ニ掲示スル等周知方取計相成度

〔樺通〕

第二章　加入

●電話加入區域ノ件

大正五年八月
告示第九十二號

改正　大正六年四月告示第二六號、八年八月第一二五號、一一年四月第六九號、一二年五月第九三號、一四年二月第二六號、一五年五月第九一號、六月第一一九號

電話加入區域左ノ通定ム

明治四十年六月樺太廳告示第三十號及明治四十二年十二月樺太廳告示第九十號ハ之ヲ廢止ス

局名	普通加入區域	特別加入區域
豐原	豐原郡豐原町ノ内大字豐原大字北豐原大字南豐原	豐原郡豐原町大字追分
大泊	大泊郡大泊町大字大泊（字古畠、同圖留同南間串ヲ除ク）	大泊郡千歳村大字一ノ澤ノ内字一ノ澤
眞岡	眞岡郡眞岡町大字眞岡（字手井字手井澤字荒貝澤ヲ除ク）	眞岡郡眞岡町大字宇遠泊字宇遠泊
泊居	泊居郡泊居町大字泊居及大字緒唐ノ内字北泊帆	泊居郡泊居町大字唐緒ノ内字尾添

●大正八年遞信省令第五十七號ヲ準用セサル件

大正八年八月
廳令第二十四號

大正八年六月遞信省令第五十七號電話加入申込受理ニ關スル件ハ之ヲ準用セス

●特設電話加入區域

大正八年八月
告示第百二十八號

改正　大正一二年四月告示第七〇號、一四年八月第一三〇號、一五年五月第七九號、昭和二年四月第六五號、第七二號

特設電話加入區域左ノ通定メ九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

開設局	加入區域
本斗	本斗郡本斗村大字本斗（字南澤、吐鯉保澤、鳥舞澤ヲ除ク）
榮濱	榮濱郡榮濱村大字榮濱ノ內字榮濱同柏濱同北踏邊
蘭泊	眞岡郡蘭泊村大字蘭泊（字富內岸澤ヲ除ク）及大字本古丹ノ內字樂麿
留多加	留多加郡留多加町大字留多加同川口
東知取	元泊郡東知取村大字東知取（字相馬、字東知取澤、茶釜、保加內ヲ除ク）
惠須取	名好郡惠須取村大字惠須取字惠須取
久春內	久春內郡久春內村大字久春內〔字一線乃至五線問平、寶澤、舊市街、小茂白、洞內、海邊、宇蘭ヲ除ク

〔樺通〕

元泊　元泊郡元泊村大字元泊字元泊

敷香　敷香郡敷香村大字敷香、佐知〔大字敷香字初問、茅野、駒問、上敷香、大木、西里耶、中里耶、東里耶及大字佐知字藁草多蘭ヲ除ク

〔樺通〕

●電話特急架設ノ件

大正九年七月十六日
遞監第一四三〇號內務部長
各電話交換事務取扱局長

電話規則第十一條一號ヲ以テ特ニ電話開通ノ途ヲ設ケタルハ全ク公益上ノ必要ニ基クモノニシテ之カ運用上愼重ナラサルトキハ一般加入申込者ニ影響スルトコロ甚大ナルヲ以テ自今同號ノ用ニ供スルモノト雖急速開通ノ必要ヲ認メサルモノハ其ノ要求ニ要セサルベク尚左記第一列記以外ノ者ヨリ要求アリタルトキハ左記第二ニ依リ必要事項ヲ審査シタル書類添付意見副申相成度

追テ既設特急架設電話ニシテ左記第一列記以外ノ者ニ名義變更セムトスルトキハ何レモ變更事由ヲ具申スルト共ニ變更セラルヽ、相手方資格ニ就キ本文ニ準シ處理相成度

記

第一	第二
一、官廳	町村住民會事務所
二、部落總代事務所	

三、公設消防事務所（消防機械置場、警號所ヲ含ム）
四、築港事務所（漁港船澗修築事務所等ヲ含ム）
五、官公立學校
六、官公立病院
七、博覽會、展覽會、品評會

以上總テ電話機設置場所ヲ指シタルモノニシテ其ノ所屬官公吏從員等ノ住宅ニ架設スルモノハ之ヲ包含セサルモノトス

第二

特急架設資格審査事項書

一、要求者ノ職業職業、ト電話機設置場所トノ關係但シ五ノ場合ヲ除ク
二、特急架設ヲ必要トスル事由
三、重ナル通話先及通話見込數竝通話事項
四、一時的ノモノナルトキハ其ノ必要期間
五、官廳所屬官吏住宅用ノモノニ在リテハ其ノ官職名、退廳後ニ於ケル用務ノ種類及所屬官廳トノ距離
六、現ニ電話加入者ナルトキハ
イ、既設電話ニ依ル通話實數（一日平均）

〔樺通〕

ロ、既設電話ヲ共用シ該電話ニ增設シ得ラレサル事由

注意　既加入者ニ對シテハ可成連接加入又ハ機械增設ヲ爲サシメ單獨加入ハ避クル方針ヲ採ルコト

七、既往ニ於テ加入取消名義又ハ機械設置場所變更ノ有無及アリトセハ其ノ事由
八、局、機械設置場所間ノ距離
九、其ノ他急速開通ヲ必要ト認ムルニ足ル事項

〔樺通〕

●特急架設電話ニ關スル件

大正十一年八月二十六日
遞監第二五四三號

普通電話交換取扱局長

電話規則第十一條第一號ニ依リ開通シタル電話ニ關シ名義變更等ノ請求ヲ受ケタルトキハ一般ノ例ニ依ルノ外左記各項ニ依リ處理相成度依命通牒ス

記

一開通後五年ヲ經過セサル特急架設ノ電話ヲ規則第十一條第一號該當ノ者ニ名義變更ノ請求ヲ受ケタルトキハ大正九年七月遞監第一四三〇號內務部長通牒ニ依リ新名義人ノ資格其ノ他必要事項ヲ審査シ且現在名義人ハ名義變更ノ結果之ニ代ハルヘキ電話ノ特急架設ヲ要求スルカ如キコトナキヤ否ヲ調査ノ上名義變更ヲ必要ト認メタルトキハ承認ヲ與ヘ例ニ依リ報告スルコト（本報告ニハ其ノ備考欄ニ特急架設電話ナルコト及新名義人ノ資格審査濟ナルコトヲ記載スルコト）

二機械設置場所變更ノ請求ヲ受ケタルトキハ相當調査ノ上特急架設ノ事由ニ異動ヲ生セサルモノハ之ニ應シ一般ノ例ニ依リ處理スルコト

三特急架設ノ電話ニ對シテハ常ニ相當注意ヲ拂ヒ開通後五年ヲ經過セサル以前ニ於テ其ノ開通ノ事由消滅セリト認メタルモノアルトキハ事實ヲ詳具シ指揮ヲ受クルコト

四名義變更又ハ加入ヲ取消シタルトキハ加入原簿相當欄ニ其ノ事由ヲ朱記シ置クコト

五特急架設ノ電話ニ對シテハ左ノ樣式ニ依リ帳簿ヲ設備シ必要事項ヲ登記スルコト（本簿ハ直ニ設備シ現在特急架設ノ電話ハ漏ナク登記ヲ了スルコト）

六加入ヲ取消シタルトキハ左ノ樣式ニ依リ其ノ都度當課ヘ報告スルコト

樣式一（用紙適宜）

特急架設電話簿

加入申込者名	申込年度順番	電話機設置場所	特急架設事由	開通年月日	名義變更又ハ取消事由及年月日	備考

樣式二（用紙判紙）

特急架設電話加入取消報告

加入申込者	機械設置場所	電話番號	取消年月日	備考

〔樺通〕

年　月　日

遞信課長宛

局長名

●寄附開通電話ニ關スル件

大正十二年六月一日
遞監第一九八九號

豐原、大泊、眞岡各局長

寄附開通電話施設用物件ハ總代人ニ於テ各申請者ヨリ現金ヲ取纏メ現品購入納付スル例ニ有之候處間々總代人ノ現金保管ニ關シ危惧ノ念ヲ抱ク向アル哉ノ聞エモ有之候ニ付若總代人ノ希望アル場合ハ便宜貴官ニ於テ之カ保管ノ委託ニ應スルモ差支無之候條左記ニ據リ可然取計相成度

追而保管受託ノ場合ハ其ノ金額、預託銀行名ヲ報告シ收支決算ノ上ハ仕拂內譯書寫提出相成度

記

一、總代人ヨリ保管ノ爲現金ヲ受取リタルトキハ局長ノ名ヲ以テ直ニ確實ナル銀行ノ特別當座ニ預入シ當該通帳ハ局長ニ於テ嚴重ニ管守スルコト

二、預金ノ引出ニ關シテハ豫メ總代人ト協定シ置クコト

一、總代人直接債主ニ仕拂ヲ爲サムトスルトキハ總代人ノ通知ニ依リ所要金額ヲ拂戻シ現金ハ總代人ニ交付ノ上領收證ヲ徵シ置クコトニ、總代人ヨリ仕拂委託アリタルトキハ總代人ノ認印アル債主ノ請求書又ハ領收證ヲ差出サシメ現金ヲ拂戻シ仕拂ノ上領收證ヲ徵シ置クコト

三、開通工事完了ノ後保管殘金アルトキハ其ノ殘額及預金利子ヲ拂戻シ收支內譯書ト共ニ之ヲ總代人

〔樺通〕

ニ交付ノ上領收證ヲ徵スルコト

前項ノ場合ニ於テ債主ノ請求書又ハ領收證アルトキハ同時ニ之ヲ總代人ニ交付スルコト

四、預金通帳及仕拂證憑等ハ執務時間中ハ何時ニテモ總代人又ハ關係申請者ノ求ニ應シ之ヲ閱覽セシムルコト

●電話至急開通ヲ抽籤ニ附スル場合ノ件

大正十二年六月
遞信省令第三十二號

大正十二年六月九日
遞監第一六六六號內務部長
電話交換取扱局長（特設電話ヲ除ク）

大正十二年六月九日遞信省令第五十號電話至急開通規則第五條第一項第二號ニ依リ抽籤ニ附スヘキモノハ樺太廳長官ニ於テ當該郵便局ノ開通豫定數ノ二倍以內ヲ調査選定ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●寄附ニ依ル電話處理方ノ件

大正十二年五月九日
遞監第一六六六號內務部長
電話交換取扱局長（特設電話ヲ除ク）

寄附開通電話ハ爾今左記各項ニ依リ處理スルコトト致候條了知相成度

第一　申請ノ募集竝其ノ受付ニ關スル事項

一開通豫定個數及申請受付期間等ノ告示アリタルトキハ左記其ノ他必要事項ヲ局前ニ揭示シ尙新聞紙ヲ利用スル等機宜ノ方法ヲ以テ之ヲ周知セシムルコト

〔樺通〕

イ　開通豫定個數

ロ　寄付ニ關スル方法

ハ　申請受付期間

二　寄附開通申請書（以下單ニ申請書ト稱ス）ハ加入申込ヲ有スルモノハ第一號書式ニ又加入申込ヲ有セサルモノハ第二號書式ニ依ラシムルコト

但シ申請書用紙ハ不動文字ヲ印刷ニ附シ可成申請者ニ交付スル樣準備スルコト

三　寄附開通申請（以下單ニ申請ト稱ス）ヲ受付タルトキハ該申請ニ付電話至急開通規則ノ準用アルコト特ニ同則第十三條ノ制限及第十四條ノ罰則關係ニ付充分說明ヲ與ヘ行違ナキヲ期スルコト

四　申請受付數ハ加入申込ヲ有スルモノトノ區別シ該受付期間滿了ノ翌日電報（豐原局ハ口頭）ニテ之ヲ報告スルコト

第二　電話ヲ必要トスル程度ノ審査

一　申請ニ對シテハ實際電話ヲ必要トスル程度竝其ノ順位等ヲ審査スル爲審査員トシテ當該局長及主ナル吏員二名以上之ニ當ルコト

二　申請ヲ受付ケタルトキハ前項審査員ニ於テ各申請書每ニ大體左記各號ノ事項ヲ審査シ取付期間滿了後二十日以內ニ調査ヲ終了セシメ第三項第一號ニ依リ優先受理決定ノモノヲ除キ各其ノ實際必要程度ノ厚薄ニ依ル順位（一、二、三ノ順番ヲ以テ表示スルコト）ヲ附シ區內ノ事情ニ精通スル部外者（可成町村長及商業會議所若ハ確實ナル實業團體ノ代表者又ハ之ニ準スル者）ノ意見ヲ徵シタ

〔樺通〕

ル上之ヲ確定シ第三號書式ニ依リ報告スルコト

第三　抽籤ニ關スル事項

申請數カ當該地寄附開通豫定箇數ヲ超過シタルトキハ左記各號ニ依リ處理ス

一　申請數カ當該地寄附開通豫定箇數ヲ超過シタルトキハ別記標準（別ニ通牒ス）ニ適合スルモノノ內寄附開通豫定箇數ノ一割（端數ハ之ヲ切捨ツ）ヲ限リ公益上必要アルモノトシテ優先受理セラルヘキニ付該當ノ申請アルトキハ前項第二號ノチ（ヌルヲワノ事項ヲ調査シ申請受付期間滿了後二日以內ニ實際必要程度竝其ノ順位（該當申請一箇ノ場合ハ之ヲ要セス）ニ付意見ヲ附シ指揮ヲ受クヘシ

二　抽籤ニ附スヘキ申請ハ當該地寄附開通豫定箇數ヨリ前號ニ依リ優先受理決定數ヲ差引タル殘數ノ二倍以內トシ第二項ノ二ニ依ル必要程度ノ順位ニ依リ當該局ニ於テ之ヲ選定スルコト但シ第二項第二號ノチニ依リ特ニ增設ノ必要アリト認ムルモノヲ除クノ外同一人ヨリ設置場所ヲ同シクスル申請二箇以上アリタル場合ニ於ケル一箇以外ノ申請ニ付テモ之ヲ同一人ノ申請ト見做ス）ハ之ヲ抽籤ニ附セサルコト

三　抽籤ハ左記各號ニ依ルノ外各局適宜ノ方法ニ依リ第二項ノ二ニ依ル部外者及前號ニ依リ選定シタル申請者中適宜數名ヲ選定立會シメ最嚴格ニ施行シ尙可成新聞記者等ノ參觀ヲモ許シ抽籤施行日時及場所ハ豫メ之ヲ報告スルコト

イ　籤ハ抽籤假番號ニ依リ之ヲ作リ（加入申込登記順番又ハ加入申込者名若ハ申請者名等ヲ記載スヘカラス）且其ノ數ハ前號ニ依ル選定

〔樺通〕

申請數トノ符號ヲ確ムルコト

ロ　當籤順番ハ最初ニ抽出シタル籤ヲ第一番トシ以下抽出順位ニ依リ順次之ヲ附シ抽籤ハ當該地寄附開通豫定箇數ヨリ優先受理箇數ヲ差引タル殘數ニ滿ルヲ以テ止ム

ハ　抽籤ヲ終リタルトキハ其ノ旨及「以下補缺トシテ何箇抽籤」ノ旨ヲ參會人ニ告ケ引續キ補缺數ノ抽籤ヲ行ヒ且之ニ當籤順番ヲ附スルコト

ニ　補缺抽籤箇數ハ當該地寄附開通豫定箇數ノ一割（端數ハ切上ケトス）トス

ホ　抽籤ヲ終リタルトキハ三日以內ニ第四號書式ニ依リ之ヲ報告スルコト

第四　申請受理及寄附ニ關スル事項

一　申請ノ受理不受理ハ當廳ニ於テ之ヲ決定シ其ノ通知書ハ當該局ヲ經由スヘキニ付夫々傳達ト共ニ受理セラレタルモノニハ指定期日內ニ加入申込ヲ爲サシムルコト

二　受理通知ヲ受ケタル申請者ニ對シテハ寄附物件ハ申請者全體ニ共通スル豫算ヲ以テ指定スヘキニ付指定期日內ニ必之ヲ納入スヘキ旨懲示シ且寄附ニ關スル事項ヲ處辨セシムル爲總代人（受理申請者中ノ一人タルヲ要ス）ヲ選定セシメ第六號書式ニ依ル總代人設定書ヲ徵シ提出セシムルコト

第五　申請ノ取消及申請中ノ設置場所變更ニ關スル事項

一　申請受理通知後ニ該申請ヲ取消シ又ハ申請後其ノ電話機設置場所變更方申出ノモノアルトキハ各其ノ事由竝ニ申請後ニ於テ其ノ事由突發セルモノナリヤ又ハ財利ノ目的ニ出テタルモノニアラサ

ルヤ等ニ就キ詳細ノ事情ヲ調査シ其ノ結果ヲ具シ指揮ヲ受クルコト

第一號書式（加入申込ヲ有スル者ノ申請書式）

電話寄附開通申請書

加入申込年月日

加入申込登記順番

電話機設置場所

右加入申込電話施設ニ要スル物件寄附可致ニ付繰上開通相成度申請候也

年　月　日

住所

職業　氏　名印

何局御中

第二號書式（加入申込ヲ有セサル者ノ申請書式）

電話寄附開通申請書

左記設置場所ニ電話架設致度之カ施設ニ要スル物件ハ寄附可致ニ付繰上開通相成度申請候也

年　月　日

住所

職業　氏　名印

何局御中

電話機設置場所　何町（村）大字何字何何番地

【樺通】

第三號様式

何年度何局電話寄附開通申請者選定調書

【樺通】

必要程度ノ順位	機械設置場所	申請者 職業	申請者 氏名	備考
一				同一戸内ニ既設電話ヲ有スル其ノ電話番號何番ニシテ一日平均呼數何程接續數何程
二				
三				
四				
五				

年　月　日

審査委員官（職）　氏　名印

同　（同）　氏　名印

同　（同）　氏　名印

備考　既設電話ヲ有スル者ハ其ノ電話番號ヲ其ノ他特ニ記載ヲ要スル事項ハ備考欄ニ記載スルコト

第四號様式

何年度何局電話寄附開通申請當籤調書

當籤順番	抽籤假番號	申請年月日	加入申込年度順番	機械設置場所	住所氏名	備考

年　月　日　　何局長

備考

一、當籤順番ハ抽籤順位ニ依リ之ヲ附シ補缺當籤順番ニハ「補缺」ト冠記スルコト

二、本調書ハ抽籤假番號順ニ列記スルコト

三、本調書ニハ抽籤ニ附スヘキ申請者全部ヲ記載スルコト

四、優先受理ニ係ルモノハ本調書ノ末尾ニ之ヲ附記スルコト

五、設置場所ト住所ト同一ノモノハ住所ノ記入ヲ省略スルコトヲ得

第五號書式

〔棒通〕

電話寄附開通申請受／不受理通知

申請局名

申請年月日

加入申込年度順番

電話機設置場所

右電話寄附開通申請ハ受理／不受理ノコトニ　決定候ニ付此段及御通知候

追而大正　年　月　日迄ニ電話規則ニ依ル加入申込書ヲ當該局ニ差出サルヘシ若該期日迄ニ加入申込ヲ爲サザルトキハ該申請ハ無效ニ歸スヘキニ付注意相成度

備考　追書ハ受理決定者ノ內加入申込ヲ有セサル申請者ニノミ記載ス

〔棒通〕

第六號樣式

貳錢印紙

電話寄附開通申請者總代人設定書

一總代人

住所

職業　氏名

自分共儀何局電話加入ニ關シ前記總代人ヲ設定シ左記事項ノ處理ヲ委任候也

年　月　日

長官宛

記

一　何局電話寄附開通ニ要スル物件ノ寄附及之カ納入ニ關スル一切ノ事項

何局電話寄附開通申請者
何　某印
（各申請者名連記調印ノコト）

●電話加入者異動ニ關スル件

大正十二年五月二日
遞監第一六六四號
電話交換取扱局

自今電話加入者ノ異動中新規開通及既設電話ノ名義變更ハ各局ノモノ毎一ケ月分宛取纏メ公布式彙報欄ニ登載スルコト、シ四月分ヨリ實施候ニ付當該公布式新聞到達ノ上ハ直ニ貴局各部備付電話番號簿相當訂正置相成度

●電話加入名義變更申請ニ關スル件

大正十三年九月三日
遞監第四五二五號
普通電話交換取扱局

電話規則第十一條第五號ニ依リ物件寄附開通電話ニシテ開通後五年ヲ經過セサルモノヽ名義變更申請書移送ノ場合ハ自今副申書餘白ニ當該電話開通年月日記入相成度

〔樺通〕

●寄附電話加入名義變更ニ關スル件

大正十三年八月三日
遞第五四七號内務部長
普通電話交換取扱局長

電話規則第十一條第五號ニ依リ開通シタル電話及同則第二十一條第二項第五號ニ依リ加入種類ヲ變更シタル電話ノ加入名義變更ニ關シテハ電話至急開通規則ヲ準用スル結果右變更申請アリタル際ハ不得已事情ノ有無ニ付愼重調査ヲ遂クヘキハ勿論變更後ハ舊名義人ノ權義一切ヲ新名義人ニ於テ繼承スヘキモノニ付名義變更後ト雖モ開通又ハ加入種類變更後五年經過セサルトキハ該電話ハ自由ニ名義又ハ設置場所ヲ變更シ得ラレサル旨關係者ニ申告ケ行違ナカラシムル樣相當注意相成度尚新名義人カ既加入者ナルトキハ自己又ハ自己ノ營業上果シテ電話ノ增設ヲ必要トスルヤ又ハ機械設置場所ト名義人トノ關係ヨリ他人ノ使用ニ供スルヲ目的トスルモノニアラサルヤ否等ヲ精査シ申請書提出ノ際意見副申相成度

追テ寄附開通及寄附ニ依リ加入種類ヲ變更シタル電話ハ當該加入者原簿摘要欄ニ左記區別ニ依リ洩ナク朱書シ置カレ度爲念

開通ノ分
加入種類變更ノ分

「寄附開通」
「寄附變更」

●電話加入種類變更ニ關スル件

大正十三年八月七日
遞監第三三七四號
普通電話取扱局

電話規則第二十一條第二項第五號ニ依ル加入種類ノ變更ハ從來請求ノ都度工事施行シ來リシモ自今適當ノ時機ニ於テ取纏メ處理シ其ノ都度ノ請求ニ應セサル方針ニ付請求書受付ノ際此ノ旨懇示可然取計相成度

●電話使用料接續料電話移轉料据置ノ件

大正十三年三月　廳令第六號

電話規則ニ依ル電話料金中附加使用料、電話線接續料機械移轉料ハ當分ノ內從前通トス

本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

附加使用料

特別加入　町程一町迄每ニ年額三圓（第三條第二項ニ依ル加入ナルトキハ當該電話取扱局ノ加入區域外町程一町迄每ニ尙一圓ヲ附加ス）

卓上電話機	一箇每ニ年額〔甲號	十四圓
	乙號	八圓
增設機械	一箇每ニ年額	
受話器	〔筒形又ハ時計形	三圓
	載頭	八圓
電鈴		三圓
官廳用及私設電話機接續	一箇每ニ年額	八圓
市內專用電話機接續	一箇每ニ年額	五圓
電話線接續料	當該電話取扱局ノ特別加入區域內町程一町迄每ニ	十五圓

〔樺通〕

〔樺通〕

電話移轉料		
同一ノ邸宅又ハ構內ニ於ケル移轉又ハ機械一時撤去		
電話機	一箇每ニ	三圓
增設電鈴	一箇每ニ	二圓
附屬物品（電話機、電鈴若ハ附屬交換機ノ移轉又ハ一時撤去ニ伴フ場合ヲ除ク）	一箇每ニ	二圓
附屬交換機及其ノ附屬物品		實費
他ノ邸宅又ハ構內ヘノ移轉	二十圓（增設機械アルトキハ同一ノ邸宅又ハ構內ニ於ケル移轉ノ料金ヲ附加ス）	

●特設電話料金据置ノ件

大正十三年三月　廳令第五號

特設電話ニ關スル料金ハ當分ノ內從前通トス

本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

一加入登記料		五圓
二名義書換料		二圓
三交換料	〔單獨加入及共同線加入	一加入每ニ年額　三十四圓
	連接加入	一加入每ニ年額　二十六圓

四附加交換料
- 長距離裝置電話機（長距離／特別長距離）　一箇毎ニ年額　六圓
- 増設電話機　一箇毎ニ年額　十二圓
- 官廳用又ハ私設電話機接續　一箇毎ニ年額　八圓
- 市內專用電話機接續　一箇毎ニ年額　五圓
- 重複揭載　一箇所毎ニ年額　一圓

五電話番號簿揭載料
- 他人名義揭載　一年額　六圓
- 甲種増設使用者名義揭載　一名義毎ニ年額　五圓
- 増設及接續電話機設置場所揭載　一箇所毎ニ年額　五十錢

六維持料
- 一電話線路（水底線路ヲ除ク）
  - 複線式　一町迄毎ニ年額　二圓
  - 單線式　一町迄毎ニ年額　一圓四十錢
- 一電話機（電池及附屬物品ヲ含ム）
  - 普通　一箇毎ニ年額　六圓
  - 卓上（甲號）　一箇毎ニ年額　十二圓
  - 卓上（乙號）　一箇毎ニ年額　十四圓

（樺通）

- 甲種増設電話機附屬交換機　申請許可ノ都度之ヲ定ム
- 一、本電話機ト通話シ得ル乙種増設電話機ニ對シテハ一箇毎ニ五圓ヲ附加ス
- 一、二箇ノ加入回線ニ共通接續スル乙種増設電話機ニ對シテハ四圓ヲ附加ス

（同一ノ加入回線ニ接續スル二箇以上ノ甲種増設電話機カ同一人ノ專用ニ屬セサル場合ハ一箇毎ニ尙八圓ヲ附加ス）

一増設電鈴　一箇毎ニ年額　二圓

一増設受話器（筒形又ハ時計形ニ載ス）頭　一箇毎ニ年額　二圓

一、増設電話機ニ關シ特殊ノ裝置ヲ爲ストキハ本料金ヲ特定スルコトアルヘシ

一、第二十六條ニ依リ加入者ニ於テ増設電話機ノ維持ヲ爲ス場合ニ於テハ増設電話機ニ關シ本料金ヲ課セス但シ本電話機ト通話シ得ル乙種増設電話機ニ對シテハ一箇毎ニ二圓ヲ課ス

●特設電話加入事務處理手續

大正十年十二月十六日
訓令第二百二十二號

内務部　郵便局

特設電話加入事務處理手續別冊ノ通定メ大正十年十二月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

目次

第一章　總則
第二章　加入申請
第三編　電信及電話　第二類　電話

第三章　加入名義變更其ノ他ノ申請
第四章　認可
第五章　工事用物件及工費支辨
第六章　工事施行及開通
第七章　電話番號設定竝電話番號簿調製
第八章　加入又ハ加入申請ノ取消及物件撤去
第九章　雜件
附錄　樣式

第一章　總則

第一條　特設電話ノ加入事務ニ關シテハ電話加入事務規定及特設電話加入事務規程ニ依ルノ外本手續ニ依リ處理スヘシ

第二條　特設電話ニ關スル各種書類ニ記名調印スル場合ハ左記各號ニ依ラシムルヘシ

一、個人ノ場合ハ其ノ住所氏名ヲ明記調印セシムヘシ

二、法人ニアラサル各種團體若ハ商店等ノ場合ハ其ノ團體ノ名稱又ハ商號ヲ肩書シ團體員又ハ商店主等個人名義ヲ以テ前號ニ依ラシムルヘシ

三、私法人ノ場合ハ左例ニ依リ其ノ主ナル事務所所在地及其ノ名稱ヲ表示シ且ツ權限アル代表者ノ住所氏名ヲ記載調印セシムヘシ但シ代表者ノ資格判明セザルトキハ其ノ代表權ヲ證明スヘキ書類（樺通）

例一

何府（縣）何郡（市）何町（村）大字何字何何番地
印社　合名會社　何々商會
住所
右代表者　氏　名㊞

例二

何府（縣）何郡（市）何町（村）大字何字何何番地
印社　株式會社　何銀行
住所
右專務取締役　氏　名㊞

四、公法人ノ場合ハ其ノ所在地及名稱ヲ表示シ其印章ヲ押捺シ其ノ代表者ヲシテ記名調印セシムヘシ

五、官廳ノ場合ハ前號ニ準ス

六、代理人ノ場合ハ前各號ニ依リ本人ノ住所氏名ヲ記載調印セシムヘシ但シ此ノ場合ハ代理權ヲ證明スヘキ書類（委任ニ因ル場合ハ委任狀法定

代理人ナル場合ハ相當官公署ノ證明書）ヲ添付セシムヘシ

第三條　特設電話ニ關スル各種申請書ヲ受付タルトキハ申請竝ニ添屬書類ノ不備脫漏等ナキヤ否ヲ精査シ即日書留通常郵便ヲ以テ遞信課宛移送スヘシ但シ第七條但書ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本手續ニ依リ徵スル見合印鑑紙ハ加入者原簿相當欄ニ貼付シテ後提出スル書類押捺ノ印影照合ノ用ニ供スヘシ

第二章　加入申請

第五條　加入申請書ニハ左記各號ノ書類ヲ添付セシムヘシ

一、保管轉換承諾書（第一號及第二號樣式）ハ加入申請者カ國費支辨ノ官廳ナルトキハ保管轉換承諾書ヲ其ノ他ハ總テ無償提供承諾書ヲ提出セシムヘシ

二、印鑑紙（第三號樣式）

三、家屋所有者承諾書（第四號樣式）

電話規則第六條第三項ノ場合ニ限ル

四、共同線又ハ連接加入承諾書（第五號樣式）

特設電話規則第十條第二項但書ノ場合ニ限ル

五、特別加入區域編入承諾書（第六號樣式）

特ニ指定スル場合ノ外機械設置場所カ郵便區市外地又ハ無集配局ニ在リテハ其ノ局所在地外ノ場合ニ限ル

〔樺通〕

六、特設電話加入區域外加入申請書（第七號樣式）

電話加入區域外ヨリ加入セントスルニ限ル

七、設備（維持）自營申請書（第八號樣式）

電話加入ノ設備竝ニ維持ヲ自營セントスル者ニ限ル

八、特設電話加入回線方式變更申請書（第九號樣式）

電話加入回線ヲ單線式ト爲サントスル場合ニ限ル

九、三加入以上共同線加入申請書（第一〇號樣式）

三加入以上共同加入ヲ爲サントスル場合ニ限ル

第六條　加入申請書ヲ差出スモノアルトキハ左記各號ノ調査ヲ爲シ支障ナシト認ムルモノハ之ヲ受付クヘシ

一、申請者ハ電話規則第八十一條ニ依リ加入資格ナキモノニアラサルヤ

二、加入申請書及其ノ他ノ書類ニ不備ノ點ナキヤ

三、加入登記料ニ過不足ナキヤ

第七條　加入申請書ヲ受付タルトキハ加入者原簿（第一號樣式）ニ相當事項ヲ登記シ且加入登記料ニ對スル受領證（第一二號樣式）ヲ申請者ニ交付シ加入申請書右傍下部餘白ニ加入申請順番及受付月日ヲ記載シ添付書類ト共ニ順次編綴（一番ヲ上部ニ）シ送付書ヲ添ヘ即日遞信課宛移送スヘシ但シ第一六條加入申請書受理期間內ハ之ヲ取纏メ移送スヘシ

第八條　特設電話規則第一三條各號ノ申請ヲ爲スモノアル時ハ左記各號ノ事項ヲ調査シ意見ヲ附シ書類ヲ遞信課宛移送スヘシ

一、加入區域外ヨリ加入セントスルトキ

(イ)　電話機設置場所ノ地況申請者ノ營業狀態取引關係及通信利用ノ程度等

(ロ)　電話機設置場所ト局所在地トノ連絡狀況（道路人家連檐ノ狀況等ヲ圖示スルコト）

二、三加入以上共同線加入ヲ爲サントスルトキ

(イ)　各加入者及加入申請者電話機設置場所相互間ノ直通距離及架線上障碍ノ有無

(ロ)　電話機設置場所相互間ノ道路距離及道路ノ關係ヲ表示シタル圖面ヲ添付ノコト

三、電話回線ヲ單線式ト爲サムトスルトキ

(イ)　局ト電話機設置場所間ニ電燈線電信又ハ電話線其ノ他ノ電線建設シアルヤ否ヤ

(ロ)　局ト電話機設置場所ノ距離及道路ノ狀況ヲ表示シタル圖面ヲ添付ノコト

四、設備又ハ維持ヲ自營セントスルトキ

申請者ハ設備又ハ維持ニ對シ相當技倆經驗ヲ有スルヤ又他ヨリ技術者ヲ雇入レ若ハ他ニ囑托スルモノナルヤ其ノ技術者ノ技倆經驗ニ對スル見込（技術者ノ履歷書添付）ヲ要ス

第三章　加入名義變更ノ申請

第九條　電話規則第四五條第二項ニ依リ加入名義變更ノ申請ヲ爲スモノアルトキハ申請書（第一三號樣式）ヲ差出サシメ左記事項ヲ調査シタル上之ヲ受付即日遞信課宛移送スヘシ

〔棒通〕

一、申請書ニ不備ノ點ナキヤ

二、電話料金納入告知書發行後其ノ徵收前ノモノニアラズヤ

三、新名義人ハ電話規則第八十一條ニ依リ加入資格ナキモノニアラザルヤ

四、名義書換料ニ過不足ナキヤ

前項第二號ニ該當スルモノナルトキハ料金納付後ニアラサレハ受理セサル旨ヲ申聞ケ申請書ヲ返付シ納付濟ノモノナルトキハ其旨申請書餘白ニ附記スヘシ

第十條　電話規則第四十六條ニ依リ加入繼承ノ申請スルモノアルトキハ申請書（第一四號樣式）ニ關係者ノ戸籍謄本其ノ他ノ證明書ヲ添付差出サシメ即日遞信課宛移送スヘシ

會社其ノ他法人ノ合併組織變更等法律規定ニ依リ人格ヲ繼承スル場合ハ其ノ登記謄本ヲ添付セシメ前項ニ準シ處理スヘシ

第十一條　特設電話規則第十三條第一號ニ依ル電話機設置場所ヲ變更セントスルトキハ申請書（第十五號樣式）ヲ差出サシムヘシ

特設電話規則第十四條各號ノ申請書ハ樣式第十六號乃至第二十三號ニ依リ差出サシム

加入名義變更又ハ加入繼承ニ伴ヒ電話幾設置場所ヲ變更セントスルトキハ新名義人ヨリ申請書（第二十四號樣式）ヲ差出サシムヘシ

電話機設置場所變更ノ場合ニ於テ他人所有ニ係ル家屋ニ設置セントスルトキハ其ノ家屋所有者ノ承

〔棒通〕

諸書(第四號樣式)ヲ添付セシムヘシ

電話機設置場所變更ニ伴ヒ不用トナルヘキ線路アルトキハ左ノ區分ニ從ヒ請求書若ハ屆書ヲ電話機設置場所變更申請書餘白ニ其ノ旨附記スヘシ

但シ不用線路ナキトキハ電話機設置場變更申請書(第二五號樣式)

(イ)不用電線路ヲ撤去セントスルトキ(第二六號樣式)

(ロ)不用電話線ヲ棄權セントスルトキ(第二七號樣式)

(ハ)不用電話線路ヲ其ノ儘豫備トシテ存置セムトスルトキ(第二七號樣式)

第四章　認可

第十二條　加入者新增設實測後ニ於ケル移轉變更ハ當初ノ豫算範圍內ニテ處辨シ得ラルル場合ノ外之ヲ認可セス

第十三條　前二章及第七條ノ申請ニ對シ認可書到達シタルトキハ加入者原簿ニ相當事項ヲ記入シ認可書ハ速ニ申請人ニ交付スヘシ

前項認可書ニ對スル工事費豫算書ハ所屬局ニ送付スヘキヲ以テ當該局ニ於テハ速ニ申請人ニ交付スヘシ

第五章　工事用物件及工費支辨

第十四條　前條ニ依リ交付シタル豫算書ニ記載シタル物品ノ供給竝工費支辨方ハ左記各號ニ依ルヘシ

〔樣通〕

一、豫算書中「現品提供」ト附記セル物件ハ申請者ヲシテ現品ヲ提供セシメ其ノ他ノ物品購買勞力供給及之ニ對スル代金支拂方等ハ第二八號樣式ニ依リ當廳ニ委托セシムヘシ但シ官廳加入ノ場合ニ於テ希望アルモノハ代金支拂ニ限リ委托セシメサルコトヲ得

二、電話機設置場所變更電話機及附屬物品增設ノ場合ニ於テハ申請書上部餘白ニ「材料提供」ト記載セシムヘシ

但シ必要ト認ムル場合ハ之ヲ許可セサルコトアルヘシ

三、前號ニ依ル工事材料ヲ加入者ヨリ提供シタルトキハ直ニ遞信課ニ報告シ檢查ヲ受ケシムヘシ

第十五條　前條第一號ノ支拂委托ハ工事完了後精算シ委托金ニ過剩ヲ生シタルトキハ還付シ不足アルトキハ追納セシム

第六章　工事施行及開通

第十六條　新ニ交換業務開設ノ際開通セシムヘキ加入者ハ加入申請受理開始ノ日ヨリ二十日間內ニ申請書ヲ受付タルモノニ限ル但シ特別ノ事情ニ依リ該受付期間ノ延伸ヲ必要トスル場合ハ豫メ期間ヲ定メ其ノ旨具申スヘシ

第十七條　加入者增設ハ每年一回二月末日ヲ以テ締切リ工事ハ翌年度中ニ之ヲ行フ但シ必要ニ依リ締切期日ヲ延伸シ又ハ隨時締切增設工事ヲ行フコトアルヘシ局舍增設改築交換室模樣替又ハ交換機ノ增設變更等ヲ要スル場合若ハ其他一般工事上ノ關係ニ依リ增設工事繰延フルコトアルヘシ

共同線(既設加入者ヲ相手方トスル場合ニ限ル)又連接加入ハ特殊ノ事由アルモノニ限リ期限ニ拘ハ

〔樣通〕

ラス施行スルコトアルヘシ

第十八條　開通期日ノ通達ヲ受ケタルトキハ速ニ申請者ニ通知スヘシ但シ既設加入者ト共同線加入又ハ連接加入トナルヘキ加入者開通ノ場合ハ其ノ相手方又ハ本加入者ヘモ通知スルコトヲ要ス

第十一條第一項乃至第三項ノ設備變更等ハ其ノ工事竣成ノ日ノ翌日ヨリ實施スルモノトシ前項ニ準シ取扱フヘシ其ノ竣成期日ハ施工者ヲシテ通知セシム

第七章　電話番號設定竝ニ電話番號簿調製

第十九條　業務用無料電話ノ電話番號ハ左記ニ依ル

公衆通話用　零　番
事　務　用　五〇番
障害試験用　六〇番｝別ニ設備セサル場合ハ零番ヲ兼用ス
電報托送用　一五〇番｝
局長住宅用　一〇〇番

第二十條　電話加入者ノ電報番號ハ加入申請登記順番ニ依リ當廳ニ於テ之ヲ定メ開通前ニ通達ス

但シ二名以上新增設ノ場合ニ於テ各申請者ノ希望アルトキハ適宜ノ方法ニ依リ電話番號ヲ協定セシメ電話番號設定認可申請書（第二九號樣式）ヲ提出スヘシ

第二十一條　前條但書ニ依リ電話番號ヲ協定セシムルトキハ第十九條ニ依ル無料電話番號及左記各番ヲ空番トスヘシ

第七十番ヨリ第九十九番迄第百六十九番ヨリ第百九十九番迄

第二十二條　電話番號設定ノ通達ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ加入申請者ニ通知シ電話番號簿ニ掲載スヘキ加入者氏名、稱號及職業等ヲ取調ヘ電話番號簿原稿（第三〇號樣式）ヲ作成シ速ニ遞信課宛送付スヘシ

第二十三條　他人名義掲載ヲ希望スルモノアルトキ若ハ其ノ掲載ヲ取消サムトスルモノアルトキハ樣式第三一號又ハ第三二號ノ請求書ヲ差出サシメ遞信課宛移送スヘシ

第八章　加入又ハ加入申請ノ取消及物件撤去

第二十四條　加入申請者又ハ加入者其ノ加入申請又ハ加入ヲ取消サントスルトキハ樣式第三三號ノ申請書ヲ差出サシメ卽日之ヲ遞信課ニ移送スヘシ

第二十五條　前條ノ場合ニ於テ加入申請者又ハ加入者ニ於テ供給シタル物件アルトキハ樣式第三四號又ハ第三五號ニ依リ該物件ノ撤去請求書若ハ其ノ棄權屆ヲ添付セシムヘシ加入ノ除名若ハ加入申請失效等ノ場合亦之ニ準ス

第九章　雜　件

第二十六條　加入登記料及加入名義書換料ニ充ツヘキ郵便切手ハ一圓、五圓ノ二種トシ各申請書ニ貼付セス別ニ封筒ニ納メ添付スヘシ

第二十七條　加入者又ハ加入申請者轉居改名及改印等ヲ爲シタルトキ又ハ法人ニシテ其ノ代表者ニ異動アリタルトキハ相當證明書ヲ添付其ノ都度屆出テシムヘシ（第三六號乃至第三七號樣式）

前項ノ屆出アリタルトキハ加入者原簿ヲ相當訂正シ且改印ノ場合ノ外直ニ遞信課ニ移送スヘシ加入者又ハ加入申請者ヨリ差出ス各種書類ニ押捺ノ印影ハ之ヲ印鑑紙ニ照合シ相違ナキヲ確メタル上當該書類ノ上部餘白ニ「印鑑照合濟」ト朱記スヘシ

第二十八條　加入申請者二名以上ニ對シ同時ニ工事ヲ施行スルトキハ左記事項ヲ處辨セシムル爲可成其ノ中ノ一人ヲ總代人ト定メ總代設定書（第三八號様式）ヲ徵シ遞信課宛移送スヘシ

一、設備用物件ノ供給、費用ノ支拂竝物件ノ購入及其ノ代金支拂委托ニ關スル事項
二、局内設備及施行者旅費給料等ノ寄附ニ關スル事項
三、其ノ他工事施行ニ關スル事務處辨上必要トスル事項

第二十九條　各局ニ於テハ可成加入者組合ヲ設ケ第三九號様式ニ準シ規約ヲ制定セシムヘシ

第一號様式

保管轉換承諾書

特設電話規則ニ依リ（何）郵便局特設電話ニ加入申請致候處他日同地ニ電話規則ニ依ル電話交換業務ヲ開始セラルル場合ハ右特設電話加入ノ爲施設シタル線路及機械並附屬品等ヲ總テ現場ノ儘無條件ニテ保管轉換可致候也

昭和　年　月　日

所在地

官印　官廳名

〔棒通〕

第二號様式

三錢印紙　無償提供承諾書

特設電話規則ニ依リ（何）郵便局電話交換ニ加入申請候處他日同地ニ電話規則ニ依ル電話交換業務ヲ開始セラルル場合ハ右特設電話加入ノ爲施設シタル線路及機械並附屬品等ハ總テ現狀ノ儘無償ニテ御廳ニ提供可致候

年　月　日

代表者　氏　　名㊞

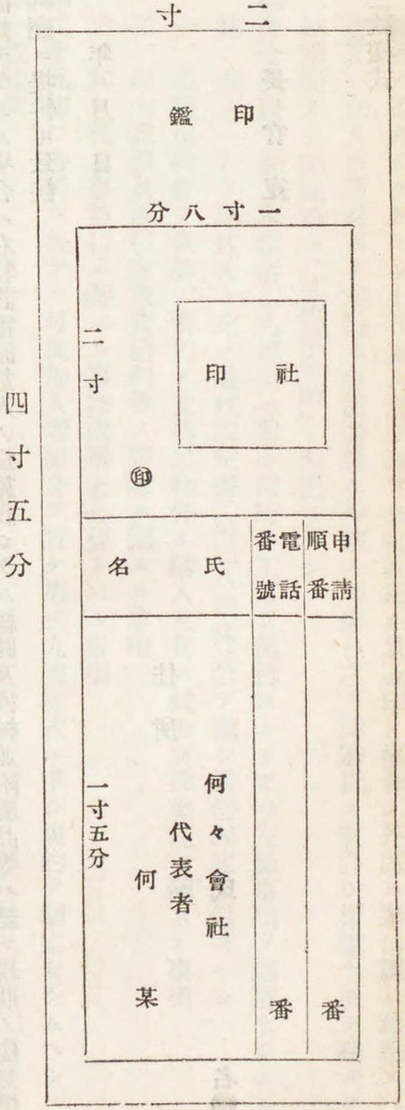
〔棒通〕

第三號様式

長官宛

住所

氏　　名㊞



備考

一、法人ノ場合ハ其ノ法人及代表者ノ印章ヲ押捺シ法人ノ名稱代表者ノ氏名（資格ヲ明記スルコト）ヲ記載スルコト

二、代理人ヲ以テ申請スル場合ハ本人及代人ノ印章ヲ押捺シ氏名ニハ本人又ハ代人ト肩書スルコト

第四號樣式

家屋所有者承諾書

〔樺通〕

貴殿ニ於テ(何)郵便局電話交換ニ加入ノ爲私所有ノ何町(村)大字何字何番地所在ノ家屋ニ電話機設置ノ義私ニ於テ異義無之候也

年　月　日

住所
家屋所有者　氏　　名㊞

何某　殿

第五號樣式

特設電話共同線(連接)加入承諾書

(何)郵便局特設電話第何番

今般貴殿ニ於テ私加入ノ右電話ニ共同線(連接)加入申請ノ義私ニ於テ異存無之候也

年　月　日

住所
氏　　名㊞

何某　殿

第六號樣式

特別加入區域編入承諾書

特設電話規則ニ依リ(何)郵便局電話交換ニ加入申請致候處將來電話規則ニ依ル電話交換業務開始相

成候場合ハ右加入電話機設置場所ヲ特別加入區域ニ編入セラルルモ異存無之候也

年　月　日

住所
氏名㊞

長官宛

第七號樣式

特設電話加入區域外加入申請書

左記ニ依リ何郵便局特設電話加入區域外ニ於テ加入致度候條御許可相成度此段申請候也

年　月　日

住所
職業
氏名㊞

長官宛

一、電話機設置場所
二、加入ヲ必要トスル事由

第八號樣式

設備（維持）自營申請書

左記事由ニ依リ電話加入ノ設備（維持）ヲ自營致度候條御認可相成度此ノ段申請候也

年　月　日

〔棒通〕

住所
職業
氏名㊞

長官宛

一、設備又ハ維持ヲ自營セントスル事由

第九號樣式

特設電話加入回線方式變更申請書

左記事由ニ依リ電話加入回線ヲ單線式トシテ加入致度候條御認可相成度此段申請候也

年　月　日

〔棒通〕

住所
職業
氏名㊞

長官宛

一、電話機設置場所
一、局ヨリ電話機設置場所間ノ距離
一、電話回線ヲ單線式トナサントスル事由

第一〇號樣式

特設電話三加入以上共同線加入申請書

左記事由ニ依リ何某外何名共同線トシテ加入致度候條御認可相成度此段申請候也

年　月　日

住所　職業　氏　名㊞
同　同　同㊞
同　同　同㊞

長官宛

〔樺通〕

第二一號様式　特設電話加入者原簿

電話番號	第　番
(印鑑紙貼付欄)	
加入申請年月日	年　月　日
加入申請順番	第　番
加入認可年月日	年　月　日
開通年月日	年　月　日
線路丁程	

〔樺通〕

		年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日
電話機設置場所					
加入者	住所				
	稱號				
	職業				
	氏名				
電話機種別	卓上　甲				
	卓上　乙				
機械増設及官廳用ハ私設電話機接續					
摘要					

記入心得

一、電話機種別欄ニハ卓上電話機設置ノ場合ニ限リ其ノ種別ニ從ヒ相當欄ニ其ノ箇數ヲ記載スヘシ

二、機械増設及官廳用又ハ私設電話機接續ノ場合ハ増設又ハ接續年月日及機械種類竝其ノ箇數ヲ相當欄ニ記載スヘシ

三、加入種類變更名義變更機械設置場所異動其ノ他參考トナルヘキ事項ハ簡明ニ摘要欄ニ記入シ置クヘシ

第一二號樣式

受領證

一郵便切手額面　五圓也

但シ特設電話加入登記料トシテ假納

右領收候也

年　月　日

何　郵便局　長㊞

加入申請者

何　某　殿

第一三號樣式

㊞三錢印紙㊞

電話加入名義變更申請書

何局何番

加入者　何　某

右電話加入名義何某ニ變更致度御認可ノ上ハ新名義人ニ於テ舊名義人ノ權利義務ヲ一切繼承シ電話ニ關スル規則ニ遵ヒ加入者タルノ責務ヲ引受可申當事者連署此段申請候也

〔樺通〕

年　月　日

住所

舊名義人　氏　名㊞

住所

職業新名義人　氏　名㊞

長官宛

備考　貼付收入印紙ハ當事者兩名ニテ消印スヘシ

名義書換料ヲ貼付消印スル餘白ヲ存セラルヘシ

第一四號樣式

電話加入繼承申請書

何局第何番（何局登記順番第何番）

何　某

右ノ者今般何々ニ付其ノ電話加入（加入申請者）ヲ私ニ於テ繼承致度御認可ノ上ハ繼承人ニ於テ舊名義人ノ權利義務ヲ一切繼承シ電話ニ關スル規則ニ遵ヒ加入者（加入申請者）タルノ責務ヲ引受可申別紙戸籍謄本（證明書）相添此段申請候也

年　月　日

長官宛

備考　會社其ノ他ノ私法人カ法律規定ニヨリ人格ヲ繼承スル場合ハ其ノ登記謄本ヲ添付セシムヘシ

第一五號樣式

特設電話加入區域外機械設置場所變更申請書

何郵便局特設電話第　何番
加入申請順番第何番

右加入(加入申請)電話機設置場所ヲ左記ニ依リ特設電話加入區域外ニ(加入區域外相互間ニ於テ)變更致度此段申請候也

年　月　日

住所
繼承人　氏　　名㊞

長官宛

一、電話機設置場所
　現在
　變更

住所
職業　氏　　名㊞

〔欄通〕

二、設置場所變更ヲ要スル事由

第一六號樣式

特設電話加入種類變更申請書

何郵便局特設電話第何番甲(乙)(連接)
加入申請順番第何番共同線(連接)加入

右ハ從來共同線(連接)(單獨)加入ニ有之候處今般單獨(第何番ト共同線又ハ連接)加入ニ變更致度此段申請候也

年　月　日

長官宛

住所
氏　　名㊞

第一七號樣式

機械設置場所變更申請書

何局何番(何局登記順番第何番)

右加入ノ電話機(右加入ノ電話機ニ增設セル電話機電鈴受話器等)設置場所ヲ左記ノ箇所ニ變更致度此段申請候也

年　月　日

〔欄通〕

長　官　宛

一、現設置場所
一、變更設置場所

備　考

本申請書ニハ局新舊機械設置場所位置（增設機械アルトキハ其ノ位置共）及其ノ相互間ノ距離ヲ表示シタル圖面ヲ添付ヲ要ス但シ同一邸宅構内ニ於テ變更スルモノナルトキハ局ノ位置表示ヲ要セス

同一邸宅構内ニ於テ變更スル場合ニシテ字名及地番ニ異動ナキ場合ハ新設置場所ノ下ニ「同一構内」ト記載シ其ノ地番ニ異動アル場合ハ地番ノ下ニ「同一構内」ト附記スルコト

第一八號樣式

共同線（連接）加入相手方變更申請書

何局第何番（何局登記順番第何番（甲）（乙）（連接）
右加入電話ヲ第何番ト共同線（連接）加入ニ變更致度此段申請候也

年　月　日

住所
氏　名㊞

〔樺通〕

長　官　宛

注意　一、新相手加入者ノ承諾書（樣式第五號）添付ヲ要ス
　　一、局機械設置場所（新舊相手加入者共）ノ位置及其ノ相互間ノ距離ヲ表示シタル圖面添付ヲ要ス

第一九號樣式

電話機變更申請書

何局第何番（何局登記順番第何番）
右加入電話ノ（右加入ノ電話ニ增設セル）普通電話機（甲號乙號卓上電話機）ヲ甲號卓上電話機（乙號卓上電話機普通電話機）ニ變更致度此段申請候也

年　月　日

住所
氏　名㊞

長　官　宛

第二〇號樣式

機械增設申請書

何局第何番（何局登記順番第何番）

右加入電話ニ電鈴(時計形・轢頭・筒形)受話器一個增設致度此段相願候也

年　月　日

長官宛

住所

氏

名㊞

第二十一號様式

官廳用(私設)電話機接續申請書

左記ニ依リ官廳用(私設)電話機ヲ加入回線ニ接續致度此段申請候也

年　月　日

長官宛

住所

氏

名㊞

一、關係加入電話番號(申請登記順番)

何局第何番(何局申請登記順番何番)

二、電話機及附屬物品設置場所

三、官廳用(私設)電話機交換取扱見込數

四、加入線通話見込數

〔樺通〕

五、現在加入ノ電話番號及該電話通話數

六、交換取扱者

七、工事設計

八、機械仕様

九、機械類維持方法

一〇、工事擔當者

一一、取扱方法

注意　記入方ハ第二二號ノ一様式ニ準スルコト

第二二號ノ一様式

甲種電話機增設申請書

左記ノ通電話機增設致度此段申請候也

年　月　日

長官宛

住所

職業

氏

名㊞

一、關係加入電話番號(申請登記順番)

何局第何番(何局登記順番何番)

〔樺通〕

二、電話機及附屬品設置場所
（電話機設置場番地家屋内ニ於ケル電話機交換機等ノ設置場所ヲ表示スルコト）
三、電話規則第二十九條第二項ニ依リ邸宅又ハ構内ニ準スル地域ニ於テ使用セントスルトキハ其事由
四、電話機及附屬物品ノ種別竝個數
（普通電話機甲號乙號卓上電話機ノ種別ト其ノ個數及交換機種別ト其ノ個數）
五、增設電話機交換取扱見込數
（一日中ノ最繫時一時間ニ於ケル通話見込數）
六、加入回線通話見込數
（一日最繫時一時間ニ於ケル發著通話見込數）
七、現在加入電話番號及該電話通話數
（同一設置場所ニ於ケル電話ノ一日中最繫時一時間ノ發著通話數）
八、交換取扱者
（電話規則第三二條ニ依ル取扱者住所氏名年齡、電話交換ニ關スル智識及技能ヲ疎明シ得ルヘキ履歷竝交換取扱以前ノ事務分擔ノ有無及其程度）
九、工事設計
（電話機、交換機線條其ノ他附屬物品ノ種類個數裝置方法）

【樺通】

十、機械仕樣
（電話機交換機其ノ他附屬物品ノ構造及作用ノ說明但シ遞信省ニ於テ使用スルモノト同一種類ノモノニ付テハ之ヲ要セス）
十一、機械類維持方法
十二、工事擔當者
（電話規則第三十一條第一項ノ場合ニ於テ工事ヲ擔當スル者及直接工事ニ從事スル者ノ住所氏名年齡該工事ニ必要ナル智識及技能ヲ疎明シ得ヘキ履歷申請者トノ關係）
十三、取扱方法
十四、實際上增設電話ヲ使用スヘキ者ト申請者トノ關係
注意　一、第一號ノ事項ハ電話機增設工事完了迄ニ別ニ履歷書ヲ添付シテ屆出ツルコト
二、第一號及第四號第九號及第十號事項ハ別ニ圖面ヲ以テ表示スルコト
三、第九號乃至第十三號ハ加入申請者ニ於テ其ノ設置ノ維持ヲ爲ス場合ニ限リ記入スルコト
四、第八號及第十二號ノ履歷書ハ既ニ提出ノ場合ニ限リ其ノ旨表示シテ之カ記入ヲ省略スルコトヲ得ルコト

第二二號ノ二樣式

乙種電話機增設申請書

左記ノ通電話機增設致度此段申請候也

第三編　電信及電話　第二類　電話

年　月　日

長官宛

一、關係加入電話番號(申請登記順番)
二、增設電話機設置場所
三、電話機增設ノ種別
(「本電話機ト通話シ得ルモノ」「又ハ本電話機ト通話シ得ザルモノ」ノ區別ヲ記入スルコト)
四、電話機ノ種別竝個數
(普通電話機甲號又ハ乙號卓上電話機ノ區別ト其ノ個數ヲ記入スルコト)
注意　第一號及第二號ノ事項ハ別ニ戸内ノ圖面ヲ以テ表示スルコト

第二二號ノ三樣式

乙種共通電話機增設申請書

左記ノ通加入回線ニ共通接續スル電話機增設致度此段申請候也

年　月　日

住所
職業
氏名　㊞

(樽通)

長官宛

一、關係加入電話番號(申請登記順番何番)
何局第何番(何局申請登記順番何番)
何局第何番(同　　)
二、增設電話機及附屬物品設置場所
(設置場所地番)
三、電話機種別竝個數
(普通電話機甲號又ハ乙號電話機ノ區別ト其ノ個數ヲ記入スルコト)

第二三號ノ一樣式

甲種又ハ乙種增設電話機撤去(取消)申請書

何局第何番(何局申請登記順番何番)
右加入電話ニ增設ノ普通電話機(甲號又ハ乙號卓上電話機)何個何年何月何日限リ撤去(取消)致度此段申請候也

年　月　日

住所
氏名　㊞

(樽通)

長官宛

第二三號ノ二様式

乙種共通電話機廢止(取消)申請書

何局第何番(何局申請登記順番何番)

同　（同　）

右加入電話ヨリ共通接續ノ增設電話機ヲ何年何月何日限リ撤去(取消)致度此段申請候也

年　月　日

住所

職業　氏

名㊞

長官宛

第二三號ノ三様式

增設機械撤去(取消)申請書

何局第何番(何局登記順番第何番)

右加入電話ニ增設ノ電鈴(時計形、戴頭、筒形)受話機個撤去(取消)致度此段申請候也

年　月　日

住所

氏

名㊞

〔欄通〕

長官宛

第二三號ノ四様式

官廳用(私設)電話接續變更申請書

何局第何番

右電話加入ノ交換線ニ接續セル官廳用(私設)電話接續方法（交換取扱方法、維持方法、線條、機械及附屬物品ノ種類竝個數又ハ機械設置場所）左記ノ通變更致度別紙圖面添付此段申請候也

年　月　日

住所

氏

名㊞

〔欄通〕

長官宛

第二三號ノ五様式

官廳用(私設)電話機接續廢止申請書

何局第何番

右電話加入ノ交換線ニ接續セル官廳用(私設)電話機何個接續廢止致度此段申請候也

年　月　日

住所

氏

名㊞

長官宛

第二四號樣式

電話機設置場所變更申請書

何局第何番（何局登記順番第何番）

右電話加入名義變更（加入繼承）申請候處御認可ノ上ハ其ノ電話機設置場所ヲ左記ノ個所ニ變更致度此段申請候也

年　月　日

住所

氏　　名㊞

長官宛

一　新機械設置場所

注意　樣式第一八號ノ注意ニ同ジ

第二五號樣式

電話用物件撤去請求書

何局第何番

右電話機械設置場所變更ニ伴ヒ不用トナルヘキ拙者供給ノ物件「又ハ（拙者ノ供給セルモノノ內左記

〔樺通〕

物件）」撤去交付相成度此段請求候也

追テ右ニ要スル費用ハ拙者ニ於テ負擔可致候

年　月　日

住所

加入者　氏　　名㊞

〔樺通〕

長官宛

記

一、何々「一部撤去ノトキ」

第二六號樣式

收入印紙三錢

棄權屆

何局第何番

右電話機設置場所變更ニ伴ヒ不用トナリタル拙者供給ノ物件ハ全部（別紙撤去請求セシ物件ノ分）棄權候條適宜貴廳ニ於テ處分相成度此段及御屆候也

年　月　日

住所

長官宛

注意　官公署ノ場合ハ印紙貼用ヲ要セス

第二七號樣式

不用線路存置請求書

何局番何番

右電話機設置場所變更ニ伴ヒ不用トナルヘキ線路ハ豫備トシテ其ノ儘存置相成度之ニ對スル維持費ハ拙者ニ於テ負擔可致此段及請求候也

年　月　日

住所
加入者　氏　　名㊞

長官宛

第二八號ノ一樣式

購買及支拂委托願

何某何名何郵便局電話交換加入新(增)設(何局電話第何番電話機設置場所變更)機械增設電話機變更等)ニ關スル物品ノ購買勞力ノ供給竝ニ之ニ對スル代金支拂方貴廳ヘ委托致度別ニ郵便爲替金何圓何錢(現金何圓何錢)添付此段相願候也

〔樺通〕

住所
加入者　氏　　名㊞

廳宛

注意　郵便爲替(有料)ニテ送金ノ場合ハ拂渡局ヲ豐原トスルコト
　　受取人ハ遞信課長トスルコト

第二八號ノ二樣式

購買及支拂委托願

何郵便局特設電話移轉豫備材料何個分貯藏致度ニ付テハ其ノ物件ノ購買竝ニ代金ノ支拂方ヲ貴廳ヘ委托致度別紙郵便爲替金何圓何錢(現金何圓何錢)相添此段相願候也

追テ右金額保管中ニ於テ生スル利息及物件購入契約條件ニ依リ供給請負人ヨリ納付スル違約金竝ニ遲滯料金ハ適宜貴廳ニ於テ處分相成度候

年　月　日

何郵便局特設電話加入申請者(加入者)
何某外何名總代
住所
氏　　名㊞

〔樺通〕

廳　宛

第二八號ノ三樣式

購買委托願

何局電話交換加入ノ設備（電話機設置場所變更機械增設電話機變更等）ニ關スル物品購買勞力ノ供給方ハ貴廳ニ委托致度此段及依賴候也

追而代金ハ證明ニ依リ直接債權者ヘ支拂可致候

年　月　日

住所
官職　氏　名㊞

廳　宛

第二九號樣式

特設電話番號設定申請書

曩ニ加入認可相成候當局特設電話加入申請者何某外何名ニ對スル電話番號ハ別紙ノ通設定相成度此段申請候也

〔樺通〕

何郵便局特設電話加入者總代
住所　氏　名㊞

追テ該電話番號ハ加入申請順番（又ハ加入申請者相互間ノ協定ニ基キ抽籤又ハ何々）ニ據リタルモノニ有之候

年　月　日

局長　名㊞

長　官　宛

〔樺通〕

（別紙樣式）

電話番號設定申請書添屬調書

申請順番	豫定電話番號	氏名	職業

第三〇號樣式

電話番號簿原稿

電話番號	加入者名	稱號一職業一氏名	電話機設置場所	揭載部門

一	分	旅人宿	伊東初太郎		十
……	……	……	……	……	……

備考

電話番號順ニ列記スルコト

設置場所及職業ハ簡明ヲ旨トシ職業ノ表示ヲ區々ニ渉ラサル樣注意スルコト

第三一號樣式

電話番號簿ニ他人名義（重複）掲載請求書

何局第何番

電話番號簿ニ左記ノ通他人名義（重複）掲載相成度

年　月　日

住所

氏　名㊞

宛

一　何々

一　何々

〔樺通〕

第三二號樣式

電話番號簿他人名義（重複）掲載取消請求書

何局第何番

電話番號簿中左記他人名義（重複）掲載取消相成度

年　月　日

住所

氏　名㊞

廳　宛

一、何々

第三三號樣式

加入（加入申請）取消申請書

何局第何番（何局申請登記順番何番）

何年何月何日限リ右電話加入（加入申請）ヲ取消致度此段申請候也

年　月　日

住所

氏　名㊞

長官宛

〔樺通〕

第三四號樣式

電話用物件撤去請求書

元何局第何番（何局申請登記順番何番）

右ハ今般加入取消（加入除名相成加入申請取消加入申請失效ト相成）候ニ付テハ拙者ノ供給セル電話用物件等撤去交付相成度此段請求候也

追テ右撤去ニ要スル費用ハ拙者ニ於テ負擔可致候

年　月　日

住所

加入者（加入申請者）　何　某

氏

名㊞

廳　宛

第三五號樣式

收入印紙三錢

棄權屆

元何局第何番（元何局申請登記順番何番）

加入者（加入申請者）　何　某

〔棒通〕

右ハ今般加入取消（加入除名相成、加入申請取消、加入申請失效ト相成）候處拙者ノ供給セル電話用物件等總テ棄權可致候付テハ貴廳ニ於テ適宜處分相成異議無之候也

年　月　日

住所

氏

名㊞

廳　宛

注意　官公署ノ場合ハ印紙貼用ヲ要セス

〔棒通〕

第三六號樣式

特設電話加入（加入申請）者改氏（名）屆

何局特設電話第　番

加入申請順番第何番

右今般何々ト改氏（名）候ニ付戸籍謄（抄）本相添ヘ此段及御屆候也

年　月　日

住所

何　某

氏

名㊞

廳　宛

第三七號樣式

特設電話加入(加入申請)者改印届

拙者印章別紙印鑑ノ通改印候ニ付此段及御届候也

年　月　日

何局特設電話第　番加入申請順番　番

住所

氏　名㊞

廳　宛

備考　第三號様式印鑑紙ヲ添付スルコト

第三八號様式

収入印紙三錢

特設電話加入申請者總代人設定書

一總代人

自分共何局特設電話交換加入ニ關シ前記總代人ヲ設定シ左記事項ノ處理ヲ委任候也

年　月　日

住所

氏　名

何局特設電話加入申請者

〔樺通〕

樺太廳長官宛

一、設備物件ノ購買供出及費用ノ支拂方ヲ樺太廳ニ委托スルコト

二、局内設備費及施行者ノ旅費給料等ヲ樺太廳ニ寄附スルコト

住所

氏　名㊞

住所

氏　名㊞

（各申請者連署スルコト）

●特設電話機械移轉及機械增設ノ請求ニ關スル事務處理方ノ件

大正十二年五月九日
遞監第一六六〇號

各區擔當技術官　各特設電話交換取扱局長

自今特設電話ニ關スル左記申請書ヲ差出スモノアルトキハ規定ノ式ニ違フコトナキヤ否ヲ調査ノ上擔當技術官ヘ送付シ擔當技術官之ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク豫算調書二通作製シ申請書ト共ニ當課ニ送付アレ又各局ニ於テ認可通知ヲ受ケタルトキハ速ニ工事材料ヲ準備セシメ完了シタルトキハ其ノ旨擔當技術官ニ即報ヲ要ス

記

一、電話機又ハ附屬物品ノ設置場所變更

二、電話機受話機電鈴等ノ增設變更又ハ廢止

三、官廳用又ハ私設電話機ノ接續

●電話加入者異動報告ノ件

大正十三年四月四日
遞監第一三〇八號

電話交換取扱局長

電話加入者ノ異動ハ四月一日ヨリ左記様式ニ依リ各期經過後三日以内ニ報告相成度
追テ本件實施後ハ從前ノ例ニ依ル加入申込報告及電話開通報告ハ指定スルモノヽ外之ヲ要セス又加入者名義變更ハ毎一月分ヲ取纏メ前例ニ依リ翌月三日迄ニ報告相成度

記

様式用紙(半紙)

大正何年度第何期中電話加入者異動報告

年　月　日

何　局

種別		加入申込	期末加入申込總數	開通			期末加入數			増設機		期末裝置總數
				總數						種別		
單獨	通常									裝置		
	卓上				内特別加入區域内ノモノ						通常	卓上

〔樺通〕

共同線		連接		無料	合計	官廳用及私設電話機接續數	機械			備考
通常	卓上	通常	卓上				計	電鈴	受話器	

〔樺通〕

記入心得

一、本報告ハ當該年度内四月ヨリ六月迄ヲ第一期、七月ヨリ九月迄ヲ第二期、十月ヨリ十二月迄ヲ第三期、一月ヨリ三月迄ヲ第四期トシ報告スルモノトス

一、「期末加入申込總數」ノ欄ニハ前期末申込總數ニ本期中ノ申込數ヲ加ヘ其ノ中ヨリ申込取消及開通數ヲ控除シ且加入種類及機械ノ變更數ヲ加除シタルモノヲ記入スヘシ

一、「期末加入數」ノ欄ニハ前期末加入數ニ本期中ノ開通數ヲ加ヘ其ノ中ヨリ加入取消除名等ノ數ヲ控除シ、且加入種類及機械ノ變更數ヲ加除シタルモノヲ記入スヘシ

一、特設電話取扱局ニ在リテ「特別加入區域」ノ欄ヲ「區域外加入」ハ改訂スルモノトス
一、「裝置」ノ欄ニハ本期中ノ竣工數ヲ記入シ「期末裝置總數」ハ前二項ニ依リ記入スヘシ
一、增設機械ニハ有無料併記スヘシ

●電話加入名義變更處理方ノ件

大正十一年六月十九日
遞監第一七三四號

特設電話取扱局長

電話加入名義變更申請ニ對スル認可指令ハ當該局經由發送スルヲ以テ到著ノ際ハ直ニ加入者原簿相當訂正（變更年月日ハ指令書日付トス）以上指令書ハ遲滯ナク申請者（新名義人）ヘ交付相成度
右通牒ス

〔稗通〕

第三章　私設及無線電話

●私設電話ニ關スル件

大正十一年八月十六日
遞監第二三四三號

各郵便局長

私設電話（電信）施設出願手續ニ關シ貴局ニ承合シ來ルモノアルトキハ私設電信規則中必要條項ヲ指示シ且其ノ願書ハ可成左式ニ準シ調製セシメラレ度

私設電話（電信）施設許可願

出願人居宅營業所間（又ハ「何々」「何々」間）ニ電話（電信）私設致度ニ付御許可相成度私設電信規則第四條及第五條ニ據リ左記表示ノ書類相添ヘ此段及出願候也

年　月　日

居所
氏　　名印

稗太廳長官宛

記

一、添付書類ノ表示
一、私設電信規則第五條第一項各號事項書　一通
一、同第二項ノ圖面　二通

以上

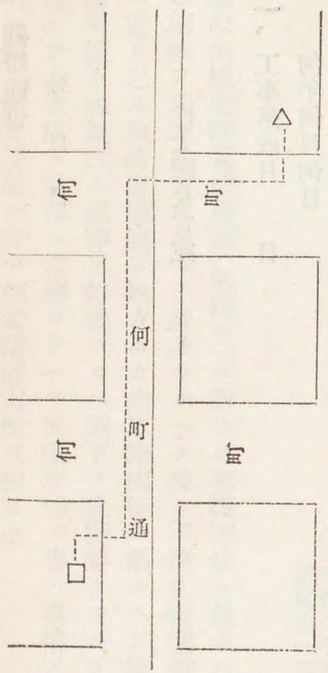
私設電信規則第五條第一項各號事項書

一、施設ヲ必要トスル事由
　出願人ハ何營業者ニシテ何地ニ支店ヲ有シ何々ノ爲施設ヲ必要トス（本項ハ可成必要ノ事由ヲ詳記スルコト）
一、電信又ハ電話ノ別及其ノ回線
　電話（電信）ニシテ出願人居宅（又ハ「何々」）ヨリ同人營業所（又ハ「何々」）ニ至ル一回線トス
一、機械設置場所
　何郡何町（村）大字何字何々番地
（又ハ何々）
　何郡何町（村）大字何字何々番地
（又ハ何々）
一、線路經過地名
　何郡何町（村）大字何字何、何町（村）大字何字何（本項ハ經過地ノ順序ニ記載スルコト）
一、落成期限
　許可ノ日ヨリ何日
一、私設電信規則第五條第二項ノ圖面（其ノ一）
（樺通）

電話　○═══○　何郡何町（村）大字何字何々番地　　居宅（又ハ何々）

電話　○═══○　何郡何町（村）大字何字何々番地　　營業所（又ハ何々）

一、私設電信規則第五條第二項ノ圖面（其ノ二）
（樺通）



凡例

———	電燈線
- - - - -	出願電話線
——— ———	既設電信電話線
△	居宅
□	營業所

私設電話（電信）工事落成届

大正　年　月　日附第　號ヲ以テ御許可相成候私設電話工事落成候ニ付左記事項ヲ具シ及御届候也

年　月　日

居所
氏　名印

樺太廳長官宛

記

一、工事落成月　日
何年何月何日

一、工事設計
機械ノ種類及箇數　デルブイル電話機　二個
線路ノ亘長　二丁四十間
架空線
地下線水底線ノ別　八番鐵線　五丁二十間
線路ノ種類太サ延長　複線式
回線ノ方式　電話線ノ出入スル各端ニ於テ加入者保安器ヲ裝置ス（又ハ何々）
保安裝置方法

〔樺通〕

●電話機接續申請書提出方ニ關スル件

大正十一年十月九日
遞監第二九四二號

各電話交換取扱局長

私設電話機ヲ加入回線ニ接續方ニ關スル申請書提出ノ際ハ自局交換取扱上支障ノ有無ニ付篤ト調査シ許否ニ關スル意見副申相成度

〔樺通〕

●聽取無線電話不法施設取締ニ關スル件

昭和二年五月十日
遞監第一二九九號内務部長

局長一般

聽取無線電話不法施設（無許可）ニ對スル取締方法ニ就テハ其性質上甚タ困難トスル處ニ有之候處將來本施設ヲ爲サムトスルモノ益多カルヘク殊ニ不遠札幌遞信局管内ニ於テ放送局設立セラレムトスル秋ニ當リ之カ取締方徹底ヲ缺カムカ愈取締困難ニ陷ルヘク斯クテハ法ノ威信保持上甚タ遺憾トスルハ勿論斯種不法施設ノ惡弊ヲ打破スルハ刻下ノ最緊要トスルトコロニ有之候而シテ本取締ノ爲特ニ當廳ヨリ一々出張取締ルノ事ハ事情ノ容ササル次第ニ有之候ニ就テハ凡ソ左記各項ニ依リ便宜貴局ニ於テ相當措置方配意相成度

記

一、便宜ノ方法ニ依リ區内ヲ巡視シ不法施設（當廳ノ許可ナクシテ施設セルモノ從テ許可書及放送局ヨリ交付スル聽取契約標章ヲ有セサルモノ）ノ探査發見ニ努メラレタシ

二、前項ニ依リ發見シタルモノニ對シテハ左記各號ニ依リ處理セラレタシ

イ、法令不知又ハ出願手續未濟ノモノニ對シテハ相當戒告シ速ニ成規ノ手續ヲ爲サシメ左記樣式ニ依リ速報セラレタシ

ロ、一旦許可ヲ受ケタルモノニシテ廢止ノ手續ヲ爲シタルモノカ依然トシテ施設シ居ルモノ又ハ機器裝置場所、施設者住所氏名變更等ニ對シ手續未濟ノモノニ對シテハ速ニ相當措置セシメラレタシ（放送用私設無線電話規則第十五條）

三、施設願、變更、廢止屆用紙等必要ノ向ハ當課（請求セラレタシ（電話編六編ノ二）ノ二二頁）及本年三月七日遞信省令第四號（三月八日遞信公報）參照セラレタシ

發見月日	氏名	住所	職業	施設年月日	手續ヲ爲ササル理由	措置要領

四、本取締ニ關シテハ電信法第二十七條放送用私設無線電話規則（一〇ノ二二頁）及本年三月七日遞信省令第四號（三月八日遞信公報）參照セラレタシ

各電話事務交換取扱局長

〔棒通〕

第四章　雜件

●加入者自供電話機統一ニ關スル件

大正九年七月十三日
遞監第一四〇四號内務部長

各電話事務交換取扱局長

電話規則ニ依リ加入者ニ於テ設備スル電話機（規則七十二條二項同三十一條參照）及加入回線ニ接續スル官廳用又ハ私設電話機（同四十條參照）ニ關シテハ從來別段ノ制限ヲ設ケサリシ處近時電話機類製作業者簇出シ價格ヲ廉ニシ粗惡品ヲ供給スル向アリ之等ハ一時的試驗ニテハ容易ニ其ノ結果ヲ斷シ難ク使用中時々障碍ヲ發生シ爲ニ一般通話ニ支障ヲ及ホスコトアルヲ以テ自今左記製作所製品以外ノ提供ハ之ヲ許ササルコトニ決定候條申請者ニ對シテハ此旨申聞ケ申請書提出ノ際ハ機械製作所名ヲ必ス附記セシメラレ度

右通牒ス

追テ規則第七十二條第二項ニ依ル申請ニ對シテハ事務簡捷上一々指令ヲ與ヘス工事命令ノ發布ヲ以テ許可ト見做スコトニ致候條申請書ハ貴局ニ止置キ從前ノ通工事請求書（備考欄ニ機械製作所名記入ノコト）ノミヲ提出シ申請書ハ其ノ餘白ニ工事命令月日竝竣工月日記入ノ上適宜保存相成度

記

日本電氣株式會社、共立電氣株式會社、沖商會、東亞電氣株式會社、日本電話工業株式會社

〔棒通〕

●電話加入者宅巡回勵行ノ件

大正九年七月二十六日
遞監第一三七四號内務部長

郵便局長

右ニ關シテハ電話規則第七十三條ノ明示スル所ニシテ又大正二年六月之カ施行心得ニ付通牒セル次第モ有之各局ハ常ニ相當配意實行ノコトヽ信スルモ近來加入者中旅館、工場等ノ如キ其邸宅構内ニ電話ヲ私設スルモノ漸次增加ノ傾向ヲ呈シ從而詖私設電話機ヲ加入回線ニ接續ノ必要ヲ感シ無斷接續又ハ許可外接續ノ不正行爲ニ出ツルモノナキヲ保セス現ニ最近制限外無斷接續ヲ摘發セラレタル實例モ有之候條自今一層巡回ヲ勵行シ以テ如此不正行爲ヲ未然ニ防止スルハ勿論加入電話機器及線條等ノ良否ヲ點檢シ通話及交換作業上支障無カラシムル樣充分御取締相成度

右通牒ス

●自働電話機用貨幣ニ關スル件

大正九年十月十二日
遞監第二〇二四號

郵便局長

本年八月二十六日勅令第三百三十四號ニ依ル十錢及五錢ノ白銅貨ハ現在自働電話ノ裝置ニテハ貨幣通路口ヨリ逸出若クハ通路ニ停滯スル等ノ事故ヲ生セシムルコトナキヲ保シ難キヲ以テ該電話ニ依ル通話料金納付ノ爲メ使用セシメ難キニ依リ適當ノ方法考究中ナルモ之カ解決ヲ見ルマテハ改正前ノ貨幣ノミヲ使用セシムルコトヽシ行違ヲ避クル爲メ該室内公衆ノ見易キ箇所ニ左記文例揭示方至急取計フト共ニ新聞紙其ノ他機宜ノ方法ニ依リ周知方措置相成度

〔樺通〕

記

文例

此の自働電話に納入せらるゝ料金に本年八月二十六日改正の十錢及五錢白銅貨又は五錢白銅を使用せらるゝときは故障を生する事あるに付必す改正前の十錢銀貨又は五錢白銅を使用せらるべし

●電話機增設又ハ移轉ノ場合ニ於ケル邸宅及構内外區別ニ關スル件

大正十年十月四日
遞第五四五號内務部長

郵便局長

首題ニ關シ各局往々見解ヲ異ニシ取扱方區々ニ渉ルヤニ見受ラレ候條自今大體左記標準ニ依リ處理シ例示以外ノ場合及電話規則第二十九條第二號ニ依ル邸宅構内ニ準スヘキ地域ノ認定ニ關シテハ其ノ都度經伺相成度

右通牒ス

記

電話機增設又ハ移轉ノ場合ニ於ケル邸宅及構内外區別標準

一、一建物一戸ヲ成ストキハ一邸宅トス

二、一建物ヲ數戸ニ區劃シ内部ニ共同通路ヲ以テ連絡ヲ有セサルモノハ其ノ一區劃ヲ一邸宅トス但シ同一人カ二區劃以上ニ亘リ居住若ハ使用スルトキハ之ヲ一區劃ト看做ス

〔樺通〕

三、一建物ヲ數戸ニ區劃スルモ内部ニ共同通路ヲ以テ連絡ヲ有スルモノハ當該建物内ヲ一邸宅ト見做ス

四、貸事務室ヲ目的トスルカ如キ同一建物内ノ各室ハ同一借室人ノ使用スル場合ハ該借室ノ隣接スルト否トヲ不問當該借室人名義ノ加入電話ニ關シ借室相互間ヲ一邸宅トシ借室人ヲ異ニスルトキハ隣接スル場合ト雖モ之ヲ他ノ邸宅ト看做ス

五、建棟ヲ異ニスル隣接兩建物相互間ノ距離凡ソ五間以内ニシテ且軒又ハ有廊下等ヲ以テ連絡シアルトキハ之ヲ一邸宅トス軒又ハ廊下等ヲ以テ連絡セサルモ建物相互間ノ距離、凡ソ三間以内ニシテ且其ノ間ノ地域ヲ當該建物居住者ニ於テ專ラ使用シ建物間ノ交通容易ナルトキ亦之ヲ一邸宅トス

六、墻壁欄柵其ノ他自然ノ圍障ニ依リ限界セラレタル地域ハ構内トス但シ公道ヲ挟ムトキハ構外トス

七、官廳又ハ會社等ノ構内ニ在ル官舍又ハ社宅ハ各住家ヲ一邸宅トシ住家相互間及官廳會社ト住家間移轉ハ他邸宅移轉トス

八、同一構内ニ在ル左記相互間ハ距離ニ拘ラス一邸宅トス

イ、本館、分館

ロ、事務所、營業所ト倉庫又ハ工場

〔樺通〕

●特設電話交換取扱局電話料金取扱手續

大正十一年一月十六日
訓令第四號

内務部　郵便局（特設電話交換取扱局）

〔樺通〕

特設電話交換取扱局電話料金取扱手續左ノ通定ム

右訓令ス

特設電話交換取扱局電話料金取扱手續

第一條　特設電話交換料維持料及電話料金（以下特設電話料金ト稱ス）ノ徴收ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本令ニ依リ取扱フヘシ

第二條　特設電話料金ノ徴收ハ樺太廳ニ於テ之ヲ掌理ス

第三條　歳入ヲ徴收スル官吏納入ニ對シ特設電話料金ノ納入告知書ヲ發スルトキハ所屬特設電話交換取扱局（以下特設交換局ト稱ス）ヲ經由スヘシ

前項ノ納入場所ハ所屬特設交換局ヲ指定スルコトヲ要ス

第四條　特設交換局ニ於テ前條納入告知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ納入告知書受付簿（第一號樣式）ニ納入人氏名種別料金納期及其ノ他必要ナル事項ヲ記入シ告知書ハ確實ナル方法ヲ以テ遲滯ナク納入ニ送付スヘシ

第五條　特設交換局ニ於テ納入ヨリ特設電話料金ノ納付ヲ受ケタルトキハ納入告知書受付簿ニ納入月日ヲ記入シ納入告知書ハ一般ノ例ニ依リ處理スヘシ

第六條　納入告知書ヲ紛失又ハ毀損シタル旨申出タル者アルトキハ納入告知書受付簿ニ依リ納付書ヲ調製交付スヘシ

第七條　特設電話料金ヲ指定納期限内ニ納付セサル者アルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ速ニ納付方ヲ注意シ納期日ヨリ七日ヲ經過スルモ尚納付セサルトキハ特設電話料金滯納調書（第二號樣式）ヲ調製シ速ニ歲入ヲ徵收スル官吏ニ報告スヘシ

前項報知ヲ爲シタルトキハ納入告知書受付簿當該事故欄ニハ報告月日及事由ヲ記入シ置クヘシ

附　則

本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ適用ス

樣式第一號（用紙半紙罫紙）

何年度納入告知書受付簿

何　局

納入告知書發行月日	同上番號	摘要	納入金額	納入期日	納入月日	事故

備考

一、摘要欄ニハ告知書但書ノ事項ヲ記入スヘシ

【樺通】

二、納入月日ハ領收證交付ト同時ニ記入スヘシ

三、事故欄ニハ第六條及第七條第二項ノ事項其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記入スヘシ

樣式第二號（用紙同前）

特設電話料金滯納調書

納入告知書番號	滯納料金	摘要	滯納事由	納人	原籍	住所（又ハ居所）	氏名

右報告候也

年　月　日

何郵便局長　氏　名印

樺太廳内務部長宛

【樺通】

●特設電話料金取扱方ニ關スル件

大正十一年二月六日
遞監第四二八號内務部長
各特設電話取扱局長

特設電話料金ヲ納入告知書指定以外ノ郵便局ニ納付シタル旨申出ル者アリタル場合ハ左記各項ニ依リ處理相成度
右通牒ス

記

一、納人ニ對シ當該領收證ノ呈示ヲ求メ之ヲ提出シタルトキハ告知書番號、金額、氏名等ヲ自局納入告知書受付簿ニ對照シ正當領收證ナルコトヲ認メタルトキハ受付簿當該事故欄ニ（何年何月何日何郵便局納付濟何年何月何日領收證呈示確認）ト記載シ料金納入濟ノモノトシテ處理スルコト

二、領收書ヲ呈示シ能ハサルモノハ受付簿當該事故欄ニ（何年何月何日何郵便局ヘ納付濟ノ旨申立ルモ領收證呈示不能何年何月何日滯納報告）ト朱記シ滯納調書摘要欄ニ（何年何月何日何郵便局ヘ納付濟ノ旨申立ルモ領收證呈示不能）ト記載報告スルコト

〔參照〕

歲入金歲出金竝歲入歲出外現金取扱上注意ノ件大正四年十二月發通第二八號內務部長通牒拔萃

三、他ノ郵便局ヲ納付局ニ指定セル納稅告知書又ハ納入告知書ニ依リ歲入金ノ納付ヲ受ケタルトキハ便宜之ヲ領收シ第一項ノ例ニ依リ處理スヘシ

●電話機竝附屬物品移動工事施行方ノ件

大正十一年八月十日
遞監第二三七五號內務部長

各普通電話交換取扱局長

右工事ハ從來總テ主管課工事命令ニ依リ施行シタルヲ爲自然工事著手遲延シ申請人ノ不便尠カラサルニ付九月一日ヨリ左記各項ニ據リ貴局限實施加入者ヨリ各種工事請求書ヲ受理シタル場合ハ迅速處理シ改正ノ實ヲ擧ケラレ度

右通牒ス

追テ電話機設置場所變更又ハ機械增設等ニシテ認可又ハ許可ヲ要スルモノハ豫メ相當手續ヲ爲シタル上工事施行相成度尙工事ノ爲既設線路ニ變動ヲ來タス場合ハ豫メ主管課ト打合セ施行相成度

記

一　工事ノ範圍

(イ)　加入電話機及附屬物品ノ設置場所變更ニ伴フ移轉又ハ機械一時撤去及其ノ復舊工事

(ロ)　受話機電鈴及電話機增設工事但シ加入者ニ於テ所要機械類ヲ提供シタル場合ノ外ハ當該年度臨時部工事豫算範圍內ニ限ル

(ハ)　加入電話機種類變更工事

(ニ)　前各號ニ比シ輕易ナル工事

二　加入者ヨリ前項各號ニ該當スル工事請求書ヲ受理シタルトキハ審査ノ上電話移動工事處理簿（第一號樣式）ニ定式ノ記入ヲ爲シ速ニ自局勤務技術官（通信工手ヲ含ム以下同シ）ニ廻付スヘシ

三　技術官前項電話移動工事處理簿ノ廻付ヲ受ケタルトキハ直ニ工事ノ準備ニ着手シ遲滯ナク工事ヲ完了スヘシ

工事竣功シタルトキハ電話移動工事處理簿相當欄ニ竣功月日ヲ記載シ技術官捺印ノ上速ニ之ヲ加

〔樺通〕

〔樺通〕

入事務取扱主任ニ返付スヘシ

四　加入事務取扱主任前項電話移動工事處理簿ノ返付ヲ受ケタルトキハ直ニ加入者原簿其ノ他關係帳簿ニ必要事項ヲ登記スヘシ

五　工事竣功シタルトキハ毎一箇月分ヲ取纏メ附錄第二號樣式ニ依リ翌月三日限遞信課宛報告スヘシ

附錄

第一號樣式(用紙美濃罫紙)

電話移動工事處理簿

局長	加入事務主任	通知月日	電話番號	機械設置場所新舊	加入者名	工事種別	起竣工月日	備考

第二號樣式(用紙半紙罫紙)

電話加入者移動工事竣功報告

竣功月日	電話番號	機械設置場所新舊	加入者名	工事種別

右報告ス

年　月　日

「何」局

〔樺通〕

遞信課宛

●納入告知書指定納期間計算方ニ關スル件

大正十一年八月十二日
遞監第二三七四號

各電話交換取扱局長

電話ニ關スル納入告知書ニ指定シタル納期末日カ郵便局ニ於テ現金受拂事務ヲ取扱ハサル公休暇日ニ當ルトキハ之ヲ納期間内ニ算入セス翌日ヲ以テ期間滿了スル儀ト了知ノ上通話停止等ノ際行違ナキ樣注意相成度

●電話通話停止ニ關スル件

大正十一年九月二十八日
遞監第二八四九號

特設電話局長

右ニ關シテハ遞監第二三七三號(公報三十六號)ヲ以テ勵行方特ニ通牒致置候處各局提出ノ報告ニ依リ之ヲ見ルニ料金納付期限經過後數ケ月ニシテ漸ク通話ヲ停止スル向有之處理甚緩漫ナリ如此ハ加入者ヲシテ料金納付ニ關スル義務的觀念ヲ薄カラシメ益々滯納ノ弊風ヲ助長スルノミナラス甲乙取扱ヲ異ニスル場合ヲ生シ却テ非難ヲ受クルナキヲ保セサルヲ以テ情實ニ拘泥スルコトナク規定ノ勵行ニ努メ取扱ノ公平ヲ期セラレ度

追テ通話停止報告ハ毎月分ヲ取纏メ翌月三日以内ニ發送スヘキノ處其ノ都度報告ノ向アリ斯テハ相

〔樺通〕

互手數ノ煩累ヲ來タシ通牒ノ精神ニ戻ルヲ以テ必ス期限格守セラルベク候

●電話加入者名掲載方ノ件

大正十二年六月十四日
遞監第二二二一號

特設電話交換事務取扱局長

右電話番號簿ニ掲載ノ都合モ有之候條名義變更申請アル場合ハ新名義人ノ商號職業及掲載部門等便宜餘白ヘ記入セシムル樣取計相成度

●私製電話番號簿取締ノ件

大正十二年十一月三日
遞監第三九六九號

各電話取扱局長

電話番號簿ノ私製ハ當廳發行ノ番號簿ニ依リ拔萃輯錄シ且誤謬若ハ脫漏等ナク交換取扱上支障ヲ來スノ虞ナキニ於テハ何人ト雖モ發行シ差支ナキ筈ナルモ取締上必要ニ付今後發行前豫メ樣式及內容見本添付當廳ノ承認ヲ求メシムル樣相當取計相成度

●電話番號簿掲載方請求ニ關スル件

大正十三年四月二十六日
遞監第一七三〇號

特設電話交換局長

這般特設電話規則改正セラレ候處所屬加入者ヨリ電話番號簿ニ甲種增設使用者名義掲載竝ニ增設及接續電話機械設置場所掲載方請求アリタル場合ハ左記樣式ニ依ル請求書ヲ提出セシメ當課ヘ移送相成度

記

一、甲種增設電話機使用者名義掲載ノ場合

樣式

電話番號簿掲載請求書

一電話番號簿ヘ左記ノ通甲種增設電話機使用者名義掲載相成度請求候也

年　月　日

住所
氏名　㊞

樺太廳御中

電話番號　掲載增設番號　增設電話機使用者名「何」局「何」番　增設「何」番何某

二、增設又ハ接續電話機設置場所掲載ノ場合

樣式

電話番號簿掲載請求書

電話番號簿ヘ左記ノ通增設（官廳用又ハ私設電話機接續等）電話番號及機械設置場所掲載相成度請求候也

年　月　日

住所
氏名　㊞

電話番號　增設（官廳用私設等）電話番號同上設置場所
「何」局「何」番　社長室
同　秘書室
同　營業部

特設電話異動處理ニ關スル件

昭和二年二月二十八日
遞規第五二號

惠須取敷香郵便局長

貴局特設電話各種異動申請ニ對シテハ當地トノ交通關係上認可ヲ得テ工事着手ニ至ル迄相當ノ日時ヲ要シ之ガ爲メ申請者ニ不尠不便ヲ與フルハ遺憾ノ義ニ付爾今左記方法ニ依リ取扱フコトニ決定候條了知相成度（敷香局ヘハ昭和二年十月二十八日遞規第四〇八號通牒）

記

一、本通牒ニ依リ處理シ得ルモノハ電話機設置場所變更機械增設及撤去等ニシテ工事費百圓以內ニシテ施行シ得ルモノニ限リ其ノ以外ハ一般ノ例ニ依ル

二、本件申請書ヲ受付ケタル時ハ該書類ニ不備ノ點ナキヲ確メ直ニ貴局駐在員（工員又工手）ニ其ノ旨通知シ工事豫算書ノ提出ヲ受ケタルトキハ第一項ニ依ル工事費制限額以內ノモノナル時ハ左記略號ヲ使用シ電報ヲ以テ其ノ旨當課宛通報スルト共ニ申請書ハ其ノ他ノモノトモ當課宛移送スルコト

〔樺通〕

電報略號

(イ)　機械設置場所變更
(ロ)　機械增設
　普通電話機
　甲卓　同　（ソフ）
　乙卓　同　（ソコ）
　電鈴　（ソオ）
(ハ)　機械撤去　（ソテ）
　普通電話機
　甲卓　同　（テフ）
　乙卓　同　（テコ）
　電鈴　（テオ）
　　（テテ）

個數ハ略號ノ次ニ數字ヲ以テ示シ電文ノ記載ハ左例ニ依ル

(一)　機械設置場所變更申請ノ場合
例　一月十日三番加入者ヨリ字濱町二丁目二番地ニ電話機械移轉ノ申請アリタリ
電文　デンワ一〇ヒ三（イ）ハマテウニノニ

(二)　機械增設申請ノ場合

〔樺通〕

例　一月五日一〇番加入者ヨリ甲卓ニ個増設申請アリタリ
電文　デンワ五ヒ一〇(ソコニ)

(三)　増設機撤去申請ノ場合

例　二月一日八番加入者ヨリ増設ノ甲卓撤去申請アリタリ
電文　デンワ一ヒ八(テコ)
本文ノ最初ニ「デンワ」ト挿入シ個数ハ二個以上ノ場合ニ記入スルモノトス

三、認可電報ヲ受ケタル時ハ駐在員ニ通知ト共ニ申請者ニモ其ノ旨通知シ工事豫算書ヲ交付スルコト

四、申請者ヨリ所要物件ノ提供アリタル場合ハ駐在員ニ通知シ工事施行方要求スルコト

●特設電話事務處理方ノ件

昭和二年二月十日
遞第九六號内務部長
特設電話交換取扱局長　各區擔當技術官(無線及機械ヲ除ク)

事務ノ簡捷ト處理ノ敏速ヲ期スル爲爾今左記ニ依リ處理ノコトニ決定候條行違無之樣了知相成度

記

一、特設電話規則第十四條各號ノ申請ヲ受ケタル時ハ申請書ハ直接遞信課宛發送ト共ニ特設電話異動事項申請報告(別記樣式)ヲ自局擔當技術官ヘ提出スルコト

二、前項及加入名義變更申請書ヲ受付タル場合別ニ文書ヲ添付セス申請書ノ餘白ニ左記事項記入ノ上移送ノコト

(樺通)

但シ加入名義變更申請ニ對シテハ擔當官ニ報告ヲ要セス

何月何日受付　取扱者印
何月何日發送　同
印鑑對照濟　同
擔當官報告濟　同

三、擔當技術官ニ於テ第一項ノ報告ヲ受ケタル場合ハ直ニ所要工費ヲ調査シ遞信課宛送付スルコト

(別記樣式)

特設電話異動事項申請報告

年　月　日

何區擔當技術官宛

局名

局名	電話番號	申請月日	申請種別	申請事項	局新設置場所間距離
何局	何番	年月日	電話機設置場所變更	現在設置場所　何々 新設置場所　何々	
同	同	同	電話機械增設	普通電話機受話機電鈴增設	

●移轉工事ヲ擔當官ニ委任ノ件

昭和二年四月十五日
遞規第八六號

各特設電話取扱局長　各區擔當官（機械及無線區ヲ除ク）

特設電話機ノ一時撤去及附屬品ノ移轉申請ヲ受ケタルトキハ爾今左記ニ依リ處理相成度

記

一、當該局ニ於テ電話機一時撤去竝ニ附屬物品移轉等ノ申請書ヲ受ケタルトキハ直ニ受持擔當官宛送付スルコト

二、擔當官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ擔當官限リ工事ヲ施行シ左ニ依リ工事起竣工報告提出スルコト

イ、電話機一時撤去ノ場合ハ其ノ復舊シタルトキ

ロ、附屬物品移轉ノ場合ハ其ノ都度

三、本件申請ニ對シテハ別ニ認可書ヲ交付セス工事ノ竣成ヲ以テ之ニ代フルニ付申請者ニ對シテ誤解ナキ樣指示スルコト

●市外電話回線通話數報告ノ件

昭和二年五月三十一日
遞規第一四三號

電話局長（知取、惠須取、大泊、楠溪各局ヲ除ク）

右ハ調査上必要ニ付當分ノ內電信電話事務報告規程ニ依ル發著局別市外通話數報告ニ準シ調査回報相成度

追テ二、六、一〇、各月ノ發著局別市外通話數報告ハ別ニ提出ニ不及次第ニ付了知相成度爲念

〔樺通〕

第三類　線路及機械

第一章　線路及線條

●碍子雌捻子脫落防止ニ關スル件

大正十五年八月三十日
遞工第三五六號

各區主任技術官一般

右ニ關シテハ從來夫々防止方留意ノ事トハ思料セラレ候モ未ダ脫落ヲ全ク防止スルニ至ラズ往々甚ダシク脫落セル個所アルヤニ聞及シ候ニ付テハ自今左記第一、第二、ノ方法ヲモ試ミ其ノ結果報告相成度

第四ノ方法ヲ施行シ

追而緩止メ試用碍子ハ可成同一線路ニ付キ其ノ一部ヲ行ヒ緩止メヲナシタモノト、ナサザルモノトヲ約半ケ年比較シ其成績及該緩止メニ要シタル材料費勞力費等ヲ詳細調査シ其ノ結果報告ノコト

記

一、碍子ヲ腕木ニ取付ケ雌捻子ヲ締メ付クル際ハ必ズ「スパナー」ヲ使用シ碍子ノ頭部ヲ摑ミテ締付クルコトハ絕對ニ廢スルコト

一、架線後綁縛線取付ニ柱上ニ昇リタル時ハ再ビ碍子ノ雌捻子ヲ「スパナー」ニテ腕木ニ幾分喰込ムト

〔樺通〕

程度ニ締付クルコト

一、前項ニ依リ締付ケタル後碍子眞棒ノ雌捻子直下約三分幅ニ白ペンキヲ塗抹スルコト（白ペンキハアマリ軟ク溶カザルコト）尚雌捻子ノ緩ミヲ防止スル方法ニシテ他ニ經濟的ノ良法アラバ意見申出アリタシ

一、第一、第二項ニ依リ締メ付ケタル後碍子眞棒ノ雌捻子眞棒ノ雌捻子ノ直下ニ六十磅鐵線ヲ約二回程纏捲シ其兩端ヲ捻結スルコト

●特設電話移動工事命令ニ關スル件

大正十五年三月十八日
遞工第一三六四號

大泊、豐原、眞岡各區擔當主任

右ハ從來其ノ都度工事命令致シ居候處自今事務簡渉上之ヲ廢シ認可書ヲ貴區經由ト可致ニ付同書ヲ工事命令書ト見做シ工事施行相成度

追而貴區經由ノ上ハ當該局ヘ移送相成度尚ホ豫算書ニ添付スベキ設計書ハ簡明ニ其ノ要領ヲ記載セラレ度

●昇柱器使用制限ニ關スル件

大正十五年六月二十五日
遞工第一〇二號

大泊、豐原、眞岡各擔當主任

昇柱器ヲ使用シテ電柱ノ昇降ヲナスハ電柱ニ疵ヲ生ゼシメ腐蝕ヲ速カナラシムル原因トナルノミナラズ強度ヲモ減殺スルコトヽナリ保守上有害ノコトナルヲ以テ市内線路及平坦ナル場所ノ工事ニハ努メテ梯子ヲ用フルコトヽシ地形上止ムヲ得ザル場合ノ外ハ該器ヲ使用セザルコトヽセラレ度

（樺通）

●電話加入者用地中導體埋設心得

大正十五年八月四日
遞工第三五八號

各區主任技術官

自今電話加入者地中導體ハ左記ニ依リ施設シ漸次共同導線ヲ廢シ加入者線路機械保守上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

左記

一、加入者用地中導體ハ八平方粍銅撚線ヲ用フルヲ通常トシ若シ水道管ヲ使用スル便宜アル地ニ於テハ成可ク之ヲ利用スベシ

二、加入者用地中導體ハ成可ク避雷器裝置ニ最モ近キ混地ヲ撰ミ約一・五米（五尺）ノ深サニ穴ヲ掘リ撚線ノ一端ヲ直徑凡ソ六〇糎（二尺）ノ輪形ニ約三回捲キテ之ヲ埋メ他端ハ容易ニ人ノ觸レサル適宜ノ高サニ於テ避雷器ヲ連絡スル導體ト接續スヘシ

但シ水氣ノ多小ニ依リ適宜深サヲ增減シ又水氣不充分場所ニ於テハ輪部ノ周圍ニ本炭ヲ塡充埋設スヘシ

三、地中導體ハ全ク接續シタル個所ナキモノタルベシ

四、地中導體ノ地表面上ト一尺ノ間ニハ混合タールヲ塗抹シ其乾クヲ待チテ適當ナル片布ヲ纏捲緊縛

（樺通）

シ尚其ノ上ニ混合タールヲ充分塗抹スヘシ

五、地中導體ノ避電器ト連絡スル導體トノ接續點ヨリ地際迄ハ銅鉤釘ヲ以テ堅固ニ止メ其ノ上ヲ竹若シクハ木片ヲ以テ被覆スヘシ

但シ被覆片ノ內部ニハ混合タールヲ塗抹スベシ

六、以上列記ノ外遞信省工務局所定電信電話技術心得第三號中第四乃至第七ニ準據スヘシ

●工事起竣工報告提出ニ關スル件

大正十五年八月十一日
遞工第一九五號

豐原、大泊、眞岡各區主任技術官

臨時部支辨各種工事ハ勿論苟モ工夫若シクハ人夫ヲ使役シ工事施行（簡單ナル市內保守工事及障碍修理等ヲ除ク）ノ際ハ遲滯ナク左記ニ依リ起竣工報告提出相成度

追而報告期日ノ遲速ハ一般工事促進上ニ影響スル處甚大ニ付特ニ提出期日ハ勵行アリ度

記

樣式一

電信電話工事起工報告

年　月　日

遞信課長

命令年月日及命令書番號

何々擔當區主任通信技手　氏　名○

工事名
工事施行區間
起工年月日
開通見込月日
竣工見込月日
主任工夫氏名及從事工夫員數

〔樺通〕

記入心得

一、測量ノ如キ準備工事ニシテ特ニ命令ヲ受ケザルモノハ本工事ト切放シ本報告書ヲ提出スルコト

一、伐開ニシテ本工事ト同時ニ直營ニテ施行ノモノハ前號ノ通リトス

一、改修築、碍子掃除工事等ニシテ開通見込月日ノナキモノハ當該欄內ニ斜線ヲ引クコト

一、工事施行區間ニハ其ノ著手方向ヲ記入スルコト若シ數組ヲ以テ起工ノ場合ハ其各組毎ニ其ノ著手方向及工事主任工夫氏名ヲ記入スベシ

一、本報告ハ起工後五日以內ニ提出スルコト

一、起工月日ハ實際工事ニ著手シタル月日ヲ記入スルコト

但シ遠隔ノ地ニテ起工ノ場合ハ工事著手ノタメ工夫ノ本居地出發ノ月日ヲモ併記スルコト

様式二

電信(市外電話)工事竣工報告

年　月　日

遞信課長殿

何々擔當區主任通信技手　氏　名印

命令年月日
及命令書番號

工事名　何々

竣工年月日　何々

線路里程

架空裸線　新設(改築又ハ修築)線路亙長何里何町何間
延長〃〃
内譯
何線　何程
何線　〃〃
外ニ豫備何線
延長　何里何町何間

添架　線路亙長　何里何町何間
延長　〃〃

架空ケーブル　何心又ハ何對ケーブル線條延長何程心線延長何程外ニ豫備心線延長
何程

地下ケーブル　記載方前欄ニ同ジ

〔樺通〕

水底ケーブル　〃

本柱數　普通柱何本(HハA)柱何本　合計何本
内譯　再用柱何本　新柱何本

支柱及支線柱數　何條内譯　何束何條　何條束何條
合計　何條

腕數　何線用何尺腕木何本

工事方法　別紙圖面ノ通リ施行ス

撤去電柱及線條等處分法　電柱及線條等ノ撤去品ヲ生ジタル時ハ其ノ再用ノ能否ニ依リ數量ヲ區分シ其ノ處分ノ方法ニ關スル意見ヲ附記スルコト

局内裝置　保安裝置試驗裝置、通信方式等ノ大要ヲ記シ詳細ハ別ニ圖面ヲ添付ノコト其ノ他様式三ニ準據スルコト

〔樺通〕

●郵便行嚢使用方取締ノ件

大正十五年八月十一日
遞工第二〇二號

各區主任技術官一般

右ニ關シテ從來屢々注意方通牒致置候ニ拘ラズ今尚工事用品中不急ノモノ或ハ器具類ヲ相當包裝ヲ施サズ其ノ儘行嚢ニ挌納使用セラルヽノ傾向アリテ事業上影響スル處尠カラザルニ付自今斯ル事項發見ノ節ハ當事者ハ勿論之レガ監督ノ任ニ當ル者ト雖モ同様相當處分ノ見込ニ付右取締方ノ徹底ヲ期セラレル様篤ト配意相成度

追而障碍修理用品若クハ特ニ工事現場ヘ急送ヲ要スルモノニシテ他ニ運搬ノ方法ナキモノニ限リ行

嚢使用ハ支ヘナキモ相當包裝ノ上使用之義ニ付行違ナキ樣配意相成度

●支障電線路移轉處理ニ關スル件

大正十五年八月十三日
遞工第一六三號

豐原、眞岡、大泊區主任一般

右ニ關シテハ其處理方區々ニ渉リ移轉申請者ニ對シ負擔ノ均衡ヲ失スルモノアルヤニ被認候條自今左記ニ依リ處理相成度

記

一、公衆其他ヨリ支障トナルベキ電柱、線條等ノ移轉方申請アリタルトキ若クハ本課ヨリノ照會ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ工事設計、工事費豫算ヲ調査シ申請書ニ添付提出ノコト

一、移轉費用ハ申請者ヲシテ負擔セシムルモノナルモ一面本廳ニ於ケル線路守成上必要アリト認メ得ベキ場合ハ保守工事トシテ申請ト同一ノ工事ヲ施工シ得ルニ付意見具申ノコト

一、移轉工事ニ從事シタル工夫給料竝ニ出張手當及職員旅費等ハ總テ經常部豫算ヨリ支辨スルコト

一、所要材料ハ成可ク提供セシムル方針ナルモ購入困難ナルカ又ハ少量ノ物品ハ當該年度內保守上支障ナキ範圍ニテ在庫品差繰リ支用ノ事トシ豫算書ニ其旨附記ノコト

一、前記三號及四號ノ經費竝ニ物品代價（本廳所定ニ係ル最近ノ電信電話事業用物品單價表ニ依リ計算ス但シ撤去品ヲ再用シタルトキハ其額ニ相當ノ斟酌ヲ加フベシ以下之ニ倣フ）ハ別途納入告知書

〔樺通〕

ニ依リ徵收スベキニ付工事竣工ノ上ハ收入金報告提出ノコト

一、撤去材料ハ出來得ル限リ再用スルコト、シ多分ノ物件ヲ提供セシメザルコト、尙工事竣工後撤去殘品ヲ生ズル見込アルトキハ其ノ品名數量竝ニ左記第九號ニ依ル推定價格ヲ豫算書ニ附記スルコト

一、申請者ヨリ物件ヲ提供セシムル場合ハ實際ノ必要數量ノミヲ提供セシメ運轉資料ノ如キハ一時在庫品ヲ使用シ工事竣工後殘品ヲ生ゼシメザル樣留意豫算編成ノコト

一、工事ノ結果生ズベキ撤去殘品ハ一切之ヲ申請者ニ交付セズ相當之ヲ評價シ其ノ代價ヲ本廳在庫品使用物品代價ヨリ控除スベシ

但シ費用負擔者ガ現品ヲ以テ所要物品ヲ提供セル場合ニハ左ノ區分ニ依ルベシ

(イ)所要物品ノ全部ヲ提供セル場合ニハ提供品代價迄ヲ限リ撤去品代價ヲ前記第三號ノ費用總額ヨリ控除スルコト

(ロ)所要物品ノ一部ヲ提供セルトキハ先以テ撤去品代價ヲ本廳使用品代價ヨリ控除シ尙超過スルトキハ提供品代價迄ヲ限リ其ノ超過額ヲ前記第三號ノ費用總額ヨリ控除スルコト

一、前記控除ノ爲メ必要ナル撤去品ノ價格算定ハ現品ノ經過年數及腐蝕ノ程度等ヲ考慮シ算定スベシ

一、工事材料以外ノモノニシテ工事上必要トスル物品ハ可成應用品ヲ繰リ合セ使用スルコト、シ尙工事ガ急ヲ要セザル場合ハ巡回又ハ他工事ノ序ニ施工スル等ノ方法ニ依リ可成申請者ノ負擔輕減ヲ計ルコト

一、移轉申請者ハ技術上ノ事情ニ通ゼサル事多キヲ以テ自己ガ移轉ヲ欲スル部分ノ外工事上ノ必要ニ因ル他ノ部分ノ變更ヲ豫期セザルガ如キ事勘カラズ其ノ結果豫期ニ反スル工事費豫算書ノ交付ヲ受ケ不服ヲ訴フルガ如キ事アルベキヲ以テ豫算書交付ノ際ハ必要ニ應ジ其ノ內容ニ付充分說明ヲ爲スコト

但シ事態重大ナリト認ムルトキハ課長ノ指揮ヲ受クベシ

一、提供物件ノ提出其ノ他必要ノ手續ヲ終了シタル時ハ遲滯ナク工事ニ著手スルコト、シ尙止ムヲ得ザル理由ニ因リ期日ヲ指定シ又ハ急速施工方申出ヲ受ケタルトキハ事情ニヨリ出來得ル限リ之ニ應ズルコト

一、工事竣工ノ上ハ前記各號ニ依リ工事費精算ノ上工事竣工報告及收入金報告遲滯ナク提出ノコト

●支線取付方ニ關スル件

大正十五年八月三十日
遞工第三五五號

各區主任技術官一般

右ニ關シテハ遞信省工務局所定電信電話技術心得第二十七號第八十四條第八十六條ニ準據シ施行スル外尙支線笛卷（二百磅ヲ以テ纏捲ノ部分）ノ個所ニハ何レモ混合タールヲ塗抹スル樣注意ノ次第モ有之候ニ拘ハラズ實際ノ工事實況ハ之ヲ履行セザルノミナラズ笛卷部分ノ長サ區々ニ渉リ前記各條附圖（第十五圖及第十六圖）ノ寸法ニ適合セルモノ斯ク事業上遺憾トスル點勘カラザルニ付キ自今該技術心得ノ寸法ニ必ズ適合スル樣二百磅ノ纏捲部分ノ長サヲ一定シ且ツ其ノ上ニ混合タールヲ塗抹スル樣

〔樺通〕

嚴重勵行相成度

●電柱檢査ニ關スル件

大正十五年十月七日
遞工第四九八號

各區擔當主任一般（無線區ヲ除ク）

從來電柱檢査ニ從事ノ結果ニ關シテハ單ニ檢收報告ノ提出ニ止マルモ斯クテハ合格電柱內ニ末口甚シク大キモノアリテ工事起工後既ニ交付ノ笠金、眞棒ニシテ間ニ合ハザルモノ生ジ其ノ都度追加交付ヲ要求シ來ル向アリ工事上支障ヲ感ズルコト勘カラザルヲ以テ自今電柱檢査ニ從事シタルモノハ左記事項ヲ記載セル檢査概要報告提出方勵行相成度

追而特設電話新增設工事竝ニ普通局加入者增設工事ニ於テ加入者ヨリ物件提供ノ場合電柱末口著シク指定ノ寸法ヨリ大キモノアル時ハ一應該柱ヲ合格セシムルタメニ新ニ必要トスル笠金、眞棒類ノ追加提供ノ要アル旨加入者總代ニ說示シ承諾ヲ求メタル上採否ヲ決定スル樣取計相成度

左記

一、檢査ヲ受クル爲メニ現場ニ搬出シタル電柱種別總數

一、不合格電柱總數竝不合格トナリタル原因ノ種類別數

一、合格品ノ種別（末口ノ寸法指定ノ寸法ヨリ五分チ超ユルモノハ末口寸法別ニ數量チ記入ノコト）

〔樺通〕

●電話特種工事ニ關スル件

大正十五年十一月四日
遞工第六五〇號

普通電話交換取扱局長一般　豐原、眞岡、大泊區擔當主任

近時不燃質建築物ノ增加ニ伴ヒ加入者又ハ機械設置家屋所有者其他ノ利害關係者ニシテ電話ニ關スル知識ノ缺如ニ起因シ往々加入者引込線又ハ室內布線等ヲ壁內ニ埋込ミ或ハ切斷シ回線ニ障碍ヲ與ヘタルガ如キ事例モ有之候ニ付キ自今不燃質建築物ヘノ加入者ヨリ供給セシメ可成隱蔽工事ヲ勵行セシムルコトヽシ一般加入者ニ其ノ趣旨ヲ周知セシムルト共ニ希望ノ向キニハ別紙樣式ノ申請書ヲ提出セシメ自今特種工事トシテ左記各項ニ依リ處理相成度

記

一、申請者ノ受理及許可ノ指令等ハ當該局ニテ取扱フ事

一、工事設計豫算ノ編成供給物件ノ檢查及工事執行等ハ當該擔當技術官之ヲナス事

一、本工事ニ供給セシムベキ物件ハ總テ無償寄附セシムル事

一、工事ニ從事シタル吏員以下旅費給料ハ總テ本廳支辨トス

一、當該局ニ於テ本件申請書ヲ受付ケタル時ハ受付月日ヲ記入シ直チニ當該擔當技術官ニ廻付スルコト

一、當該擔當技術官ニ於テ當該局ヨリ申請書ノ廻付ヲ受ケタル時ハ詳細ナル工事設計及豫算書ヲ作成七日以內ニ當該局ニ送付スルコト

一、當該局ニ於テ前項書類ノ送付ヲ受ケタル時ハ遲滯ナク本課ニ提出承認ヲ受クルコト

〔樺通〕

一、當該局ニ於テ本課ノ承認ヲ受ケタル時ハ許可書ヲ作成當該擔當技術官經由申請者ヘ交付スルコト

一、當該擔當技術官ニ於テ前項許可書ノ經由ヲ受ケタル時ハ供給物件ノ提出ヲ俟テ工事施行ノコト

一、工事起竣工ノ場合ハ其ノ都度當該工事擔當官ニ於テ大正十五年八月十一日遞工第一九五號通牒ニ依リ起竣工報告ヲ當該局經由ニテ提出ノコト

一、擔當技術官ハ左記樣式ニ依ル特種工事一覽簿ヲ備付關係事項ヲ漏ナク記入シ工事上遺憾ナキヲ期スルコト

〔樺通〕

（樣式一）

電話特種工事施設申請書

局　番

機械設置場所　郡　町　村　字　番地

右加入電話引込線及宅內敷線ハ拙者「家屋模樣替」或ハ「何々」ノ結果從來ノ儘ニテハ支障ヲ來シ候ニ付所要物品及勞力ハ無償寄附致可ニ付何卒特別ナル工事方法ヲ以テ施設相成度此段及申請候也

大正　年　月　日

住所

氏名㊞

樺太廳長官　殿

（樣式二）

主任	局名	電話番號	工事設計大要	局ヨリ申請者廻付書送付月日	局へ豫算許可月日及許可書提出月日	供給物件經由月日	起工及報告月日	竣工及報告月日	係印	記事

●電柱汚穢豫防ニ關スル件

大正十五年十二月九日
遞工第七二五號

各區擔當主任宛（無線區ヲ除ク）

年末ニ際シ各商店ノ賣出廣告、ポスターノ類ヲ電柱ニ貼付シ或ハ樵、馬等ヲ電柱ニ繫留スル者漸次增加ノ傾向著シク作業上支障尠カラザルニ鑑ミ今回別紙寫ノ通リ新聞（樺太日々新聞）ニ揭載シ一般ニ警告スルコトニ致候ニ付テハ貴區內ニ於テモ適當ノ方法ニ依リ警告ノ主旨徹底方取計フト共ニ尙平素ノ監視ヲ怠ラズ事業上遺憾ナキヲ期セラレ度

記

遞信當局者ノ語ル所ニ依レバソロ〳〵年末ニ迫ツタ爲メカ近來主要都市ノ公衆通信用電信電話柱ニ廣告ヤポスター類ヲ貼リ或ハ馬又ハ樵ヲ繫グ向キガ激增シテ來タガ官物ヲ汚穢シテ不體裁ナバカリデナク從事員ノ作業ヲ妨ゲタリ電柱ヲ毀損シタリ又釘付ケノモノハ往々從事員ヲ負傷セシメ又ハ被服ヲ毀損スルモノ等アツテ非常ニ困ツテ居ル今後ハ貼付シタ向キニハ元通リ剝ガセル方針デ尙斯ノ樣ナ行爲ハ電信法第三十九條ノ違反行爲デ事情ニ依ツテハ告發ノ手續ヲ爲ス筈デアルカラ一般ニ注意シテ貰ヒタシト

〔樺通〕

●小型茶臺碍子廢止ニ關スル件

昭和二年一月二日
遞工第六八號

各區擔當主任一般

市內電話線路極柱、角柱、分線柱竝ニ配線柱等ニ在來取付アル小型茶臺碍子ハ小型二重碍子ニ比シテ線路ノ絕緣力低下ノ傾向顯著ナルモノ有之哉ニ認メラルヽニ付將來加入者移轉其ノ他保守工事ヲ利用シ機會アル每ニ漸次小型二重碍子ニ（配線柱、引分柱ニハ市內交叉金物取付ノ上）變更相成度

〔樺通〕

●加入者引留點竝加入者保安器取付位置撰定ニ關スル件

昭和二年一月七日
遞工第七三六號

各區擔當主任一般（無線區ヲ除ク）

右ニ關シテハ從來概ネ工夫ニ其ノ撰定ヲ一任シアルヤノ傾向アル爲メ其ノ位置合理的ナラザルヲ散見セラレ候處最近大阪遞信局發行工務新報紙上ニ加入者引留點ノ位置撰定ニ關シ適切ナル意見ノ發表（大正、一五、一〇、三〇、工務新報第二十四號參照）有之事業上參考トスベキ點多大ナリト認メラレ候

ニ付其ノ撰定方法別紙ノ通リ印刷シ尚加入者保安器ノ取付方ニ關シテモ改良スベキ點多々有之候ニ付同時ニ別紙ノ通リ印刷併テ交付可致候條區内工夫ニ洩レナク配付シ自今工事施行ニ際シテハ工夫等ニ一任セズ機會アル毎ニ吏員自ラ現場ニ臨ミ彼等指導ノ任ニ當ラルヽ樣篤ト留意相成度

一、加入者保安器取付上ノ注意

(イ)加入者保安器ノ位置ハ成可ク點檢ニ便利ナ處ヲ撰ブ事（第一回參照）

(ロ)保安器ノ位置ハ引込口ニ近ク附近ニ紙張リノ樣ナ燃エ易イ物ノナイ處ヲ撰ブ事

(ハ)保安器ハ天井裏・押入・物置・棚・柱・鴨居等ニハ絶對ニ取付ケヌ事

(ニ)保安器ハ壁ニヂカニ取付ケテハイケナイ必ズ板ヲ張ツテ取付ケルコト

(ホ)保安器ハ避雷器ノアル方ガ下ニナル樣取付ケ決シテ横向キ轉倒ニハ取付ケヌ事

(ヘ)保安器ハ1½吋（約一寸二分）手頭眞鍮木捻子デ上、下堅固ニ取付ケルコト

(ト)避雷器ノマイカハロノ開イテ居ル方ヲ下向キトナル樣ナス事

(チ)保安器ノネジハ保安器捻廻シヲ使用ナシペンチ等ハ絶對ニ使用シテハイケナイ事

(リ)可熔片管ノ熱線輪ハ第二圖ノ如ク表面鍍付ノ處ガ時々切斷シテキルコトガアル取付ノ際ハ特ニ注意シテ取付ケルコト

(ヌ)炭素避雷器ノ金屬鍍ガ時ニ突起シテヲツテ地氣ニナルコトガアル取付ケル前ニ良ク檢査シテホ

〔繰通〕

コリナドヲ奇麗ニ取ツテカラ付ケルコト

(ル)外部カラノ引込線及地氣線ハ保安器ノ取付點ニ於テコイルヲ作ツテハイケナイ

(オ)引込線及地氣線ノ保安器ヘノ取付方ハ左ノ方法ニ依ルコト

A.上部ターミナルニ於テハ線條ヲ座金ノ間ニ入レ第一女捻ヲ克ク締メテ其ノ上ニ加入者可熔片管ヲ入レ第二雌捻ヲ克ク締メルコト

B.下部タミナールニ於テハ線路ヲ座金ノ間ニ入レ第一女捻ヲ克ク締メテ微（ワズカ）ニ第二雌捻ヲ締メルコト

C.線條ヲ雌捻ニテ締メル時ハ

ノ樣ニ線條ヲ沿ハシメ

ノ樣ニ付ケテハイケナイ

二、家屋ヘノ引留點撰定上ノ注意

(イ)出來ルダケ家屋ノ側面ヲ撰ブ事

(ロ)若シドウシテモ廂ニ取付ケネバナラナイトコロハ圖ノ如ク線條一本毎ニ引込腕一本ヲ用ヒ成可ク奥深ク差込ンデ碍子取付點ヲ短クスルコト

(ハ)廂ノ下ニ裸線ヲ通シテハイケナイ

(ニ)引込腕ハ充分張力ニ堪エ得ル柱ヲ選ンデ五寸釘充分打込ミ堅固ニ取付ケルコト

(ホ)引込點カラ引込口迄ノ被覆線ハ必ズ二吋鼓形碍子デ建物ト分離シテ取付ケルコト

●特設電話加入者線路丁程算定ノ件

昭和二年三月八日
遞工第二一九號
豐原眞岡區擔當主任一般
大泊

右ハ自今左記ニ依リ算定相成度
追而既設加入者ニシテ之レニ反スルモノハ加入者增設及修築工事等ヲ利用シ漸次改定ノコトニセラレ度

記

一、局柱分線盤間
電柱中心軸ヨリ引込樋ノ分線盤臺ニ接スル點迄ノ水平距離

一、局柱引込柱間
線路ニ沿ヒ最短距離ヲ以テ算定スルコト(別圖參照)

一、本電話機ト通話シ得ル乙種增設電話機及甲種增設電話機ヲ設備スルモノ
本電話機ヨリノ引出線ガ電柱等ノ介在ヲ必要トスルトキハ本電話機引出碍子ヨリ增設電話機引込碍子迄ノ丁程ヲ本電話機引込柱迄ノ丁程ニ加算スルコト

一、共同線加入

〔樺通〕

共同部分ノ丁程ヲ共同加入者數ニテ除シタルモノト專用部分ノ丁程ノ和

一、連接加入
(イ)本加入及連接加入ニシテ本加入トノ間ニ電柱ノ介在ヲ要セル場合
局分線盤、本加入引込柱間ノ丁程ノ二分ノ一
(ロ)本加入ト連接加入トノ間ニ電柱ノ介在ヲ要スル場合若クハ當然電柱ノ介在ヲ要スルモノナルモ特殊ノ事情ニ依リ建設ヲ避ケタルモノナルトキ
前項丁程ト本加入引出碍子ヨリ連接加入引込碍子迄ノ丁程ノ和

〔樺通〕

●加入者電池共用ニ關スル件

昭和二年三月十五日
遞工第一八一號
各區擔當主任一般(無線區ヲ除ク)

右電話規則第二十八條ニ依ル乙種機械增設(本機ト通話シ得ザルモノ)ニシテ電池線廿碼以內ヲ布線シ得ルモノハ共同電池トナス事ニ通牒候處其ノ施行方法左記ノ通リ了知相成度

記

一、電池線ハ電話單線室內ゴム線一條ヲ用ヒ本線ノ電話二ケ撚室內ゴム線ト合セテ六號絕緣布線留釘ニテ布線スルコト

一、之ニ反スルモノアラバ自今右該當ノ機械增設又ハ構內外移轉等ノ機會アル毎ニ裝置替ノ事

一、參考トシテ裝置略圖別紙添付ス

様式(二)　電信(市外電話)工事竣工報告附圖

様式(三)　市内電話工事竣工報告

年　月　日

遞信課長殿

命令年月日及命令書番號
工事名
竣工年月日
新(增)設加入者數
加入者宅内裝置
局内裝置

何々擔當區主任通信技手
氏名印

〔横通〕

様式(二)ニ準據記入ノコト

〃

單獨何名共同何名連接何名增設機　卓　何個
　　普　何個

加入者宅内裝置工事ノ大要ヲ記入スルコト

何交換機何臺何回線試驗分線盤何臺ヲ新增設シ信號裝置トシテ何々ヲ使用セリ之ガ工事大要左ノ如シ

一、機械類ノ配置方ハ設計圖第　號圖ノ通リトス(變更セザル時ハ圖面省略ノコト)

二、試驗分線盤ハ全容量何々實裝何々

三、交換機市内臺何座席ニ加入者何名ヲ收容ス

〃　市外臺市外線何回線ヲ收容ス
〃　中繼線記錄其他ノ裝置ハ技術心得第何號第何條ニ依リ施行セリ詳細ハ明細書添付
四、電池ハ電池室ニ電池棚ヲ設ケ收容ス電池線ハ何々ニ依リ交換室ニ引入レ交換機其ノ他相當端子ニ導ケリ
五、試驗裝置ハ技術心得第何號何條何號圖ノ通リ施行セリ
六、布線試驗分線盤交換機間ニハ露出線樋又ハ陰蔽線樋內ニ布線ス

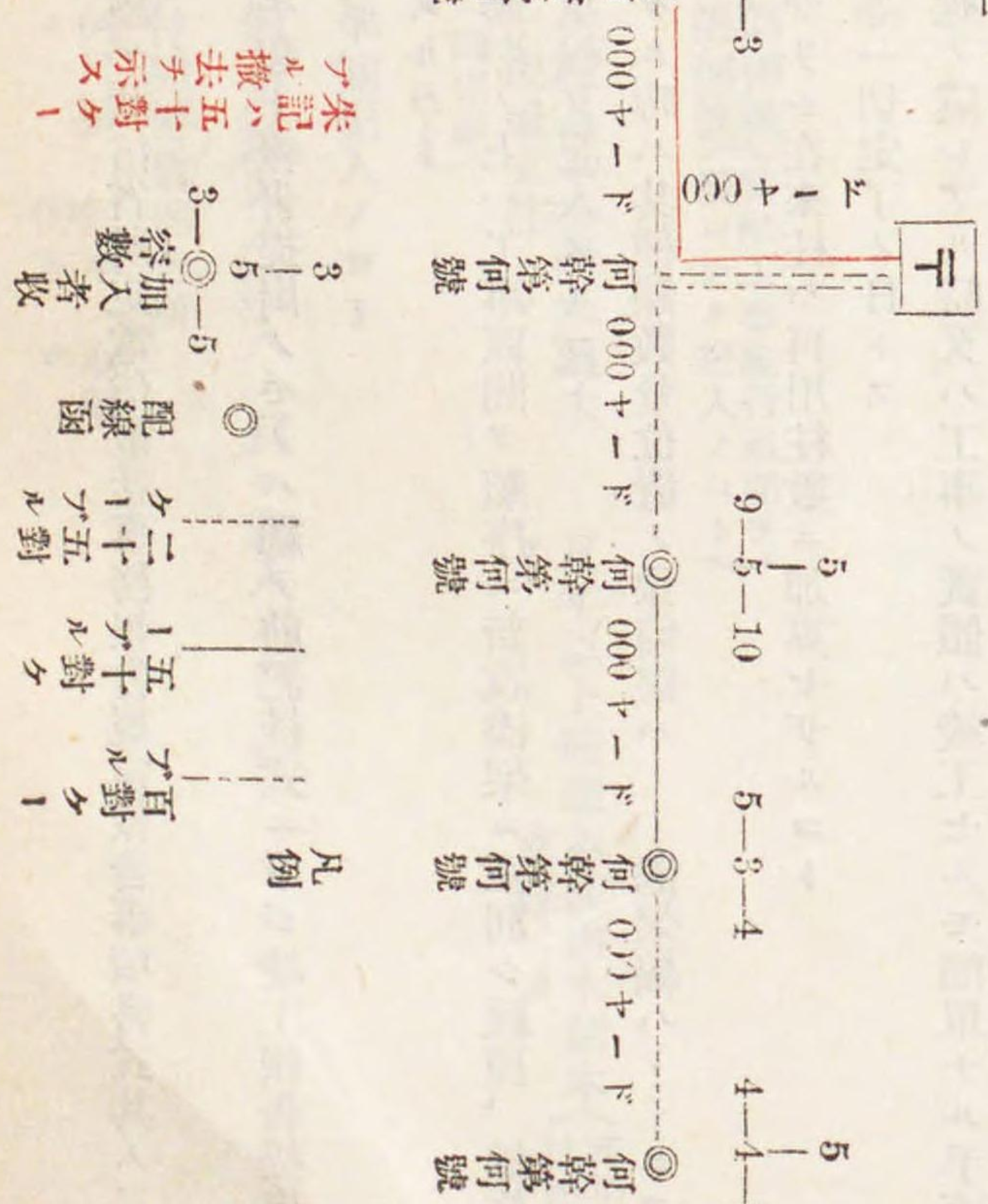
線路里程（架空裸線 / 架空ケーブル）	樣式第(二)ニ準據記入ノコト 別紙圖面ノ通リ施行ス樣式第(二)ニ準據記入ノコト
配線函數	新設　何對配線配線函何個平均加入者收容數何回線 （對毎ニ區分記入ノコト）
本柱數	樣式第(二)ニ準據記入ノコト
支柱及支線柱數	同
支線數	同
共同支線	百七十磅七ケ撚銅線延長何程四百磅鐵線三條束延長何程

〔構通〕

其ノ他	本工事ニ伴ヒ施行シタル工事ニシテ前各欄ニ記入セサル主要事項ヲ記入スルコト
撤去電柱及線條其他處分法	大體樣式(二)ニ據リ尚特設電話新增設工事等ノ如ク加入者ヨリ提供物件アリタル時ハ物件使拂精算書ヲ作成添付ス

〔構通〕

市內電話工事竣工報告附圖



記入心得

一、本報告中特ニ明記ナキモノハ總テ遞信省所定電信電話事務報告規定報告事項書式其ノ二及其ノ三參照ノコト

一、工事命令ヲ受ケザル工事ト雖モ起工報告提出ノモノハ總テ前記様式ニ準ジ竣工報告提出ノコト

一、撤去工程ハ總テ相當欄ニ朱書スルコト

一、工事方法ハ別紙圖面ノ記入例參照ノ上一工事區間ヲ順序ニ新設添架ニ區別シ線種、線條數架設順ヲ揭ゲ各其ノ異ナル毎ニ里程ヲ記入スルコト

尚豫備線使用又ハ撤去線アリタル時ハ其種類數量位置ノ豫備線ハ――添架線ハ……ニテ朱記スルコト

一、改修築工事ノ場合建替ヲナサザリシ在來柱ハ再用柱數ニ加算セザルコト

一、本報告ノ竣工月日ハ附滯事務等一切定了ノ日トス

但シ附滯事務ノ完了著シク遷延ノ虞レアル時又ハ工事ノ實體ハ竣工セルモ簡單ナル手直シ工事未濟若クハ工事ノ都合ニテ翌年度ヘ繰越シヲナス等ノ場合ニハ其ノ理由ヲ具シ本報告提出ノコト

一、本報告ハ竣工後二十日以內ニ提出ノコト

様式(四)　電信電話保守工事竣工報告

〔樺通〕

年　月　日

何々擔當區主任通信技手

氏　名印

遞信課長殿

命令年月日及命令書番號

工事名

工事施行區間

竣工年月日

本支柱副木數

本柱建替數

本支柱新植線

支線手直數

腕取替數

自何々第何號至何々第何號（實際工事施行區間ヲ漏レナク記入ノコト）

何日

十年以上經過本柱何本副木

十年以上經過支柱〃

年數別ニ區分副木數記入ノコト）

前欄ニ準據記入ノコト

普通柱何本（注入不注入ノ別ニ記入ノコト）

支線臺付埋替數何ケ所

何線用何尺腕何本取替

〃　何本〃

五年以上經過本柱何本副木（五年毎ニ本支柱建設後經過

〃　支柱〃

碍子掃除數	何個	
碍子取替數	何個	
線條弛取數	延長	二百磅硬銅線　何里何町何間 四百磅鐵線　〃
錆線張替數	〃	〃
從事工夫延員數	延何人	
從事人夫延員數	延何人	
撤去品處分法	様式(二)ニ準據記入ノコト	

備考

一、本報告ハ竣工後十日以内ニ提出ノコト

一、特ニ工事命令ヲ受ケス施行ノ場合ハ當該欄ニ斜線ヲ引クコト

一、前欄列記以外特ニ工程大ナルモノ(伐開ノ如キ)アル時ハ空欄内ニ記入ノコト

一、本支柱ノ新植、支線ノ新設、腕增設、線條數ニ異動ヲ生ジタルトキハ該異動區間ノ明細表添付スルコト

●電燈電力線移轉料其ノ他補償ニ關スル件

昭和二年四月四日
遞工第五一〇號

〔樺通〕

豐原・大泊・眞岡區擔當主任一般

電信電話線路建設修理又ハ通信ニ支障トナルベキ工作物及竹木等ノ移轉竝伐採ヲ要スル場合ハ自今左記ノ通リ處理相成度

記

一、工作物及竹木ノ移轉又ハ伐採ヲ要スルトキハ豫メ所有者又ハ管理者ニ照會シ移轉又ハ伐採セシムルコト但シ竹木ノ伐採ニアリテハ所有者又ハ管理者ノ立會ヲ求メ伐採スルコトヲ得

一、所有者又ハ管理者ヨリ前記ニ要スル費用要求アリタル場合ハ移轉方法書ト見積書ヲ徵スルコト

一、擔當官ハ移轉及伐採ノ必要生ジタル概要ト前記見積額ニ對スル意見ヲ附シ本課ヘ提出承認ヲ受クルコト

一、承認ノ通牒ヲ受ケタルトキハ其ノ旨所有者又ハ管理者ニ通知シ直チニ移轉又ハ伐採セシメ竣工ノ上ハ請求書ヲ徵シ報告スルコト

一、請求書ニハ要求者竝ニ擔當官ノ連署調印セル協定書ヲ添付スルコト

但協定協ハザルトキハ指揮ヲ受クベシ

以上

●特設電話機械一時撤去及附屬品ノ移轉工事ヲ擔當官ニ委任ノ件

昭和二年四月十五日
遞規第八六號

〔樺通〕

特設電話機ノ一時撤去及附屬物品ノ移轉申請ヲ受ケタルトキハ爾今左記ニ依リ處理相成度

一、當該局ニ於テ電話機一時撤去竝ニ附屬物品移轉等ノ申請書ヲ受付タルトキハ直ニ受持擔當官宛送付スルコト

二、擔當官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ擔當官限リ工事ヲ施行シ左記ニ依リ工事竣工報告提出スルコト

(イ)電話機一時撤去ノ場合ハ其復舊シタルトキ

(ロ)附屬物品移轉ノ場合ハ共都度

三、本件申請ニ對シテハ別ニ認可書ヲ交付セズ工事ノ竣成ヲ以テ之ニ代フ

●アングル碍子使用範圍ニ關スル件

昭和二年六月二十九日
遞工第六四三號

各區主任一般（無線區ヲ除ク）

右ニ關シテハ大正十四年十月電信電話技術心得改正ノ結果其ノ使用範圍擴大セラレ候ニ付テハ當廳ニ於ケルアングル碍子ノ使用範圍ヲ大體左記ノ通リ制定候條自今工事上行違ヒナキ樣篤ト留意施行相成度

追而實施後ノ成績ニ留意シ危險ト認メラルヽ、點有之候際ハ遲滯ナク報告相成度

〔樺通〕

記

一、柱間距離五十間以上八十間以下ノ兩端ノ電柱

一、試驗金物取付柱及軌道ヲ橫斷スル兩側ノ電柱

一、極柱（交叉金物ヲ使用セザルコト）

注意

本施設ヲ行フ時ハ常ニ腕木ハ張力ヲ受クルニ依リ裝柱ニ際シテノ腕木ノ敲殺方ハ特ニ留意シ腕木ノ張力ノ方向ニ屈セザル樣注意ノコト

一、線條ノナス角度一三六度以上一六四度以下ノ曲柱

〔樺通〕

●線路、機械障碍修理ニ關スル件

昭和二年七月六日
遞工第六七六號

各區擔當主任一般（無線區ヲ除ク）

最近各地ニ頻發ノ障碍件數ハ昨年同期ニ比シ著シク增加セリ年々多額ノ工事費ヲ支出シ線路、機械ノ改良工事ヲ施行セルニ拘ハラズ之レガ期待ヲ裏切ルガ如キ結果ヲ招來セルハ事業上寒心ニ堪エザル處ニシテ右ハ畢竟各區ニ於ケル平素ノ線路、機械看守上遺憾ノ點アルニ起因スルモノト被認候ニ付自今障害發生ニ對シテハ迅速恢復ニ努ムルハ勿論平素ノ線路巡回ヲ勵行シ障碍發生ヲ未前ニ防止スル等適當ノ方法ヲ講ズルノ外尙左記各項ヲ充分部下ニ徹底セシメ障碍發生ノ絕無ヲ期スル樣嚴重勵行相成度

記

一、障碍發生ノ際ハ卽時工夫ニ出動ヲ命ズルコト

一、若シ障碍地點ガ工夫本居地ヨリ離隔セル時ハ自動車船車馬等出來得ル限リ交通機關ヲ利用シ一刻モ早ク現場到達ヲ期スルコト

一、冬期間ノ障碍ニアリテハ適當ノ雪踏ミ人夫ヲ連行セシムル等罹障時間ノ短縮ニ萬全ノ方法ヲ講ズルコト

一、障碍發生ノ際ハ成可ク夜間ト雖モ工夫ヲ出勤セシメ未明前ニ障碍地點ニ到達セシメ罹障時間ノ可及的短縮ヲ計ルコト

一、工夫ニ出勤ヲ命ジタル際ハ其ノ行動ノ監視ヲ怠ラズ出勤時刻ノ遲延、或ハ恢復時間ノ延長シタル時等ハ充分其ノ前後ノ事情ヲ精査シ工夫ニ怠慢ノ廉アル時ハ始末書ヲ徵スル等情實ニ拘泥セズ公平ニ處分ヲ勵行シ障碍ニ際シテハ卽刻出動スベキ慣習ノ作興ニ努ムルコト

一、工事現場ニ於ケル不注意ニ起因セル罹障モ勘カラザル樣認メラル、臨時部、經常部ヲ問ハズ一般工事ニ從事ノ工夫ニ對シテハ機會アル毎ニ既設線ノ罹障ニ深甚ノ注意ヲ拂ハシムル樣訓告ヲ與ヘ全ク工事ノ粗漏、不注意ニ起因セル障碍發生ノ際ハ工事主任工夫ハ勿論當面ノ從事工夫ヨリ始末書ヲ徵スル等適當ノ制裁ヲ加ヘ以テ工事現場ニ於ケル障碍ノ絕無ヲ期スルコト

●電信回線名札ニ關スル件

昭和二年七月六日
遞工第六八五號

〔樽通〕

電信及市外電話回線ノ線名札ニ對シテハ完全ヲ期シ居ルコト、ハ認メラレ候モ尙線名相違シアリ錯誤ヲ生シタル事例モ有之候ニ就テハ自今新增設及回線變更工事等ニ際シ引込局試驗盤其他ニ於ケル線名札ハ相違ヲ來サヽル樣充分留意相成度

各區擔當主任一般（無線區ヲ除ク）

●四方支線取付及電柱番號竝年月記入ノ件

昭和二年九月二十日
遞工第九八〇號

〔樽通〕

各區（機械區、無線區ヲ除ク）擔當主任一般

右ニ關シ左記ノ通リ施行方了知相成度

左記

一、四方又ハ三方支線ノ取付ニ當リテハ百七十度以上ノ彎線ハ直線ト見做シテ取付位置ヲ定メ若シ支線取付柱ガ曲柱ニ該當スル時ハ其ノ前後ノ最モ近キ直線柱ニ支線ヲ取付クルコト

一、電柱番號記入ハ地上三米ノ個所ヲ限界トシ其ノ上ニ〒ヲ記入シ限界點ヨリ以下ニ電柱番號記入スルコト

（圖面參照）

一、再用柱ハ最初建設シタル年月日ノ肩ニ再ノ字ヲ冠スル事

（圖面參照）

三	米	地除	
〒 三九五			
	二、一〇		
〒 三九五	再 四五、五		
三〇糎			

（樺通）

第二章　機械及試驗

●障碍電報取扱竝ニ線條措置ニ關スル件

大正十二年二月十九日
遞監第七二三號

各電信電話取扱局長

電信電話線路ノ障碍ニ際シ障碍ノ種類及位置等ヲ檢測スル事ハ其障碍恢復上必要ノ業務ニシテ從テ之ニ關スル報告竝ニ措置ハ最モ敏速ヲ要スルハ言ヲ俟タザル處ニ有之候故ニ試驗擔當者ヨリ接地切斷環線直通又ハ交叉等回線措置ノ要求ヲ受ケタル時ハ遲滯ナク其要求ニ應シ又障碍局報ノ取扱ニ關シテハ規程第十四條ニ依リ之ヲ處理シ以テ障碍恢復ノ時機ヲ失ハザラシムル樣當務者ヘ示達相成度

●加入者保安器取付方ニ關スル件

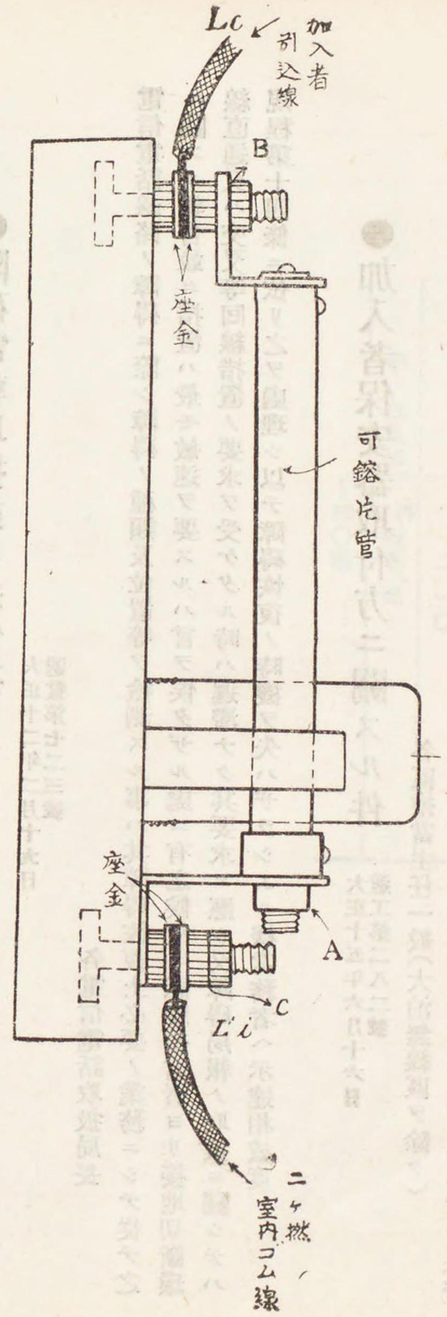
大正十五年六月十六日
遞工第二八二號

各區擔當主任一般（大泊無線區ヲ除ク）

加入者保安器各部取付方ハ從來區々ニ亙リ甚シキハ障碍原因ヲ釀生シ易キ取付方ヲ爲ス向モ有之保守上遺憾ノ次第ニ候條將來ハ別紙圖示ノ通リ勵行スル樣貴部下一般ヘ周知セシメラレ度右及通牒候也

（樺通）

（甲）　加入者保安器測面圖

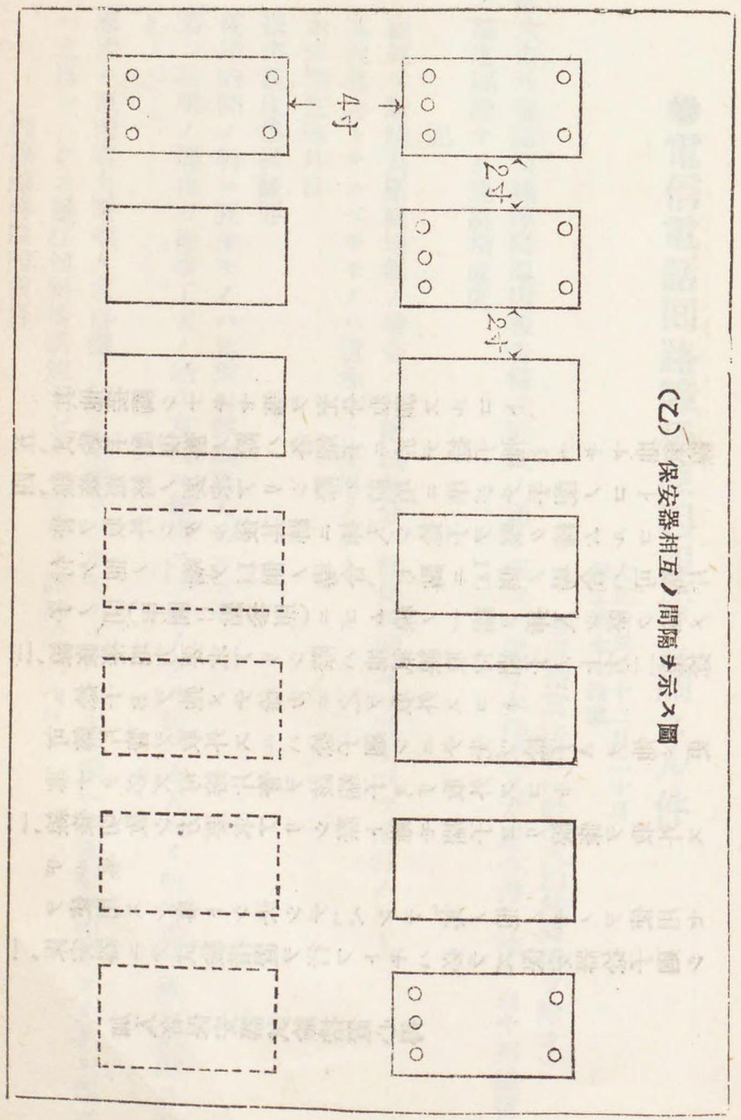


備考

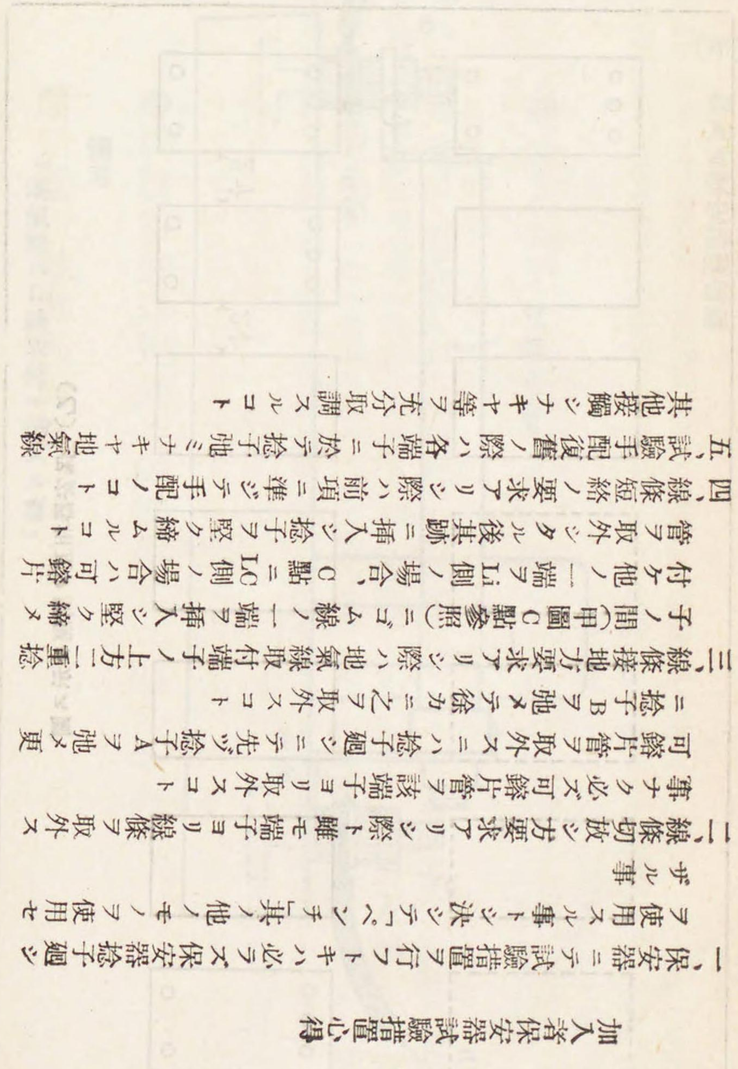
「地氣線ハLi線取付ニ準ズル事」

〔樺通〕

（乙）　保安器相互ノ間隔ヲ示ス圖



〔樺通〕



加入者保安器試驗措置心得

一、保安器ニテ試驗措置ヲ行フトキハ必ラズ保安器捻子廻シヲ使用スル事トシ決シテ「ペンチ」其ノ他ノモノヲ使用セザル事

二、線條切放シ方要求アリシ際ト雖モ端子ヨリ線條ヲ取外ス事ナク必ズ可鎔片管ヲ該端子ヨリ取外スコト

可鎔片管ヲ取外スニハ捻子廻シニテ先ヅ捻子Aヲ弛メ更ニ捻子Bヲ弛メテ徐カニ之ヲ取外スコト

三、線條接地方要求アリシ際ハ地氣線取付端子ノ上方二重捻子ノ間(甲圖C點參照)ニゴム線ノ一端ヲ挿入シ堅ク締メ付ケ他ノ一端ヲLi側ノ場合、C點ニLC側ノ場合ハ可鎔片管ヲ取外シタル後其跡ニ挿入シ捻子ヲ堅ク締ムルコト

四、線條短絡ノ要求アリシ際ハ前項ニ準ジテ手配ノコト

五、試驗手配復舊ノ際ハ各端子ニ於テ捻子弛ミナキヤ地氣線其他接觸シナキヤ等ヲ充分取調スルコト

〔樺通〕

●電信電話回路障碍原因報告ニ關スル件

大正十五年十二月二十日
遞工第七七四號

各區擔當主任一般(大泊無線區ヲ除ク)

電信及市外電話回線障碍原因報告樣式別紙ノ通リ相定メ候條本樣式及左記心得ニ據リ自今回線罹障恢復ノ都度遲滯ナク提出相成度

記

一、斷線半斷線及斷線地氣ノ場合ハ其斷線部分ノ線條兩端五寸計リヅツ添付ノコト

一、其他參考トナルベキモノハ遺漏ナク提出ノコト

一、本修理見込月日

一、被害程度模樣概要

一、罹障時間ノ特ニ長キモノハ其理由詳細記入スルコト

一、若シ前項ノ理由ガ從事工夫ノ過失怠慢ニ起因スルモノナル時ハ本人ヨリ始末書ヲ徵シ添附スルコト

一、原因ハ風雨雪火電擊人爲自然ノ別ニ記載スベキモノナルモ記事欄ヘハ實際原因トナリタル倒木或ハ地崩レノタメ電柱傾斜等誘起サレタル事項ヲ詳細記入ノコト

回線障碍原因報告

〔樺通〕

年　月　日

遞信課長殿

區主任

(一)	障碍ニ罹リタル回線名		
(二)	障碍ニ罹リタル日時	月　日午前後　時　分	
(三)	障碍ノ通知ヲ接受シタル日時	月　日午前後　時　分	
(四)	障碍ノ恢復シタル日時	月　日午前後　時　分	
(五)(三ト四)	トノ經過時分	時　分	
(六)(二ト四)	トノ經過時分	時　分	
(七)	障碍位置		
(八)	障碍種類		
(九)	地勢		
(十)	障碍地名		
(十一)	電柱番號		
(十二)	原因		
(十三)	當時ノ天候		
(十四)	工夫出發時分		
(十五)	工夫歸著時分		
(十六)			
記事			

〔樺通〕

●市内電話障碍報告ニ關スル件

昭和元年十二月二十七日
遞工第七〇七號

各區擔當主任一般

普通局市内電話障碍報告ハ自今別紙様式ニ依リ報告ノ事ニ相成候ニ付各月ノ分翌月十日本課著ヲ期シ夫々報告相成度尚ケーブル障碍ニ關シテハ左記ノ通リ處理アリ度

追而貴區内特設局ノ分モ本報告ニ準ジ夫々取纏メ遲滯ナク報告セラレ度

記

一、ケーブル障碍ニ起因シ不通加入者二十名以上罹障ノ時ハ障碍發生ノ日時場所障碍程度等ヲ電報スルコト

二、前項恢復シタルトキ及不通加入者二十名未滿ノケーブル障碍發生ノ時ハ其日時及障碍原因竝ニ其經過ヲ書面ヲ以テ速ニ報告スルコト

年　月中　局市内電話障碍報告

年　月　日

種目	總度數	内譯							
		隣線	混線	地氣	調度不良	接點不良	電流微弱	絶線不良	其他
送話器及同用紐									

〔樺通〕

局内																				
交換																				
接續						紐回路											加入			
受話器及同用紐	送受話器ジヤツク	プラグ	接續紐	繼電器	各種線輪	プラグ開閉器	終話表示器	取付線		計	ジヤツク	表示器								

障																				
配線						機														
本配線盤又ハ試驗分線盤						出中繼線回路					回路		者線							
	取付線	彈條	可熔片管	熱線輪	炭素避雷器	計	補助信號回路	計	取付線	ジヤツク	計		取付線							

盤	盤	碍											
		發電裝置									局內線	雜	原因不明
	計	發電機及發動機	蓄電池	一次電池	可熔片	磁石發電器	自動變極器	電力盤		計			

〔樺通〕

〔樺通〕

小計	加入者宅內												
	電話器												
	送電器			受話器	受話器紐	四心入紐	五心入紐	電鈴	發電機	自働轉換器		誘導線輪	
	デルヴイル	ソリッドバック	紐										

内障碍												市	
計	電池						轉換器	保安器	室内線	原因不明	小計	架空裸線	架空ケーブル
	レクランシー	重力電池	乾電池	取付線		計							

〔樺通〕

〔樺通〕

内線路障碍							合計	一線平均局内障害	一線平均市内障害	一電話機平均加入者室内障害	一電話器平均總障害	附	
地下ケーブル	加入者引込線	條繫線	配線函		原因不明	小計						加入者回線數	電話機數

●加入者電池保守ニ關スル件

昭和二年二月十日
遞工第一八一號

各區擔當主任一般（大泊無線區ヲ除ク）

右ニ關シテハ從來貴區ニ於テ鋭意保守ノ任ニ當リタル結果其ノ成績ニ相當見ルベキモノアリト雖モ未ダ若干不備ノ點モ有之哉ニ思料セラルヽニ付自今一層ノ注意ヲ拂フト共ニ左記各項ヲ勵行シ保守上遺漏ナキヲ期セラレ度

記

一(イ)加入者ニ使用ノ乾電池ハ一加入者ニ付二ケ月一回（通話度數ノ大ナル加入者ハ適宜短縮スヘシ）ノ割合ヲ以テ工夫若クハ職工ヲシテ點檢セシメ不良品ハ直ニ取替ヘ又ハ修理及ヒ障碍ヲ未然ニ防グ等積極的方針ヲトルコト

(ロ)電池ノ點檢ハ檢測ランプヲ以テシ電池ノ良否ヲ白橙赤及不點ノ順ニ分チ白橙赤ハ良トシ不點ノ分ニ對シテハ不良トシテ取替フルモノトス但シ赤色ニ點ズルモ光度極メテ微弱ニシテ取替フル必要ヲ認メタル場合ハ一應試驗擔當者ト通話試驗ヲ行ヒ其ノ結果不良ナルモノニ限リ取替フルモノト

〔樺通〕

記

※記入心得　電信電話事務報告規程市內電話障碍報告ニ依ルヘシ

ス

(ハ)擔當官ハ點檢スヘキ加入者ノ番號ヲ指定シタル點檢表ヲ其ノ前日工夫ニ交付スヘシ

(ニ)點檢者ハ其序デヲ以テ引込線及室內線ノ整否加入者番號札ノ有無ヲ檢シ異狀ヲ認メタル場合ハ能フ限リ修繕シ其旨點檢表相當欄ニ記入シ所屬擔當官ヘ報告スルコト

(ホ)擔當官ハ點檢表ヲ受ケタルトキハ速ニ檢閱ノ上事故アル場合ハ相當處理スヘシ

擔當官ハ豫メ點檢簿ヲ備ヘ置キ夫々必要事項ヲ記錄シ置クモノトス

(ヘ)擔當官ハ點檢表ニ依リ相當處理ノ結果ヲ一ケ年二期ニ分チ之レヲ事故種別ニ區分シ其件數ヲ左記點檢表點檢簿ハ印刷ノ上別途交付ス

期日迄ニ報告スルモノトス

記

前期分ニ對シテハ　十月末日迄

後期分ニ對シテハ　四月末日迄

二　電池乙捻金物ハ一般加入者（新型背面板ヲ除ク）洩レナク取付クル事

三　電話規則第二十八條ニ依ル乙種增設電話機ニシテ電池線廿碼以內ヲ以テ布線シ得ルモノハ共同電池トシ廿一碼以上ヲ要スル場合ハ單獨電池トナスコト但シデルヴイル電話機ノ場合ニ限ル尙共同電池ヲ使用スル場合ニ於ケル施行方法ニ關シテハ別途通牒ス

〔樺通〕

〔樺通〕

電池點檢表

電話番號	點檢 月	點檢 日	記事	加入者印	工夫印

本表ハ汚損セザル様注意スベシ

〔樺通〕

加入者電池點檢簿

電話番號	點檢 月	點檢 日	記事	點檢 月	點檢 日	記事	點檢 月	點檢 日	記事

●回線障碍券交付ノ件

昭和二年三月二十九日
遞工第二八四號

各擔當區一般（大泊無線區ヲ除ク）

別途回線障碍券交付候條電信及市外電話回線ノ障碍ニ際シ受付用紙トシ尚各欄ニ相當事項ヲ記入スルノ外記事欄ニ測定ノ結果回線措置ノ概要等總テヲ記錄シ障碍處理ノ原書竝ニ後日ノ參考ニスル等相當利用相成度

○　○

回線障碍券

年　月　日

試驗者名

受付番號	回線名					
(1) 發日 時 生分	(2) 通知接手日 時 分	(3) 工夫手配又ハ擔當ヘ通知日時分	(4) (2)ト(3)トノ經過時分	(5) 恢復日 時 分	(6) (1)ト(5)トノ經過時分	
前後 , .	前後 , .	前後 , .	, .	前後 , .	, .	

障碍種類

記

障碍區間又ハ位置

事

〔樺通〕

〔樺通〕

●市内電話障碍日計表送付ノ件

昭和二年三月二十二日
遞工第二六四號

各區擔當主任一般（無線區豐原區ヲ除ク）

市内電話障碍日計表ヲ別途送附方取計ヒ置キタルニ付到著ノ上ハ卽時使用スルト共ニ各月報告ノ市内電話障碍報告ノ報告資料トシテ併用セラレ度

追テ本用紙ハ普通局及工手駐在セル特設局ニ限リ使用スルモノトス

【縣通】

〔樺通〕

局市內電話障碍日計表

（昭和　　年　　月　　旬分）

項目	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	十一日	計
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 送話器及同用紐												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 受話器及同用紐												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 送受話器ジャック												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / プラグ												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 接續紐												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 繼電器												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 各種線輪												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 電鍵												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / プラグ開閉器												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 終話表示器												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 取付線												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 /												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 /												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 /												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 其ノ他												
局內障碍 / 交換機 / 接續紐回路 / 計												
局內障碍 / 交換機 / 加入者回線路 / ジャック												
局內障碍 / 交換機 / 加入者回線路 / 表示器												
局內障碍 / 交換機 / 加入者回線路 / 取付線												
局內障碍 / 交換機 / 加入者回線路 /												
局內障碍 / 交換機 / 加入者回線路 / 計												
局內障碍 / 交換機 / 出中繼線回路 / ジャック												
局內障碍 / 交換機 / 出中繼線回路 / 取付線												
局內障碍 / 交換機 / 出中繼線回路 / 計												
局內障碍 / 交換機 / 補助信號回路												
局內障碍 / 交換機 / 計												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 / 炭素避雷器												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 / 熱線輪												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 / 可鎔片管												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 / 彈條												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 / 取付線												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 /												
局內障碍 / 配線盤 / 本配線盤又ハ試驗分線盤 /												
局內障碍 / 配線盤 / 計												
局內障碍 / 發電裝置 / レクランシー電流												
局內障碍 / 發電裝置 / 重力電池												
局內障碍 / 發電裝置 / ダニエル電池												
局內障碍 / 發電裝置 / 乾電池												
局內障碍 / 發電裝置 / 磁石發電機												
局內障碍 / 發電裝置 / 自働變極器												
局內障碍 / 發電裝置 / 八四號TC斷續器												
局內障碍 / 發電裝置 /												
局內障碍 / 發電裝置 /												
局內障碍 / 發電裝置 /												
局內障碍 / 發電裝置 / 計												
局內障碍 / 局內線												
局內障碍 / 雜												
局內障碍 / 原因不明												
局內障碍 / 小計												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 送話器 / デルヴイル												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 送話器 / ソリツトバツク												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 送話器 / 紐												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 受話器												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 受話器紐												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 四芯入紐												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 五芯入紐												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 電鈴												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 發電機												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 自働轉換器												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 誘導線輪												
加入者宅內障碍 / 電話機 /												
加入者宅內障碍 / 電話機 /												
加入者宅內障碍 / 電話機 / 計												
加入者宅內障碍 / 電池 / レクランシー												
加入者宅內障碍 / 電池 / 乾電池												
加入者宅內障碍 / 電池 / 取付線												
加入者宅內障碍 / 電池 /												
加入者宅內障碍 / 電池 / 其ノ他												
加入者宅內障碍 / 電池 / 計												
加入者宅內障碍 / 轉換器												
加入者宅內障碍 / 保安器												
加入者宅內障碍 / 室內線												
加入者宅內障碍 / 原因不明												
加入者宅內障碍 /												
加入者宅內障碍 /												
加入者宅內障碍 / 其ノ他												
加入者宅內障碍 / 小計												
市內線路障碍 / 架空裸線												
市內線路障碍 / 架空ケーブル												
市內線路障碍 / 地下ケーブル												
市內線路障碍 / 加入者引込線												
市內線路障碍 / 線繋線												
市內線路障碍 / 配線函												
市內線路障碍 /												
市內線路障碍 /												
市內線路障碍 /												
市內線路障碍 / 原因不明												
市內線路障碍 / 其ノ他												
市內線路障碍 / 小計												
合計												
當務者之印												
擔當者之印												

●乾電池取扱ニ關スル件

〔縮通〕

昭和二年四月十五日
遞工第二八三號

電信電話取扱局所
擔當區一般

●乾電池取扱ニ關スル件

昭和二年四月十五日
遞工第二八三號

電信電話取扱局所一般
擔當區一般

各局ニ於ケル乾電池ノ取扱方區々ニ渉リ豫備電池ノ保管無キモノ又現用電池ノ狀態ニ無關心ナルモノモアルヤニ認メラレ候ニ就テハ現用ニ對スル相當數量豫備品ヲ備ヘ置クト共ニ時々現用電池ノ點檢ヲ爲シ通信ニ支障ヲ來スガ如キコト無キ樣留意相成度尚通信通話ノ繁閑ニヨリ多少ノ相違アルモ各局ノ所要電池材料ハ大體左記範圍内ニ有之候條各期請求數量ガ左記ニ依ル算出數量超過ノ際ハ請求書ニ事由記入相成度

追而大正十五年九月十五日遞工第四一八號通牒電池票使用ノ件ハ勵行シアルモノト思料スルモ右ノ外電池材料受拂簿(月日交付受數拂出數在庫數用途ノ欄ヲ必要トス)ノ設備無キ向ハ至急設備シ受拂ヲ明瞭ニナシ置カレ度

記

電池材料所要數調(新增設ノ分ヲ含マス)

長平瓶	電池數百ケニ付一ケ月	〇、三五個
楕圓瓶	〃 〃	五、八五
ダニエル電池 銅板	〃 〃	〇、四五
ダニエル電池 亞鉛板	〃 〃	一、六五

亞鉛銅板	〃	一四、〇〇	
重力電池	亞鉛　電池數十ケニ付一ケ月	一、九個	
	銅　〃	〇、四個	
	外瓶　〃	〇、〇五個	
丹礬	ダニエル電池百ケニ付	三貫	
	重力電池十ケニ付	一、五貫	
乾電池	電信用乾電池百ケニ付	一六個	
	電話用同	八個	

●市内電話障碍防遏ノ件

昭和二年八月二十日
遞工第九〇九號

各區擔當主任一般（無線區ヲ除ク）

市内電話保守ニ對シテハ充分配意ノコトヽ察スルモ客年十二月以降六ケ月間ニ於ケル普通局障碍數ヲ遞信省全國平均數竝ニ各遞信局ノ内比較的當管内ト類似ノ局ヲ撰定比較スルニ土地ノ狀況等ニ關係少ナキ局内及宅内障碍成績ガ甚シク劣レルハ遺憾ノ次第ニ付自今左記標準ヲ定メ罹障輕減方一層配意相成度

記

加入者障碍數標準

障碍種別	割合	摘要
局内障碍	〇、五	本割合ハ十四線當リ一ケ月間ノ障碍數
線路障碍	〇、六	〃
宅内障碍	〇、九	〃　十電話機當リ一ケ月間ノ障碍數

●電信電話機械類豫備數標準ノ件

昭和二年八月三十一日
遞工第九〇二號

電信電話取扱局所長
擔當技術官一般

電信電話機械類豫備數左ノ通リ相定候條了知相成度
追而右標準ニ比シ豫備數不足ノ向ニ對シテハ在庫ノ都合ヲ見計ヒ漸次補塡シ又特ニ必要アル局所以外ニ於テ右標準ヲ超過シ居ル向ニ對シテハ不日返納ヲ命ズル見込ニ付了知相成度尚不良豫備品ハ遲滯ナク修繕方取計フ等適當ナル方法ヲ講シ何時ナリトモ使用シ得ル樣留意相成度

電話機械豫備數標準

品名 ＼ 現用數量	一個	二個	三個	四個	六個迄	八個迄	一〇個迄	一五個迄	二〇個迄	三〇個迄	四〇個迄	備考
甲種單流電鍵	一	一	二	二	三	四	五	七	八	一〇	一二	以上現用一〇個ヲ增ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス
中繼電鍵	一	一	二	二	三	四	五	七	八	一〇	一二	

	臺	機	鍵盤鑽孔	集音函	自働受信機	自働送信機	丙種繼電器	乙種繼電器	甲種繼電器	ミーメン繼電器	音響器	差示電流計	五〇又ハ七五ミリアンペア	差示検電器	龜甲形檢電器	複流電鍵	
〔構通〕	一	一	一	〇	二	二	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一	
	二	二	二	〇	三	三	三	三	三	一	一	一	一	一	一	一	
	一	二	三	一	四	四	三	三	三	二	二	二	二	二	二	二	
	二	三	四	一	五	五	四	四	四	二	二	二	二	二	二	二	
	二	四	五	二	六	六	五	五	五	三	三	三	三	三	三	三	
	三	四	六	二	六	六	六	六	六	四	四	四	四	四	四	四	
	三	五	六	三	七	七	七	六	七	五	五	五	五	五	五	五	
	四	五	七	三	八	八	一〇	一〇	一〇	七	七	七	七	七	七	七	
	五	六	八	四	一〇	一一	一三	一三	一三	八	八	八	八	八	八	八	
	六	七	九	四	一二	一二	一六	一六	一六	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	
	七	八	一〇	五	一四	一四	一八	一八	一八	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	
	八	九	一一	五	一六	一六	〃	〃	〃	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	
	九	一〇	一二	六	一八	一八	以上現用一〇個ヲ増ス	以上現用一〇個ヲ増ス	以上現用一〇個ヲ増ス	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	
	一〇	一一	一三	六	二〇	二〇	毎ニ豫備五個ヲ加算ス	毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備二個ヲ加算ス	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	
	一一	一二	一四	七	二二	二二	〃	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一〇個ヲ加算ス	〃	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	
	一二	一三	一五	七	二四	二四	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一〇個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一〇個ヲ加算ス	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	
	一三	一四	一六	八	二六	二六	〃	〃	〃	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	
	一四	一五	一七	八	二八	二八	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	
	一五	一六	一八	九	三〇	三〇	〃	〃	〃	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	
	一六	一七	一九	九	三二	三二	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
	一七	一八	二〇	一〇	三四	三四	〃	〃	〃	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	
	一八	一九	二一	一〇	三六	三六	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	
	一九	二〇	二二	一一	三八	三八	〃	〃	〃	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	
	二〇	二一	二三	一一	四〇	四〇	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	
	二一	二二	二四	一二	四二	四二	〃	〃	〃	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	
	二二	二三	二五	一二	四四	四四	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	
	二三	二四	二六	一三	四六	四六	〃	〃	〃	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	
	二四	二五	二七	一三	四八	四八	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	
	二五	二六	二八	一四	五〇	五〇	〃	〃	〃	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	
	二六	二七	二九	一四	五二	五二	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	
	二七	二八	三〇	一五	五四	五四	〃	〃	〃	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	
	二八	二九	三一	一五	五六	五六	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	
	二九	三〇	三二	一六	五八	五八	〃	〃	〃	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	
	三〇	三一	三三	一六	六〇	六〇	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	
	三一	三二	三四	一七	六二	六二	〃	〃	〃	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	
	三二	三三	三五	一七	六四	六四	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	
	三三	三四	三六	一八	六六	六六	〃	〃	〃	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	
	三四	三五	三七	一八	六八	六八	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	
	三五	三六	三八	一九	七〇	七〇	〃	〃	〃	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	
	三六	三七	三九	一九	七二	七二	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	
	三七	三八	四〇	二〇	七四	七四	〃	〃	〃	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	
	三八	三九	四一	二〇	七六	七六	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	
	三九	四〇	四二	二一	七八	七八	〃	〃	〃	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	
	四〇	四一	四三	二一	八〇	八〇	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	
	四一	四二	四四	二二	八二	八二	〃	〃	〃	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	
	四二	四三	四五	二二	八四	八四	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	
	四三	四四	四六	二三	八六	八六	〃	〃	〃	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	
	四四	四五	四七	二三	八八	八八	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	
	四五	四六	四八	二四	九〇	九〇	〃	〃	〃	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	
	四六	四七	四九	二四	九二	九二	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	
	四七	四八	五〇	二五	九四	九四	〃	〃	〃	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	
	四八	四九	五一	二五	九六	九六	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	九四	九四	九四	九四	九四	九四	九四	
	四九	五〇	五二	二六	九八	九八	〃	〃	〃	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	
	五〇	五一	五三	二六	一〇〇	一〇〇	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	
	五一	五二	五四	二七	一〇二	一〇二	〃	〃	〃	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	
	五二	五三	五五	二七	一〇四	一〇四	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	一〇二	
	五三	五四	五六	二八	一〇六	一〇六	〃	〃	〃	一〇四	一〇四	一〇四	一〇四	一〇四	一〇四	一〇四	
	五四	五五	五七	二八	一〇八	一〇八	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	一〇六	
	五五	五六	五八	二九	一一〇	一一〇	〃	〃	〃	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	一〇八	
	五六	五七	五九	二九	一一二	一一二	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	
	五七	五八	六〇	三〇	一一四	一一四	〃	〃	〃	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	一一二	
	五八	五九	六一	三〇	一一六	一一六	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	一一四	一一四	一一四	一一四	一一四	一一四	一一四	
	五九	六〇	六二	三一	一一八	一一八	〃	〃	〃	一一六	一一六	一一六	一一六	一一六	一一六	一一六	
	六〇	六一	六三	三一	一二〇	一二〇	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	以上現用一〇個ヲ増ス毎ニ豫備一個ヲ加算ス	一一八	一一八	一一八	一一八	一一八	一一八	一一八	

管内各現業局豫備電話機數標準

現用電話機數ニヨル局ノ種別	電話機	現用電話機數ニヨル局ノ種別	電話機	現用電話機數ニヨル局ノ種別	電話機
電話機現用數三個迄ノ局	一	四一個以上六〇個 同	四	一〇一個以上一二〇個 同	七
四個以上二〇個 同	二	六一個以上八〇個 同	五	一二一個以上一四〇個 同	八
二一個以上四〇個 同	三	八一個以上一〇〇個 同	六	一四一個以上一六〇個 同	九

	加減抵抗器	電池抵抗器	二千オーム抵抗器	甲種遲流抵抗器	乙種遲流抵抗器	四又ハ七二五マイクロフアラッド加減蓄電器	電信避雷器	電信可鎔遮斷器	電信熱線輪	
〔構通〕	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	
	二	二	一	一	一	一	一	〇	〇	
	二	二	一	一	一	二	一	〇	〇	
	三	三	二	二	二	二	一	一	一	
	三	四	二	二	二	二	一	一	一	
	四	四	二	二	二	三	一	一	一	
	四	五	二	二	二	三	一	一	一	
	五	六	二	二	二	四	一	一	一	
	五	六	二	二	二	四	一	一	一	
	六	七	二	二	二	四	一	一	一	
	六	七	二	二	二	四	一	一	一	
	七	八	二	二	二	四	一	一	一	
	七	八	二	二	二	四	一	一	一	
	八	九	二	二	二	四	一	一	一	
	八	九	二	二	二	四	一	一	一	
	九	一〇	二	二	二	四	一	一	一	
	九	一〇	二	二	二	四	一	一	一	
	一〇	一一	二	二	二	四	一	一	一	
	一〇	一一	二	二	二	四	一	一	一	
	一一	一二	二	二	二	四	一	一	一	
	一一	一二	二	二	二	四	一	一	一	
	一二	一三	二	二	二	四	一	一	一	
	一二	一三	二	二	二	四	一	一	一	
	一三	一四	二	二	二	四	一	一	一	
	一三	一四	二	二	二	四	一	一	一	
	一四	一五	二	二	二	四	一	一	一	
	一四	一五	二	二	二	四	一	一	一	
	一五	一六	二	二	二	四	一	一	一	
	一五	一六	二	二	二	四	一	一	一	
	一六	一七	二	二	二	四	一	一	一	
	一六	一七	二	二	二	四	一	一	一	
	一七	一八	二	二	二	四	一	一	一	
	一七	一八	二	二	二	四	一	一	一	
	一八	一九	二	二	二	四	一	一	一	
	一八	一九	二	二	二	四	一	一	一	
	一九	二〇	二	二	二	四	一	一	一	
	一九	二〇	二	二	二	四	一	一	一	
	二〇	二一	二	二	二	四	一	一	一	
	二〇	二一	二	二	二	四	一	一	一	
	二一	二二	二	二	二	四	一	一	一	
	二一	二二	二	二	二	四	一	一	一	
	二二	二三	二	二	二	四	一	一	一	
	二二	二三	二	二	二	四	一	一	一	
	二三	二四	二	二	二	四	一	一	一	
	二三	二四	二	二	二	四	一	一	一	
	二四	二五	二	二	二	四	一	一	一	
	二四	二五	二	二	二	四	一	一	一	
	二五	二六	二	二	二	四	一	一	一	
	二五	二六	二	二	二	四	一	一	一	
	二六	二七	二	二	二	四	一	一	一	
	二六	二七	二	二	二	四	一	一	一	
	二七	二八	二	二	二	四	一	一	一	
	二七	二八	二	二	二	四	一	一	一	
	二八	二九	二	二	二	四	一	一	一	
	二八	二九	二	二	二	四	一	一	一	
	二九	三〇	二	二	二	四	一	一	一	
	二九	三〇	二	二	二	四	一	一	一	
	三〇	三一	二	二	二	四	一	一	一	
	三〇	三一	二	二	二	四	一	一	一	
	三一	三二	二	二	二	四	一	一	一	
	三一	三二	二	二	二	四	一	一	一	
	三二	三三	二	二	二	四	一	一	一	
	三二	三三	二	二	二	四	一	一	一	
	三三	三四	二	二	二	四	一	一	一	
	三三	三四	二	二	二	四	一	一	一	
	三四	三五	二	二	二	四	一	一	一	
	三四	三五	二	二	二	四	一	一	一	
	三五	三六	二	二	二	四	一	一	一	
	三五	三六	二	二	二	四	一	一	一	
	三六	三七	二	二	二	四	一	一	一	
	三六	三七	二	二	二	四	一	一	一	
	三七	三八	二	二	二	四	一	一	一	
	三七	三八	二	二	二	四	一	一	一	
	三八	三九	二	二	二	四	一	一	一	
	三八	三九	二	二	二	四	一	一	一	
	三九	四〇	二	二	二	四	一	一	一	
	三九	四〇	二	二	二	四	一	一	一	
	四〇	四一	二	二	二	四	一	一	一	
	四〇	四一	二	二	二	四	一	一	一	
	四一	四二	二	二	二	四	一	一	一	
	四一	四二	二	二	二	四	一	一	一	
	四二	四三	二	二	二	四	一	一	一	
	四二	四三	二	二	二	四	一	一	一	
	四三	四四	二	二	二	四	一	一	一	
	四三	四四	二	二	二	四	一	一	一	
	四四	四五	二	二	二	四	一	一	一	
	四四	四五	二	二	二	四	一	一	一	
	四五	四六	二	二	二	四	一	一	一	
	四五	四六	二	二	二	四	一	一	一	
	四六	四七	二	二	二	四	一	一	一	
	四六	四七	二	二	二	四	一	一	一	
	四七	四八	二	二	二	四	一	一	一	
	四七	四八	二	二	二	四	一	一	一	
	四八	四九	二	二	二	四	一	一	一	
	四八	四九	二	二	二	四	一	一	一	
	四九	五〇	二	二	二	四	一	一	一	
	四九	五〇	二	二	二	四	一	一	一	
	五〇	五一	二	二	二	四	一	一	一	
	五〇	五一	二	二	二	四	一	一	一	
	五一	五二	二	二	二	四	一	一	一	
	五一	五二	二	二	二	四	一	一	一	
	五二	五三	二	二	二	四	一	一	一	
	五二	五三	二	二	二	四	一	一	一	
	五三	五四	二	二	二	四	一	一	一	
	五三	五四	二	二	二	四	一	一	一	
	五四	五五	二	二	二	四	一	一	一	
	五四	五五	二	二	二	四	一	一	一	
	五五	五六	二	二	二	四	一	一	一	
	五五	五六	二	二	二	四	一	一	一	
	五六	五七	二	二	二	四	一	一	一	
	五六	五七	二	二	二	四	一	一	一	
	五七	五八	二	二	二	四	一	一	一	
	五七	五八	二	二	二	四	一	一	一	
	五八	五九	二	二	二	四	一	一	一	
	五八	五九	二	二	二	四	一	一	一	
	五九	六〇	二	二	二	四	一	一	一	
	五九	六〇	二	二	二	四	一	一	一	
	六〇	六一	二	二	二	四	一	一	一	
	六〇	六一	二	二	二	四	一	一	一	
	六一	六二	二	二	二	四	一	一	一	
	六一	六二	二	二	二	四	一	一	一	
	六二	六三	二	二	二	四	一	一	一	
	六二	六三	二	二	二	四	一	一	一	
	六三	六四	二	二	二	四	一	一	一	
	六三	六四	二	二	二	四	一	一	一	
	六四	六五	二	二	二	四	一	一	一	
	六四	六五	二	二	二	四	一	一	一	
	六五	六六	二	二	二	四	一	一	一	
	六五	六六	二	二	二	四	一	一	一	
	六六	六七	二	二	二	四	一	一	一	
	六六	六七	二	二	二	四	一	一	一	
	六七	六八	二	二	二	四	一	一	一	
	六七	六八	二	二	二	四	一	一	一	
	六八	六九	二	二	二	四	一	一	一	
	六八	六九	二	二	二	四	一	一	一	
	六九	七〇	二	二	二	四	一	一	一	
	六九	七〇	二	二	二	四	一	一	一	
	七〇	七一	二	二	二	四	一	一	一	
	七〇	七一	二	二	二	四	一	一	一	
	七一	七二	二	二	二	四	一	一	一	
	七一	七二	二	二	二	四	一	一	一	
	七二	七三	二	二	二	四	一	一	一	
	七二	七三	二	二	二	四	一	一	一	
	七三	七四	二	二	二	四	一	一	一	
	七三	七四	二	二	二	四	一	一	一	
	七四	七五	二	二	二	四	一	一	一	
	七四	七五	二	二	二	四	一	一	一	
	七五	七六	二	二	二	四	一	一	一	
	七五	七六	二	二	二	四	一	一	一	
	七六	七七	二	二	二	四	一	一	一	
	七六	七七	二	二	二	四	一	一	一	
	七七	七八	二	二	二	四	一	一	一	
	七七	七八	二	二	二	四	一	一	一	
	七八	七九	二	二	二	四	一	一	一	
	七八	七九	二	二	二	四	一	一	一	
	七九	八〇	二	二	二	四	一	一	一	
	七九	八〇	二	二	二	四	一	一	一	
	八〇	八一	二	二	二	四	一	一	一	
	八〇	八一	二	二	二	四	一	一	一	
	八一	八二	二	二	二	四	一	一	一	
	八一	八二	二	二	二	四	一	一	一	
	八二	八三	二	二	二	四	一	一	一	
	八二	八三	二	二	二	四	一	一	一	
	八三	八四	二	二	二	四	一	一	一	
	八三	八四	二	二	二	四	一	一	一	
	八四	八五	二	二	二	四	一	一	一	
	八四	八五	二	二	二	四	一	一	一	
	八五	八六	二	二	二	四	一	一	一	
	八五	八六	二	二	二	四	一	一	一	
	八六	八七	二	二	二	四	一	一	一	
	八六	八七	二	二	二	四	一	一	一	
	八七	八八	二	二	二	四	一	一	一	
	八七	八八	二	二	二	四	一	一	一	
	八八	八九	二	二	二	四	一	一	一	
	八八	八九	二	二	二	四	一	一	一	
	八九	九〇	二

一六	一個以上一八〇個	同	一〇	三六	一個以上三九〇個	同	
一八	一個以上二〇〇個	同	一一	三九	一個以上四二〇個	同	
二〇	一個以上二二〇個	同	一二	四二	一個以上四五〇個	同	
二二	一個以上二四〇個	同	一三	四五	一個以上四八〇個	同	
二四	一個以上二六〇個	同	一四	四八	一個以上五一〇個	同	
二六	一個以上二八〇個	同	一五	五一	一個以上五四〇個	同	
二八	一個以上三〇〇個	同	一六	五四	一個以上五七〇個	同	
三〇	一個以上三三〇個	同	一七	五七	一個以上六〇〇個	同	
三三	一個以上三六〇個	同	一八	六〇	一個以上六四〇個	同	
一九	六四	一個以上六八〇個	同	二八			
二〇	六八	一個以上七二〇個	同	二九			
二一	七二	一個以上七六〇個	同	三〇			
二二	七六	一個以上八〇〇個	同	三一			
二三	八〇	一個以上八四〇個	同	三二			
二四	八四	一個以上八八〇個	同	三三			
二五	八八	一個以上九二〇個	同	三四			
二六	九二	一個以上九六〇個	同	三五			
二七	九六	一個以上一〇〇〇個	同	三六			

現用電話機數千個以上ノ局ハ現用數五〇個ヲ增ス毎ニ豫備一個ヲ追加ス

備考、一、豫備電話機ハ機械種類ノ變更其他障碍品取換用等ニ供スルモノトス

二、本標準ニ定ムル豫備數ハ各種電話機ヲ包含スルモノトス

第四編　爲替貯金

爲替
貯金
資金及現金受拂
歲入及歲出
雜件

第四編　爲替　貯金

第一類　爲替

●爲替證書調製ニ關スル件

明治四十一年八月二十日
極監第三一〇號

各局長

〔棒通〕

爲替證書用紙ハ調製ノ際金額ヲ誤記シタルトキハ之ヲ廢紙ト爲シ塗抹改竄ヲ許サヽルコトハ規程第十八條第四號ノ明文モ有之候處近來各局所ニ於テハ往々右金額ヲ改竄シ表面又ハ裏面ニ金額證明ノ文言ヲ記載セラルヽ向有之斯クテハ規程ノ趣旨ニ悖ルノミナラス爲替金拂渡上支障不尠候自今右等ノ儀無之樣注意相成度候

●爲替拂金額取調方請求アリタル場合處理方ノ件

明治四十三年十月十日
野田寒局照會

本年一月ヨリ六月ニ至ル六ケ月間ニ於テ當局ニテ拂渡シタル爲替拂渡金額取調方ヲ爲替受取人ヨリ願出タル場合ハ便宜之ニ應シ差支ナキ哉聊カ疑義ニ渉リ候條御指示相煩度候追テ爲替受取人ハ火災ニ罹リ總テ書類ヲ燒失セシタメ前記ノ必要ヲ生シタル趣ニ付爲念申添候

通信課回答(明治四十三年十月十八日)

爲替拂渡金額取調方請求アリタル場合ニ於ケル處理ノ件ハ受取人ノ自己ノ爲ニスル請求ナラハ便宜之ニ應シ差支無之候

●拾得屆出ニ係ル受取人無指定小爲替證書處理方ニ關スル件

大正十二年九月十四日
遞監第三二七五號

各郵便局長

右ニ關シテハ爾來遞信省ニ於テ内務省ト協議中ノ處今般左記ノ通取扱フコトニ協定相成リタル趣ニ付了知相成度

記

受取人無指定郵便小爲替證書拾得屆出アリタル場合ノ取扱方

一、警察官署ニ於テ有效期間内ニ於ケル郵便小爲替證書ノ拾得屆出アリタルトキハ其ノ記號番號振出局名同月日竝ニ金額等相當臺帳ニ登錄シ直ニ該證書ヲ貯金局ニ送付スルコト

二、貯金局ニ於テ前項ノ爲替證書ニ對シ有效期間内ニ再度證書ノ發行又ハ爲替金拂戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ請求者ニ對シ爲替證書ハ警察官署ニ拾得屆出アル旨ヲ通知シ一面警察官署ニ對シ當該證書ヲ送付スルコト

三、貯金局ニ於テハ第一項ノ爲替證書ニ對シ有效期間經過後再度證書ノ發行若クハ爲替金拂戻ノ請求

〔轉通〕

〔横通〕

ヲ受ケタルトキハ警察官署ニ其ノ旨通知シ一面請求人ニ對シテハ警察官署ニ拾得屆出アンモノニ付警察官署ニ出頭ノ上相當措置ヲ了スヘキ旨ヲ通知スルコト

四、警察官署ニ於テ前二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ再度證書ノ發行又ハ爲替金拂戻請求者ト拾得者トノ間ニ措置ヲ了セシメタル上貯金局ニ其ノ旨ヲ通知スルコト此ノ場合ニ於テハ該請求者ヲシテ拾得者ニ對シ遺失物法ノ規定ニ準シ報勞金ヲ贈與セシムルコト

五、貯金局ニ於テ前項通知ヲ受ケタルトキハ一般ノ例ニ依リ相當措置スルコト

六、第一項ノ場合ニ於テ警察官署ヨリ爲替證書ノ送付前貯金局ニ於テ既ニ再度證書ノ發行ヲ爲シ又ハ爲替金ノ拂戻ヲナシタルモノハ直ニ警察官署ニ其ノ旨ヲ通知シ警察官署ハ拾得者ニ其ノ屆出ニ係ル小爲替證書無效ノ旨ヲ通知スルコト

七、小爲替證書ノ有效期間ヲ經過シタルモノノ拾得屆出アリタル場合ニ於テハ警察官署ハ其ノ無效ナル旨ヲ拾得者ニ指示シ之カ害用ノ弊ヲ防ク爲メ任意警察官署ニ提供セシメ直チニ貯金局ニ送付スルコト

八、警察官署ニ於テハ有效期間ヲ經過セサル爲替證書拾得ノ屆出後一年ヲ經過シタルトキハ遺失物法ニ依ル取扱ヲ爲サス拾得者ニ對シテハ郵便爲替法トノ關係ヲ告知シ警察官署ニ於テ臺帳ノ登錄事項ヲ抹消セス其ノ儘處理シ置クコト

九、前項ノ場合ニ於テ警察官署ニ於テ第三項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遺失物法ノ規定ニ準シ第四項ト同一ノ措置ヲ了セシムルコト

一〇、再度證書ノ發行又ハ爲替金拂戻ノ請求ナクシテ爲替證書ノ有效期間經過後三年間ヲ經過シタルトキハ爲替法ノ規定ニ依リ郵便官署ニ於テ爲替金ノ國庫歸屬處分ヲナスヘキニ付警察官署ニ於テハ臺帳中之ニ該當スヘキ爲替證書ヲ調査シ臺帳記載事項ヲ抹消シ事件ノ結了トナスコト

●小爲替證書金額表示欄切取方不良ノ件

大正十三年二月十六日
遞監第五〇六號

各郵便局長

近來小爲替證書金額改描詐取事故頻發シ其ノ被害少カラサル處之等ハ證書金額表示欄切取方不完全ナル爲附著ノ儘交付セルヲ奇貨トシ巧ニ之ヲ補修シタル結果拂渡ニ際シ變造ナルコトヲ覺知シ得サリシモノ少カラス最近名古屋遞信局ニ於テ此種事故ヲ調査セルニ當管內振出ニ係ルモノヲモ發見シタル趣ニ付取扱上一層注意相成度

●通常爲替振出請求書ノ件

大正十三年五月二十四日
遞監第二一三一號

各郵便局長

振出請求書ノ差立方遲延スルトキハ拂渡局ニ於テ受取人ヨリ拂渡ヲ請求セラルルモ其ノ拂渡ヲ取扱フコト能ハス受取人ノ迷惑不尠ニ付最モ速達スヘキ差立便ニ依リ發送スル義ニ有之候處各局（就中鐵道

沿線各局）中ニハ差立便アルニ不拘爲替事務締切後ニ於テ取纏メ發送スル向有之哉ニ聞及ヒ候處如斯ハ甚タ不都合ニ付爾後差立便ノ都度遲滯ナク發送方勵行セラレ度若シ夫今後改善セラレサル向ニ對シテハ假借ナク處分セラルヘキニ付當務者ヲ督勵シ萬遺漏ナキヲ期ラレ度

●爲替證書用紙請求ニ關スル件

大正十四年九月十日
遞監第三二六八號

各郵便局長

近時爲替證書用紙缺乏事故頻出ノ處中ニハ其殘數カ數日乃至十數日分ナルニ氣附遽ニ電報ヲ以テ交付方請求セラルル向モ有之哉ニ聞及候處右ハ違則ノ扱ナルノミナラス處理上支障不尠ニ付爾後（爲替取扱規程第百二十九條同第百三十一條參照）當務者ヲ督勵シ每日其ノ殘數調査ヲ勵行セシメ必ス一ケ月前ニ請求セラルル向モ有之哉ニ聞及候處右ハ違則ノ扱ナルノミナラス處理上支障不尠ニ付爾後（爲替取扱規程第百二十九條同第百三十一條參照）當務者ヲ督勵シ每日其ノ殘數調査ヲ勵行セシメ必ス一ケ月前ニ請求セラルル樣手配相成度

●外國郵便爲替ノ振出金額制限ニ關スル件

大正十四年十月三十日
遞第七一三號內務部長

各郵便局長

客月二十九日遞信省告示第千四百三十二號ヲ以テ米國向郵便爲替ノ振出制限ニ關スル大正十三年三月

遞信省告示第四百一號廢止セラレ候處右ハ外國郵便爲替規則第十六條ニ依リ米國ノミナラス一般ニ必要アル場合ハ振出ノ制限ヲ爲シ得ルニ至リタル結果ニシテ必スシモ無制限ニ振出ヲ許容スル義ニ無之候

郵便官署ニ於ケル外國郵便爲替ノ換算割合ハ日々之ヲ改正スルモ尚且ツ及ハス往々市場相場ニ比シ爲替料ヲ支拂ヒテモ郵便爲替ニ依リ送金スル方有利ナル程低廉ナル場合ヲ生シ此ノ機ニ乘シ公衆ハ其ノ差ヲ利セムトシ郵便爲替ヲ投機的射利ノ具ニ濫用スルノ虞ナキヲ保シ難ク延テ遞信省又ハ關係外國郵便政廳ノ理由ナキ損失ヲ釀スコトナシト云フヘカラス斯ノ如キハ事業本來ノ目的ニ反スル次第ニ有之畢竟外國郵便爲替規則第十六條ノ規定ハ右ノ如キ投機的振出ヲ防止スルノ趣旨ニ外ナラサル義ニ付若シ爲替ノ多額振出ヲ請求スル者アルトキハ右ノ趣旨ニ依リ外國郵便爲替取扱規程第十四條ヲ適用シ相當處理可相成候

追テ取扱規程第十四條第一項ニ所謂多額振出ハ大體二千圓以上ノ金額ト見做シ處理セラルヘク尤モ相場ノ低廉ナルニ乘シ郵便爲替ヲ投機的射利ノ具ニ供スルコト明瞭ナル場合ハ金額ニ不拘同條第二項ニ依リ處理相成度

●爲替拂渡ニ關スル件

大正十五年六月三十日
遞監第二八三四號

各郵便局長

爲替金拂渡等ノ場合本名外ノ稱號屋號等ヲ以テスル記名調印式ニ關シテハ爲替取扱規程第六條ニ明示

〔棒通〕

アルニモ拘ラス拂濟證據書ヲ檢スルニ違式ノモノ多シ成規ノ履行ハ後日拂渡等ニ關スル係爭ヲ裁斷スル上ニ於テモ亦肝要ト認メラルルニ付爾今商號雅號藝名等ヲ以テ各種ノ請求ヲナスモノアル時ハ必ス其ノ名稱ヲ肩書シテ記名調印セシムルカ又ハ商號雅號藝名等ヲ記載シ之ニ對スル印章ヲ押捺セシムル樣勵行相成度

例ヘハ

松坂屋呉服店　松坂屋呉服店

トスルカ又ハ

松坂屋呉服店
店主　松坂太郎㊞

トスルカ如シ

●爲替證書發行方等ニ關スル件

大正十五年七月十日
遞監第三〇二二號

各郵便局長

爲替證書及貯金通帳等直接現金出納ニ關係アル書類ノ金額記載方ニ關シテハ屢注意ヲ促シ置キタルニモ不拘今尚赤色又ハ紫色インキ等ヲ使用スル向アリ本件處理ノ適否ハ事故防遏上緊要ト認メラルルニ付爾今左記勵行方格段ノ注意ヲ拂ハレ度

記

一、金額文字ハ可成黒書スルカ又ハ黒肉金額印ヲ使用シ圓位ニ止メタルモノハ「也」ヲ附シ不正ノ徒ヲシテ乘スルノ機會ナカラシムルコト

二、金額印使用ノ場合ハ文字ノ間隔ヲ密接シ他ノ作爲ヲ加フル餘地ナカラシムルコト

三、インキ使用ノ場合ハ必ス黒色又ハ黒色類似ノモノヲ使用シ散漫消滅ノ處勘カラシムルコト

此際可成「日ノ丸インキ」又ハ「トキワインキ」ヲ使用スルコトハ適當ノ措置ト認メラル

●各種拂渡證書ノ有效期間ニ關スル件

大正十五年十月二十日
遞監第四三二五號
各郵便局長

近時有效期間經過後ノ各種拂渡證書ニ對シ漫然拂渡ヲナス向多シ其ノ都度注意ヲ促シ置ケルモ尙左記各項篤ト注意シ斯種事故ノ根絶ヲ期セラレ度

記

一、通常爲替、電信爲替、小爲替

イ、島内各局相互間振出ノモノ發行ノ翌日ヨリ六十日間

ロ、内地朝鮮、臺灣、關東廳管内振出ノモノ發行ノ翌日ヨリ百二十日間

ハ、南洋廳管内振出ノモノ發行ノ翌日ヨリ九十日間

ニ、島外各局所振出ノ通常爲替證書及電信爲替證書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日迄有效期間ニ算入セス

〔樺通〕

二、貯金拂戻證書振替貯金拂出證書

イ、發行ノ翌日ヨリ九十日間

ロ、毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日迄有效期間ニ算入セス

三、振替貯金局待拂拂出證書

振出ノ日附ヨリ起算シ七日間

注意　但シ期間滿了日カ日曜祭日等ニ相當シ爲替貯金ノ取扱ヲナササルトキハ其ノ翌日ヲ以テ滿了トス

●電信爲替證書發行ニ關スル件

大正十五年十月三十日
遞監第四六四八號
各郵便局長

爲替電報中相違又ハ不明瞭ノ廉アルモノニ對シ漫然證書發行ノ爲メ記番號ト振出局名ト不符合ノモノ多シ爾今該電報ヲ受領シタルトキハ郵便電信電話官署名錄末尾ニ輯錄ノ爲替貯金記號表ニ對照シ其ノ相違ナキコトヲ確メ且ツ可成局名及記號ハ所定ノ文字（主トシテ局名ハ漢字）ヲ以テ記載相成度尙管内ニ於ケル一覽表別表通ニ有之候

局番號及爲替貯金記號一覽表

〔樺通〕

局番號	爲替貯金記號	局名
樺太一	連い	大泊
同二	同は	豐原
同三	同に	榮濱
同四	同ほ	眞岡
同五	同へ	敷香
同六	同と	久春内
同七	同ち	名好
同八	同り	海馬島
同九	同ぬ	留多加
同一〇	同る	東白浦
同一一	同を	大泊楠溪
同一二	同わ	野田
同一三	同か	富内
同一四	同よ	泊居
同一五	同た	長濱
同一六	同れ	鵜城
同一七	同そ	本斗
同一八	同つ	蘭泊
同一九	同ね	元泊
同二〇	同な	大谷
同二一	同ら	萌菱
同二二	同む	眞岡北濱
同二三	同う	散江
同二四	同ゐ	惠須取
同二五	同の	南名好
同二六	同お	遠淵
同二七	同く	

（樺通）

局番號	爲替貯金記號	局名
同二八	同や	名寄
同二九	同ま	小沼
同三〇	同け	落合
同三一	同ふ	雨龍
同三二	同こ	廣地
同三三	同え	小能登呂
同三五	同あ	女麗
同三六	同さ	内幌
同三七	同き	並川
同三八	同ゆ	登帆
同三九	同め	追手
同四〇	同み	泊岸
同四一	同し	麻内
同四二	同ゑ	安別
同四三	同ひ	川上炭山
同四四	同も	宗仁
同四五	同せ	内砂
同四六	同す	内路
同四七	同い	逢坂
同四八	同は	知取
同四九	同い	豐原西一條
同五〇	同い	大泊榮町
同五一	同い	彌滿
同五二	同い	貝塚
同五三	同い	多蘭内
同五四	同い	泥川
同五五	同い	大榮
同五六	同い	珍内

（樺通）

同	五七	同	いを	喜美内	同
同	五八	同	いわ	馬群潭	同
同	五九	同	いか	二	股
同	六〇	同	いよ	大泊本町	

備考　連ろ樺太二二連む樺太三四連て缺番

❶爲替證書不著取調方ニ關スル件

昭和二年八月三十一日
遞監第二二九二號

各郵便局長

爲替證在裡郵便物不著又ハ在裡爲替證書ノミ不著ニ關シ差出人ヨリ取調方申告アリタル場合ハ事實調査ノ上爾今左記樣式ニ依リ報告相成度

追テ該報告ニ依リ相當調査措置ノ上結果通報スヘキニ付各局ニ於テ拂濟證書ヲ取寄調査シ又ハ繼送局配達局等ニ對シ直接照會スル等ノコト無之樣留意相成度

記

文書番號　　年　月　日

遞信局長宛

爲替證書不著報告

……局　長

【樺通】

郵便物種別
差出月日又ハ
引受月日番號
差立月日便名宛先
受取人住所氏名
差出人住所氏名
在裡品
事故ノ要領
調査上參考トナルヘキ事項
其ノ他

（通達證寫添付ノコト）

（郵便物ノ不著或ハ證書ノミノ不著ナル旨明記シ且申告ノ要領モ記入ノコト）

❶爲替證書廢止手續ニ關スル件

昭和二年九月十日
遞監第二〇五九號

各郵便局長

證書送達ヲ要スル爲替證書（取立金爲替證書ヲ含ム）ノ拂渡局所ニ到著セサルコトヲ覺知シ爲替取扱規程第九十二條第三號ニ依リ證書再發ノ場合ニハ廢紙ト爲レル受領證書及原符ニ其ノ事由ヲ記載シ日附印ヲ押捺スルノ外原證書ノ番號及振出年月日ヲモ附記セラルル樣貯金局ヨリ依賴越シタルニ付將來注意相成度

●郵便切手類及收入印紙買受代金取扱ノ件

大正二年十二月
廳令第四十四號

郵便切手類及收入印紙買受代金ハ樺太廳長官ニ於テ必要ト認メタル郵便局ニ限リ特ニ無料電信爲替ト
シテ取扱フコトヲ得

●切手類買受ニ關スル件

大正七年十一月二十八日
遞監第一八五四號内務部長

各郵便局長

大正二年十二月廳令第四十四號ニ依リ切手類及印紙買受代金ヲ無料電信爲替ニテ送金スルヲ得ル局ヲ
左記ノ通指定シ急速ヲ要スル場合ニ限リ一ケ月四回迄之ニ依ルヲ得其ノ他ハ通常爲替ニ依ルコトト相
定メ十二月一日ヨリ實施候條濫用ニ渉ラサル樣留意利用相成度右通牒ス

記

散江　敷香　泊岸　海馬島　鵜城　惠須取　名好　安別　萠菱　内路　宗仁　泥川　彌滿　珍内

〔樺通〕

第二類　貯金

●減額拂戻證書發行ノ場合表示方ノ件

明治四十四年七月二十九日
通第七八三號通信課

各局

郵便貯金全拂ノ請求アリタルトキ何等カノ事故アリテ貯金局ニ於テ拂戻金ヲ減額シ發行スル拂戻證書
ハ拂渡局ニ於テ通帳ト拂渡ノ契印ヲ爲シ得サルモノニシテ右ハ過失ニ依リ契印ヲ洩シタルモノト區別
スルノ必要アルニ付爾今貯金局ニ於テ減額拂戻證書ヲ發行シタルトキハ證書右傍ノ欄外下部ニ「減」ノ
文字ヲ記入(炭酸紙使用)セラルヘク候間御了知相成度

●勸業月報整理方ノ件

大正元年九月二十七日
通第一八八號

各局長

勸業月報及同號外ハ發行ノ都度送付致居候處勸業債券元利金竝ニ割增金支拂上對照資料トシテ交付ノ
モノナルニ或ハ公衆ノ申出ニ依リ貸與閱覽セシムルノ向モ有之斯クテハ其間不正漢ヲシテ乘スルノ機會
ヲ得セシムルノ處ナキヲ保シ難ク寒心ニ不堪次第ニ付爾今絕對ニ關係當務者以外ノ者ヲシテ手ヲ觸レ
シメサル樣最モ嚴重ニ整理保管シ且又支拂ニ際シテハ特ニ愼重ノ調査ヲ遂ケ行違ヒナキヲ期セラレ度

〔樺通〕

候依命此段及通牒候也

●貯金記號受持管區ニ關スル件

大正二年四月十九日
通第二九八號

各局

各局ヨリ直接貯金局ニ發送スル貯金通帳其他各種書類ハ其記號ニ依リ各受持局ヘ送付スヘキモノナルニ往々他管區局ヘ誤送スル向アリ斯クテハ不拂手數ヲ要スルノミナラス延テハ預ケ人ノ迷惑トモ相成義ニ付將來充分御留意ノ上受持管區表ニ依リ行違ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

●貯金奬勵ニ關スル件

大正十年十一月一日
遞監第二七四五號

各郵便局長

貯金奬勵方ニ付曩ニ及通牒候處近時學童貯金ノ成績良好ニ赴キ各地各學校ニ於テ貯金ノ取集又ハ出張取扱ヲ希望スルモノ增加ノ傾向アリ各局ニ於テ右申出ニ接シタルトキハ直ニ之ニ應スルハ勿論此機會ニ於テ進ンテ各學校長等ト協議ヲナシ益々之カ奬勵ニ努メラレ度

●貯金預入ニ關スル件

大正十一年十月十八日
遞第九九六號内務部長

各郵便局長

本島居住者ニシテ内地ノ記號ヲ附セル貯金通帳ニ依リ貯金ノ預入又ハ拂戻ヲ爲スモノ多々有之候處此

〔樺通〕

等ノ多クハ内地ト樺太トノ貯金利子割合ヲ知悉セサルモノト被認候條自今樺太ヲ表示セル記號（連恩連又ハ臨連等）以外ノ通帳ヲ以テ預拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ管區移轉（轉居屆未濟ノモノハ同時ニ屆出ヲ要ス）ノ手續ヲ爲サシムル樣懲示セラレ度

追テ及恩ら等ノ記號ハ樺太ト同一原簿所管ノモノニ付右ニ對シテハ管區移轉ノ例ニ依リ單ニ記號更訂ノ手續ヲ爲サシムル義ト了知相成度

〔樺通〕

●据置貯金期間内拂戻ノ件

大正十二年十月二十六日
遞監第三八九九號内務部長

各郵便局長

据置貯金期間内拂戻又ハ證券交付ニ關シテハ必要止ムヲ得サル場合ニ限リ之ヲ認可シ其ノ拂戻金額ノ如キモ必要ノ限度ニ止ムル義ニ付右申請アリタルトキハ慎重ニ調査スヘキハ勿論左記各項ニ留意シ取扱上錯誤ナキヲ期セラレ度

依命通牒ス

追テ右ニ關スル從前ノ通牒ハ自然消滅ト了知アリ度

記

一、据置貯金ノ拂戻承認標準ハ左ノ通ニ付之ニ該當セサルモノハ受理セサルコト

イ、本人若クハ法律上扶養スヘキ者ニ左ノ事實ヲ生シタルトキ

(1)疾病ニ罹リ醫療ニ必要ナル資力ナキ場合

(2)疾病老衰等ニ因リ自活シ能ハサルニ至リタル場合
(3)天災事變ニ遭遇シ生活ノ途ヲ失ヒタル場合
ロ、法人又ハ團體ノ財産ニ屬スル據置貯金ニシテ其ノ法人又ハ團體解散シ特ニ處分ヲ要スルトキ
ハ、以上各號ニ準スヘキ事情アルトキ

二、拂戻又ハ交付申請書ニハ必要金額及事實ヲ詳記セシムルハ勿論場合ニ依リテハ醫師ノ診斷書又ハ官公署ノ證明書ヲ徵シ適宜ノ方法ヲ以テ事實ヲ調査シタル上大體左ノ書式ニ依ル意見書ヲ添付シ當廳ニ提出スルコト

様式

第　號　　年　月　日

樺太廳長官宛

據置貯金期間內拂戻申請ニ付副申

一、通帳記號番號
一、預入氏名
一、貯金拂戻所要額(又ハ交付證券高)及貯金現在高
一、預入ノ年齡職業
一、生活狀態(家族人員家族別職業家族全體ノ一日ノ實收高)
一、第一號イ、ロ、ハニ該當スヘキ事實及拂戻ノ必要ヲ認メタル事由
右據置貯金期間內拂戻申請ニ付審査スルニ事實不得已モノト認ムニ付認可アリ度

何郵便局長㊞

〔樺通〕

三、當廳ニ於テ拂戻ヲ認可シタルトキハ申請者ニ認可書ヲ交付スルニ付拂戻又ハ證券交付ノ請求書若クハ拂戻金受領證ニ之ヲ貼付差出サシメ(全拂ノトキハ通帳ト共ニ)一般ノ例ニ依リ取扱フコト

注意

據置貯金ノ拂戻ヲ必要トスル場合ハ緊急ノ必要ニ迫ラルル事情多カルヘキヲ以テ支障ナキ限リ可成即時拂ノ取扱ニ出ツヘキコト

四、拂戻ヲ承認セサルトキハ關係局經由其ノ旨本人ニ通告ス

〔樺通〕

◉全部償還トナリタル勸業債券及貯蓄債券元金支拂ニ關スル件

大正十三年五月二日
遞監第一八八二號

各郵便局長

從來支拂期ノ開始シタル勸業債券及貯蓄債券ハ凡テ其番號ヲ當籤番號表(勸業月報及債券時報號外)ニ掲記致居候處爾今全部償還スヘキ場合ノ最終抽籤ニ於テ割增金ナキ分ニ當籤シタルモノニ對シテハ之レカ番號ノ掲記ヲ省略スルコトニ日本勸業銀行ニ於テ相定メタル趣ニ付全部償還トナリタル債券元金支拂ニ際シテ番號表ニ記載ナキモノハ凡テ割增金ナキモノトシテ取扱相成度尤モ失效債券竝ニ公示催告中ノモノハ當該掲載欄ニ記載ノ筈ニ有之候

追テ本件ハ二號貯蓄債券ヨリ實施ノ趣ニ付爲念

●貯金卽時拂取扱方ノ件

大正十三年七月二十日
遞監第三〇九三號

各郵便局長

近時貯金通帳ノ金額ヲ改描シ詐取ヲ遂クルモノ往々有之候處財界ノ不況ニ伴ヒ此ノ種犯罪事故漸次增加ノ傾向アルニ付卽時拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ成規（貯金取扱規程第八十五條及第八十五條ノ二）ニ依リ相當調査スルハ勿論自局扱ノ預拂金ニ對シテハ必ス關係帳簿ト對照方勵行シ又現在高證明ナキ他局預入ノ貯金通帳若クハ檢閱濟ノ再度通帳ナルトキハ取扱者カ預ケ人ヲ熟知スルカ又ハ證明材料ヲ提出セシメ之ニ基キ確實ニ正當本人ナルコトヲ認メ得ル場合ノ外ハ拂渡ヲ拒絕シ通常拂戻ノ手續ニ依ラシムル義ニ有之單ニ印鑑符合スルカ或ハ請求人ノ言語動作ニ容疑ノ點ナカリシ等ノ理由ヲ以テ其儘拂戻ニ應スルカ如キハ不確實ナル次第ニシテ萬一確認ノ方法宜シキヲ得サルカ又ハ成規ノ手續ヲ履行セサル結果詐取ニ罹リタル場合ハ當該局長ノ辨償責任ヲ惹起スルモノナルニ付之カ取扱方ニ就テハ充分ノ注意ヲ拂ヒ萬遺漏ナキヲ期セラレ度

追テ通帳面金額ヲインキヲ以テ記入スルハ不正ノ徒ヲシテ乘スルノ機會多カラシムルニ付墨書スルカ又ハ金額印ヲ使用スルコトニ取計相成度

〔棒通〕

●復興貯蓄債券利金支拂ニ關スル件

大正十三年十月三十日
遞第六七九號

各郵便局長

本年九月發行ニ係ル第一回復興貯蓄債券ハ利子据置ノ方法ニ依ルモノニ有之從テ利金ハ元金償還當籤ニヨリ元金ト同時ニ之カ支拂ヲ爲スコトト相成居候處右元利金支拂請求ノ延引シタル場合ニ於テハ當籤後ノ利金ハ支拂ハサルヲ原則トスルモ本債券ノ利金ハ其ノ當籤期ノ如何ニ不拘支拂請求日ノ過去最近償還期ニ於ケル利金（例ヘハ大正十五年一月償還ノ債券ニ對シ同十八年八月ニ支拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ十八年七月ニ）ノ支拂ヲ爲シ又且ツ利金時效期間ハ法律ノ命スル所ニ遵ヒ五年トシテ債券裏面ニ記載アルモ前同樣ノ理由ニ基キ當然元金ト同樣十五年ハ之カ支拂ヲ爲スコトニ取扱ハレタキ旨發行銀行ヨリ通知有之候條行違ナキヲ期セラレ度

追テ從來ノ勸業債券（小券）ノ利札金ニ對スル時效（五年）ノ適用ハ本件ノ利子据置ニシテ無利札ノモノト混同セサル樣留意セラレ度

〔棒通〕

●睡眠貯金覺醒ニ關スル件

大正十四年七月五日
遞監第二三二八號

各郵便局長

郵便貯金預人ニシテ二年以上五年以下預拂ノ取扱ナク且通帳ノ提出ヲモナササルモノニ對シ繼續預入奬勵ノ目的ヲ以テ貯金局ヨリ勸說書ヲ發送スルカ如キ結果ヲ招來スル場合モ有之ニ付豫メ諒知置ノ上萬一之カ爲拂戻ヲ請求スルモノアリタルトキハ克ク其ノ趣旨ヲ諒解セシメ已ムヲ得サル場合ノ外可成請求ヲ中止セシメ預入繼續方懇示セラレ度又通帳亡失シタル預ケ人ニ對シテハ再度通帳ノ請求ヲ指導シ無通帳全拂ノ請求ヲナサシムル如

キコトナカラシムル様留意相成度

●復興貯蓄債券當籤番號ノ件

大正十四年九月二日
遞監第三一三八號

各郵便局

右ニ關シテハ爾今抽籤ノ都度勸業銀行ヨリ當籤番號ポスター竝ニチラシ送付スル旨八月二十日遞監第三〇三六號ヲ以テ通牒ノ處右ハ一般所有者ニ對シ其ノ當籤番號ヲ周知セシムル目的ナルモ一面當籤債券ノ僞造變造等ノ材料ヲ提供スルコトトモ可相成哉ノ懸念有之候ニ付相當日數揭出ノ上ハ廢棄方取計相成度

●國債利札盡了ノ件

大正十四年十月十日
遞監第三六七九號

各郵便局

本月限リ附屬利札盡了ノ五分利公債(の號)無記名證券ニ對シ誤テ償還金ノ支拂ヲ爲ス向多々有之候處同公債ハ償還期未到達ノモノニ有之從テ其證券ノ附屬利札盡了ニ付テハ所持人ノ請求ニ由リ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ次期以降ノ利札ヲ附シタル新證券ト引換フルモノニ有之候間取扱上注意相成度

●アラビヤ數字改正統一ニ關スル件

大正十四年十二月十日
遞監第四三八四號

〔樺通〕

各郵便局

今回貯金局ヨリノ通牒モ有之爲替貯金受拂等ノ書類ニ記載スルアラビヤ數字ヲ改正統一シ本年十二月三十一日迄ハ新舊何レノ字體ヲ使用スルモ隨意トシ其後ハ全國一齊ニ新字體ニ據ルコトト相成候條別途送付ノ改正要旨ニ基キ當務者ヲシテ別途手本ニ據リ習熟セシメラレ度

●貯金通牒挿入品取調ニ關スル件

大正十四年十二月二十日
遞監第四四三二號

〔樺通〕

各郵便局

各局經由原簿所管官廳ニ提出スル貯金通帳中通貨其他ノ物品多數有之此種ノ挿入品ニ對シテハ各原簿所管廳ニ於テ發見ノ都度直ニ返却シ尙挿入品ノ種類ニ依リ書留發送ヲ爲シ或ハ受領證ヲ徵スル等不勘手數ヲ要スル義ニ付今後通帳受付ノ際ハ一應挿入品ノ有無取調ノ上提出スル事ニ注意相成度

●燒損失債券ニ關スル件

大正十四年三月二十五日
遞第一九〇號

各郵便局

過般來日本勸業銀行ニ於テ大正十二年震火災ニヨル燒損失ノ勸業債券竝貯蓄債券ニ對スル引換交付ヲ取扱居候處右ノ內第七拾五回第七拾六回第七十七回第七十八回第八十回第八十二回第八十三回第八十六回第八十七回第八十九回ノ拾種ニ付テハ印刷ノ際形狀色彩等ヲ畫一シ之ニ震災代券ナル四字ヲ明記シテ既發行ノモノト區別セル趣ニ付左記了知ノ上元利金割增金ノ支拂上注意相成度

記

一、形　狀

幅（左右）五寸五分長サ（上下）八寸三分大正十年五月發行ノ第八拾回勸業債券以降ノ分ト同一

一、色　彩

凸版刷暗紅色（小豆色）

一、其　他

（一）震災代券ノ四字ヲ本券表面ノ中央上部竝各利札ノ表面右側ニ印刷シアリ

（二）本券表面ニ邦字ヲ以テ回別組別番號等ヲ縱書セル直下ニ新タニ橫書ヲ以テ回別組別ヲ邦字ニテ番號ヲ亞剌比亞數字ニテ複記シアリ

（三）本券表面左側發行年月ノ次ニ左記ノ字句ヲ印刷シアリ

「大正十二年ノ震災ニ因リ大正　年　月　日代債券トシテ發行」

附　記

割引第一回ニ對スル引換分ニ付テハ（一）ニ於ル震災代券ノ文字及（二）ニ於ル字句印刷シアリ

●貯金通帳亡失盜難ノ場合　於ケル再度通帳請求方ノ件

大正十五年一月三十一日
遞監第三六一號

各郵便局長

【棒通】

右ニ關シ左記ノ通貯金局ヨリ通牒有之候ニ付行違無之樣充分留意相成度

記

郵便貯金預ケ人ヨリ貯金通帳亡失盜難ニ罹リタル趣申出アリタル場合郵便局ハ其ノ旨所轄遞信局及當該原簿所管廳ニ通報シ遞信局ニ於テハ局報揭載又ハ緊急通報ノ必要アリト認ムル各局ニ對シ電報スル等ノ方法ニヨリ拂渡警戒方措置セラルルハ出來得ル限リ貯金預ケ人ノ利益ヲ保護スルト共ニ一面郵便官署ニ於テ拂渡上生スル不測ノ損害ヲ未然ニ防止セムトスル內部的理由ニ基クモノニ有之候處預ケ人ハ單ニ亡失盜難ノ事實ヲ郵便官署ニ屆出ツレハ其後ノ拂渡ニ就テハ官ニ於テ一切其ノ責ニ任スルモノト思惟シ假令郵便貯金法第十三條ニ所謂成規ノ拂ヲ爲シタル場合ニ於テモ拂渡ノ不當ヲ責メ損害ノ賠償方强要スルモノ往々有之現ニ最近ニ於テ郵便局ヨリ原簿所管廳ニ盜難通帳ニ對スル拂渡警戒打電シ來リ未タ當該貯金預入申込書竝貯金原簿ニ通帳亡失ノ表示ヲ爲ササリシ以前ニ於テ亡失通帳ニ對シ局待拂ノ方法ニ依リ拂渡ヲ執行シタルニ對シ預ケ人ハ之ヲ違法ナリトシ訴訟ヲ提起シ第一審及第二審共國ノ敗訴ニ歸シタルモ上告審ニ於テハ第二審ノ判決ヲ破棄セラレ今尙繫訴中ニ屬スル事例有之本件ノ起訴ノ動機ハ郵便官署ニ通帳盜難ノ屆出ヲ爲シ置カハ萬全ヲ期シ得ラルルモノト思惟シタルモノト被認而シテ之等ハ獨リ本件預ケ人ノミニ限ラス通帳亡失盜難屆出者ノ通念ト被存候得共乍遺憾現制ニ於テハ再度通帳發行前ニ於テハ故意又ハ重大ナル過失アル場合ノ外ハ凡テ成規ノ拂渡トシ右等屆出者ニ對シ責任ヲ負フコト不可能ノ義ニ付各局ニ於テ預ケ人ヨリ通帳ノ盜難又ハ亡失シタル旨申出アリタル後ト雖モ右通帳ニヨル成規ノ拂戻ニヨリ預ケ人ニ於テ不測ノ損害ヲ被ムル事ナキヲ保シ難キニ就テハ

【棒通】

盜難亡失等ノ申出アリタル場合ハ事情ニヨリ之等ノ事項懇示ノ上直ニ再度通帳ノ請求書ヲ提出セシメラル樣可然配意相成度

●貯金預拂證據書ニ關スル件

大正十五年三月十日
遞監第八三四號

各郵便局長

各局取扱貯金預拂證據書ニシテ左記事故ニ付テハ發生ノ都度夫々注意ヲ促スニ不拘依然トシテ減退ノ迹ナキハ甚遺憾ノ次第ニ有之而シテ之カ矯正方法トシテ爾後此種事故ヲ繰返ス向ニ對シテハ當該證據書添付補正方照會シ一面事故ヲ繰返ス向ニ對シテハ假借ナク處分スルコト相成候條諒知ノ上完璧ヲ期セラレ度

記

預入報告書金額字體不備
同　上記番號取扱年月日不明
同　上取扱局番號印押捺不鮮明
拂戻金受領證書金額字體不備
同　上記番號不明
同　上取扱局日附印不鮮明
同　上契印洩其他手續不備

〔樺通〕

●貯金通帳郵便局留置ニ關スル件

大正十五年四月二十五日
遞監第一八五三號

各郵便局

利子記入檢閱現在高證明等ノ爲貯金通帳ヲ原簿所管廳ヘ提出スルニ當リ預ケ人ヨリ通帳ヲ郵便局留置トシテ返納方申出タル趣ヲ以テ通帳ニ其旨表示ノ上廻付ノ向アルモ通帳ノ郵便局留置ハ之ヲ認メサル趣旨ニ付諒知ノ上行違ナキ樣取扱相成度

●債券元利金支拂方ノ件

大正十五年四月二十五日
遞監第一八五四號

各郵便局

郵便振替貯金ニ依ル債券募集元利金支拂竝貸付事務特別取扱規則及同規程改正セラレタルニ付テハ左記各項注意取扱相成度

記

一、資本利子稅法ハ樺太ニ施行セラレサルニ付之ヲ控除セサルコト
二、所得稅ヲ課セラレサル者ヨリ其ノ所有ニ係ル債券ノ利札又ハ月割利子ノ請求アリタル場合ハ免稅取扱請求書ヲ提出セシメ届出書ト對照相違ナキヲ確メタル上之カ支拂免稅取扱請求書ハ適宜整理シ置キ利札ノ表面餘白ニ「免稅」及名稱ヲ朱書スルコト
三、所得稅ヲ課セラレサル者ヨリ其ノ所有ニ係ル債券ノ利札又ハ月割利子ノ支拂ヲ請求スル爲其ノ名

〔樺通〕

ニ稱及印鑑ノ届出ヲ受ケタルトキハ適宜整理シ置クコト

●据置貯金ノ預入報告ノ件

大正十五年六月十五日
遞監第二五九九號

各郵便局長

据置貯金ノ預入報告方ニ關シテハ一般ノ例ニ依リ取扱フヘキ義ナルニ貯金預簿及貯金預入報告書ノ摘要欄ニ「据置」又ハ「据置貯金」ト記載スル向アリ右ハ大正十一年八月三十日遞監第二五四六號通牒ニ基因セル結果ト認メラルルモ要スルニ該通牒ハ關係規定ノ改正ニ伴フ暫定的通牒ニシテ既ニ据置貯金ニ記號更訂濟ノ通帳ヲ以テ預入スル場合ハ之カ記載ヲ要セサルモノト了知相成度

●貯金即時全拂ニ關スル件

大正十五年十月三十日
遞監第四六四七號

各郵便局長

貯金ノ即時全拂ハ貯金通帳ニ原簿所管廳ノ現在高證明アルモノ又ハ預入金ノ全部カ自局扱ノモノニ限リ之カ請求ニ應シ得ヘキ義ナルモ單ニ「通帳檢閱」ノ表示アルモノ又ハ其ノ幾部カ他局預入ナルニモ不拘漫然即時全拂ノ取扱ヲ爲ス向多シ右ハ貯金規則第七十七條及貯金取扱規程第八十五條違反ニ付取扱上注意相成度尚即時全拂ニ對シテハ通帳日附印日附印欄ト受領證トニ日附印ヲ以テ契印ヲ施ス必要ナキモ規程第五條ニ依リ通帳相當欄ニ日附印ノ押捺ヲ要スル義ト了知相成度

〔棒通〕

●貯金過誤拂徴收金計理方ノ件

昭和二年三月二十二日
遞監第九二〇號

各郵便局長

貯金過誤拂金徴收ニ當リ預ケ人カ繼續預入ヲ希望シ過拂額ヲ徴收スルト同時ニ別ニ五十錢以上預金セシメ過拂徴收ル預入報告書作製貯金受高ニ計上スル向有之候處右ハ違則ノ扱ニ付左記了知ノ上行違ナキヲ期セラレ度

記

一、預人カ繼續預入ヲ希望スルトキハ過拂額ヲ徴收スルト同時ニ別ニ五十錢以上預金セシメ過拂徴收額ハ必ス臨時受高ニ計理スルコト

二、預人カ繼續預入ヲ希望セサルトキハ過拂額ノミ徴收シ前號同樣計理スルコト

〔棒通〕

●振替貯金受入事故ノ件

昭和二年九月十日
遞監第二三九二號

各郵便局長

本年四月以降當課經由處理セル振替貯金拂込書ノ金額ト報告書ノ金額不符合事故ハ左記ノ如キ多數ニ達シ口座所管廳ノ支障ハ勿論加入者ノ迷惑不尠處右ハ大部分代金引換取立金ニシテ當務者カ到著通知書ニ依リ直ニ受入報告書ニ記載シ拂込書ハ補助者ヲシテ作成セシメ又ハ自己ニ於テ作成スルモ報告書ト對査ヲ爲ササル結果ト被認ニ付郵便振替貯金取扱規程第十四條ノ二參照將來嚴重監督ノ上斯ル事故

ノ絶滅ヲ期セラレ度

左記省略

●未確認通帳引揚方ニ關スル件

昭和二年十月二十日
遞監第二七四九號

各郵便局長

關東大震災ニ依リ燒失シタル貯金預ケ人原簿復舊ハ罹災後四ケ年ヲ經過シタル今日尚二割八分餘ノ整理未濟數ヲ存スル趣ニテ寔ニ遺憾ノ次第ニ有之而シテ之カ不振ハイ未タ一般ニ通帳引揚ノ趣旨徹底セサルモノアルトロ(ママ)各局ニ於テ大正十四年十月一日以後ハ罹災通帳ニ依ル卽時拂ノ取扱ヲ爲ササルコトトナリタル爲或ハ之ヲ以テ罹災整理ノ打切トナリタルモノノ如ク誤解スル向アルトハ(ママ)預拂ノ取扱ニ際シ罹災通帳タルコトニ注意ヲ拂ハスシテ引上ノ機會ヲ失スル向アリニ(ママ)自分所持ノ通帳ヲ取扱フ局カ罹災局ニ非サル時ハ通帳提出ヲ要セサルモノト誤解スル公衆アル等ニ基因スルモノト思料セラルルニ付各局ニ於テモ左記事項勵行シ引上促進方特ニ配意相成度

一、預拂金取扱又ハ各種屆書類受付ニ際シテハ特ニ貯金通帳記號及初度ノ預入月日ニ注意シ若大正十二年九月一日以前交付ノ左ノ記號アル通帳ナルトキハ

ね、き、れ、を、あ、い、ゆ、り、め、南又ハ之等ノ首字アルモノ

前記々號ニ恩、臨、據ヲ冠シタルモノ

軍本、野戰、功　勳京、艦(艦ノ下いろ等ノ文字アルモノ)臨艦

〔樺通〕

(一)　卽時拂請求ノモノナルトキハ通帳拂戻ニ依ル外ハ之カ取扱ヲ爲ササルニ付其ノ旨懇示ト共ニ通帳ハ直ニ引揚ノコト

(二)(三)　各種屆書類ノ受付及預入ノ取扱ヲ爲シタルトキハ共ニ之カ引揚ノコト

二、前ニ項ノ場合證券保管通帳ヲ所持スルモノナルトキハ共ニ引揚ヲ爲スコト

(大正十四年四月遞信省令第二十一號參照)

右ノ通帳引揚ヲ爲ス場合預ケ人ニ交付スル通帳受領證ニハ貯金又ハ證券ノ現在高ヲ記入スルコト

三、通帳引揚ノ際ハ特ニ通帳面ノ住所ハ現住所ナルコトヲ確ムルコト

四、新規預入者又ハ該當通帳以外ノ所持ニ就キテモ本人又ハ家族等ニ於テ罹災前發行ノ未確認通帳ヲ所持スルコトナキヤヲ確メ若所持スルトキハ直ニ引揚ノ措置ヲ爲スコト

五、吏員又ハ監視員等カ保險ノ勸誘若ハ探問等ノ際各戸ニ就キ罹災通帳提出方ヲ勸奬スルコト

●貯金確認拂ニ關スル件

昭和二年十月十日
遞監第二六七四號

各郵便局長一般

貯金卽時拂ノ請求ヲ受ケタルトキ其ノ一部ハ自局預入又ハ現在高證明ニシテ普通卽時拂ニ依リ拂戻得ルモ他ノ一部ハ他局預入ニシテ確認拂ト爲スニアラサレバ拂戻得サル場合ハ便宜一通ノ受領證書ニテ確認拂ノ方法ニ依リ拂戻ノ上當該受領書ノ表面餘白ニ「內何程自局預入」又ハ「內何現在高證明」ト附記相成度

●釜山貯金管理所設置ニ關スル件

昭和二年十二月二十三日
遞監第三三〇五號

各郵便局

釜山貯金管理所設置セラレ十二月二十日ヨリ事務開始相成候處同管理所ハ當分ノ內振替貯金事務ノミ取扱フ趣朝鮮總督府遞信局ヨリ通知アリタルニ付取扱上注意アレ

【棒通】

第三類　資金及現金受拂

●出納日報調製ニ關スル件

明治四十年十二月十六日
極監第六二九號

各支局長

現金出納日報ハ出納官吏又ハ出納員ノ責任ニ屬スル現金ノ出納竝保管金ノ在高ヲ證明シ兼テ主管ノ現金出納簿面ノ正確ヲ表スル重要ノ書類ナレハ之カ作成上ニハ愼重注意ヲ加ヘ苟モ誤記違算ハ勿論記入洩レ欄違ヒ等ナキ樣可有之尚ナルニ近來或ハ其作成ヲ輕視セラレ帳簿面ノ整理ヲ缺キ不正確ノ日報ヲ提出セラルヽ向往々有之候處右ハ出納ノ重職ヲ忽諸ニ付セラルヽ結果ト被認甚タ不注意ノ義ニ付自今日報ハ金高數字ノ明瞭正確ハ勿論其ノ殘高ト現金ノ吻合ヲ確メル等傾意出納計算ノ正確ヲ期セラレ度候依命

●資金過超金受授局指定ノ件

大正十一年八月
訓令第百三十一號

受授局名		被受授局名	受授便種別	記事
局番號	局名	資金過超金		
樺太　二	豐原	日本銀行便	資金受領限度額 一日　五千圓ヽ	
同　四	眞岡	同	同 一日　四千圓	

【棒通】

〔樺通〕

同	一	大泊	銀行逆爲替便							
同	三	榮濱	現金遞送便							
同	九	留多加	同							
同	一〇	東白浦	同							
同	二〇	大谷	同							
同	二九	小沼	同							
同	三〇	落合	同							
同	三一	雨龍	同							
同	三八	登帆	同							
同	三七	並川	同							
同	四二	川上炭山	同							
同	四五	內砂	同							
同	四八	知取	同							
同	四九	豐原西一條	直渡便	直納便	區切納付後ノ過超金ハ現金遞送便					

樺太　豐原

同	一	大泊	銀行逆爲替便	銀行爲替便	北海道拓殖銀行大泊支店資金受領限度一日一萬圓					
同	三	榮濱	現金遞送便	現金遞送便						
同	九	留多加	同	同						
同	一〇	東白浦	同	同						
同	二〇	大谷	同	同						
同	二九	小沼	同	同						
同	三〇	落合	同	同						
同	三一	雨龍	同	同						
同	三八	登帆	同	同						
同	三七	並川	同	同						
同	四二	川上炭山	同	同						
同	四五	內砂	同	同						
同	四八	知取	同	同						
同	四九	豐原西一條	直渡便	直納便	區切納付後ノ過超金ハ現金遞送便					

〔樺通〕

同	五二	貝塚	現金遞送便							
同	五三	多蘭內	同							
同	五四	泥川	同							
樺太	八	海馬島	現金遞送便							
同	一二	野田	銀行逆爲替便	銀行爲替便	北海道拓殖銀行野田支店資金受領限度額一日五千圓					
同	一四	泊居	同	同行泊居支店	一日五千圓					
同	一七	本斗	同	同行本斗支店	一日五千圓					
同	一八	蘭泊	現金遞送便	現金遞送便						
同	二三	眞岡北濱	直渡便	直納便	區切納付後ノ過超金ハ現金遞送便					
同	二六	南名好	現金遞送便	現金遞送便						
同	三二	廣地	同	同						

樺太　四　眞岡

〔樺通〕

	同	三三	小能登呂	同	同	
	同	四一	麻内	同	同	
	同	三六	内幌	同	同	
	同	四四	宗仁	同	同	
	同	四七	逢坂	同	同	
	同	五九	二股	同	同	
樺太五 敷香	樺太	二四	散江	現金遞送便	現金遞送便	
	樺太	一一	大泊楠溪	現金遞送便	現金遞送便	
	同	一三	富内	同	同	

〔樺通〕

	同	一五	長濱	同	同	
	同	二七	遠淵	同	同	
	同	三五	女麗	同	同	
樺太一 大泊	同	五〇	大泊榮町	直渡便	直納便	區切納付後ノ過超金ハ現金遞送便
	同	五一	彌滿	現金遞送便	現金遞送便	
	同	五七	吉右美内	同	同	
	同	六〇	大泊本町	直渡便	直納便	區切納付後ノ過超金ハ現金遞送便
	樺太	六	久春内	現金遞送便	現金遞送便	
	月	二一	萌菱	同	同	
	同	二五	惠須取	同	同	
樺太一四 泊居	同	二八	名寄	同	同	

〔樺通〕

	同　三九　追手	同	同	
	同　五五　大榮	同	同	
	同　五六　珍内	同	同	
樺太七 名好	樺太　四二　安別	現金遞送便	現金遞送便	
樺太四八 知取	樺太　五　敷香	現金遞送便	現金遞送便	
	同　一九　元泊	同	同	過超金ハ豊原局ヘ納付
	同　四〇　泊岸	同	同	
	同　四六　内路	同	同	

〔樺通〕

	同　五八　馬群潭	同	同	過超金ハ豊原局ヘ納付
樺太二五 惠須取	樺太　七　名好	現金遞送便	現金遞送便	
	同　一六　鵜城	同	同	

●資金運用ノ件

大正十二年一月三十一日
遞監第三七二號

各郵便局長

右ニ關シテハ各局相當注意ヲ拂ヒ居ルコト相信シ候處近時左記該當ノモノアリ運用上甚遺憾ノ次第ニ有之候而シテ資金準備ニ就テハ未拂高ニノミ拘泥セス受拂ノ狀況ヲ考慮シ一面未拂高ニ對シテモ一概ニ納付ヲ停延スヘキモノニ無之ニ付拂渡ノ緩急ヲ稽査シ漫然停滯セシムルコトナク努メテ殘高ノ緊縮ヲ圖リ以テ資金ノ活用ヲ期セラレ度

追テ未拂證據書ナキ場合若クハ未拂額以上ニ納付ヲ停延スルトキハ日報備考欄ニ受取人氏名金額及